

令和3年度石岡市地域医療需要動向調査報告書

令和3年10月

石岡市

目 次

第1章 3市における医療提供量及び医療実績	1
1 分析対象地域の定義と概要	1
(1) 本書における表記について	1
(2) 分析対象地域	1
(3) 病院及び診療所の分布	1
2 人口10万人当たりの病床数	4
3 人口10万人当たりの医師数	4
4 病床の稼働状況	5
(1) 3市の医療機関における許可病床数と医療機能	5
(2) 病院別・医療機能別の病床利用率	5
5 5疾病及び5事業への対応状況	6
6 主な入院・分娩先の医療機関	7
(1) 主な入院先の医療機関	7
(2) 主な分娩先の医療機関	7
第2章 3市及び石岡市における医療需要	8
1 3市における人口推計と将来医療需要	8
(1) 将来推計人口	8
(2) 入院患者数の推計	9
(3) 外来患者数の推計	10
(4) 5疾病及び周産期・小児医療の需要	11
2 石岡市における人口推計と将来医療需要	12
(1) 将来推計人口	12
(2) 石岡市の推計患者数（入院）	13
(3) 石岡市の推計患者数（外来）	14
(4) 石岡市の推計患者数（在宅医療）	15
第3章 石岡市の国民健康保険及びマル福レセプトデータ分析	16
1 令和2（2020）年国民健康保険レセプトデータ分析	16
(1) 受診先医療機関所在地	16
(2) 年齢別割合	16
(3) 傷病別割合	17
(4) 受診先医療機関	18
(5) 傷病別の受療動向	20
(6) 年齢別の受療動向	21
(7) 医療機関所在地別点数	22
(8) 傷病別入院先医療機関（参考）	25
(9) 小児患者傷病別割合（参考）	27
2 小児マル福レセプトデータ分析	28
(1) 受診先医療機関所在地	28
(2) 年齢別割合	28
(3) 年齢別受診先医療機関所在地	29

(4) 受診先医療機関	30
3 妊産婦マル福レセプトデータ分析	32
(1) 受診先医療機関所在地	32
(2) 受診先医療機関	33
(3) 請求点数別入院先医療機関（参考）	35
(4) 請求点数別外来受診先医療機関（参考）	37
4 令和元（2019）年、令和2（2020）年国民健康保険レセプトデータ比較分析	39
(1) レセプト件数比較	39
(2) 石岡地域及び石岡地域外の受療動向比較	39
(3) 傷病別受療動向比較	40
(4) 年齢別受療動向比較	42
(5) 新型コロナウイルス感染拡大の影響分析（月別の患者数の推移）	44
第4章 救急医療の実績	46
1 石岡市の救急データ分析	46
(1) 搬送先医療機関所在地別割合	46
(2) 医療機関別搬送割合	46
(3) 傷病程度別割合	47
(4) 傷病程度別医療機関所在地別搬送割合	47
(5) 傷病程度別医療機関別搬送割合（参考）	48
(6) 搬送者数上位医療機関の傷病程度別割合（参考）	50
(7) 令和元（2019）年、令和2（2020）年の石岡市の救急搬送の比較	51
2 病院群輪番制の患者数の現状	52
(1) 診療科別受け入れ割合	52
(2) 診療科別医療機関別受け入れ割合	52
(3) 病院群輪番制を担う病院への到達時間	54
3 緊急診療の実績	55
(1) 緊急診療患者数の推移	55
(2) 市別・診療科別緊急診療患者数の推移（参考）	56
第5章 石岡市の介護需給環境	57
1 石岡市の介護提供体制	57
(1) 居宅サービス事業所	57
(2) 施設サービス事業所	59
2 石岡市の介護サービスの需要推計	60
(1) 推計の手法	60
(2) 居宅サービスの需要推計	60
(3) 施設サービスの需要推計	61
第6章 石岡地域及び石岡市における現状・課題	62
1 3市における現状	62
(1) 3市の医療提供体制	62
(2) 3市及び石岡市における医療需要	62
(3) 石岡市民の受療動向	62
(4) 新型コロナウイルス感染拡大の影響分析	63
(5) 石岡市の救急医療、緊急診療の現状	64

(6) 石岡市の介護需給環境	64
2 石岡地域及び石岡市における課題	65
(1) 医療提供体制における課題	65
(2) 医療需要における課題	65
(3) 石岡市の救急医療、緊急診療における課題	65
(4) 石岡市の介護需給環境における課題	66
第7章 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制を構築するための具体的対策	67
1 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制	67
2 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制構築に向けた具体的対策	67
(1) 医師不足の解消に対する施策	67
(2) 分娩機能を持つ産科、小児入院機能を持つ小児科の開設に対する施策	70
(3) 二次救急、緊急診療体制充実に対する施策	71
参考資料	73

※本書の表及びグラフにおける数値は、四捨五入により端数処理をしているため、内訳の計と合計が一致しないことがある。

第1章 3市における医療提供量及び医療実績

1 分析対象地域の定義と概要

(1) 本書における表記について

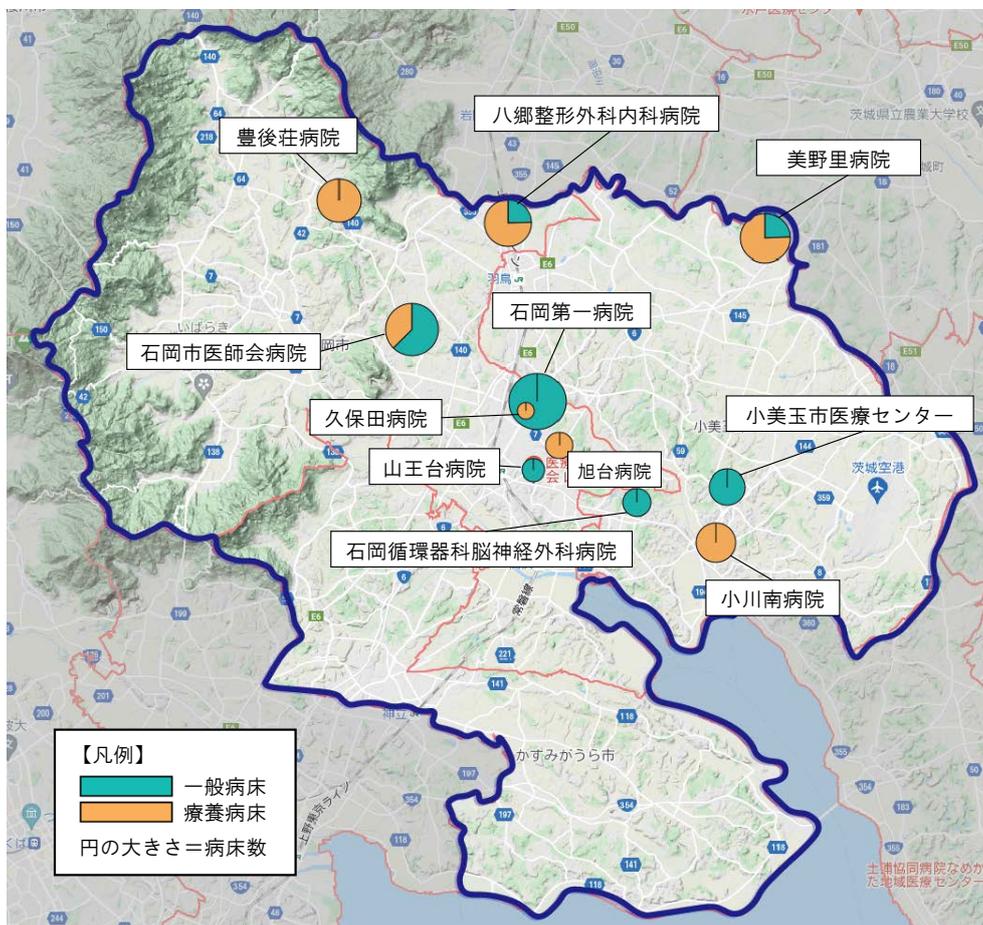
本書における表記のうち、「石岡地域」は、石岡市、かすみがうら市（千代田地区のみ）、小美玉市（玉里地区のみ）（石岡地域医療計画に準ずる）、「3市」は石岡市、かすみがうら市、小美玉市とします。

(2) 分析対象地域

本調査の分析対象地域は3市としました。

(3) 病院及び診療所の分布

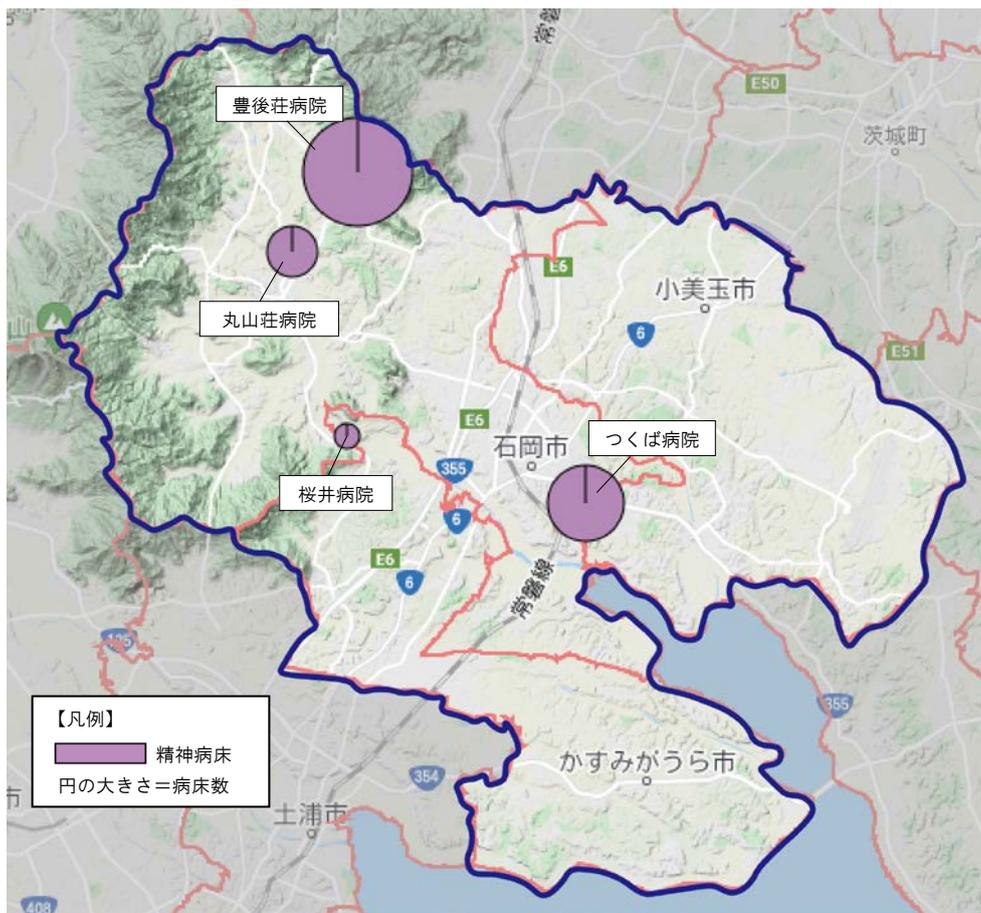
ア 一般病床及び療養病床を有する病院の分布



	医療機関名	所在	一般病床	療養病床	主な診療科		
病院	山王台病院	石岡市	52		消化器科	内科	歯科口腔外科
	豊後荘病院	石岡市		100	精神科	内科	歯科口腔外科
	石岡第一病院	石岡市	126		内科	整形外科	泌尿器科
	八郷整形外科内科病院	石岡市	26	80	内科	整形外科	消化器内科
	久保田病院	石岡市		40	整形外科	皮膚科	リハビリテーション科
	旭台病院	石岡市		60	内科	神経内科	泌尿器科
	石岡市医師会病院（休止中）	石岡市	75	45	—	—	—
	小美玉市医療センター	小美玉市	80		内科	整形外科	外科
	小川南病院	小美玉市		90	循環器内科	内科	整形外科
	美野里病院	小美玉市	27	84	内科	整形外科	眼科
	石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	63		脳神経外科	循環器科	泌尿器科
	合計		449	499			

出典：関東信越厚生局 届出受理医療機関名簿（令和3年6月1日現在）

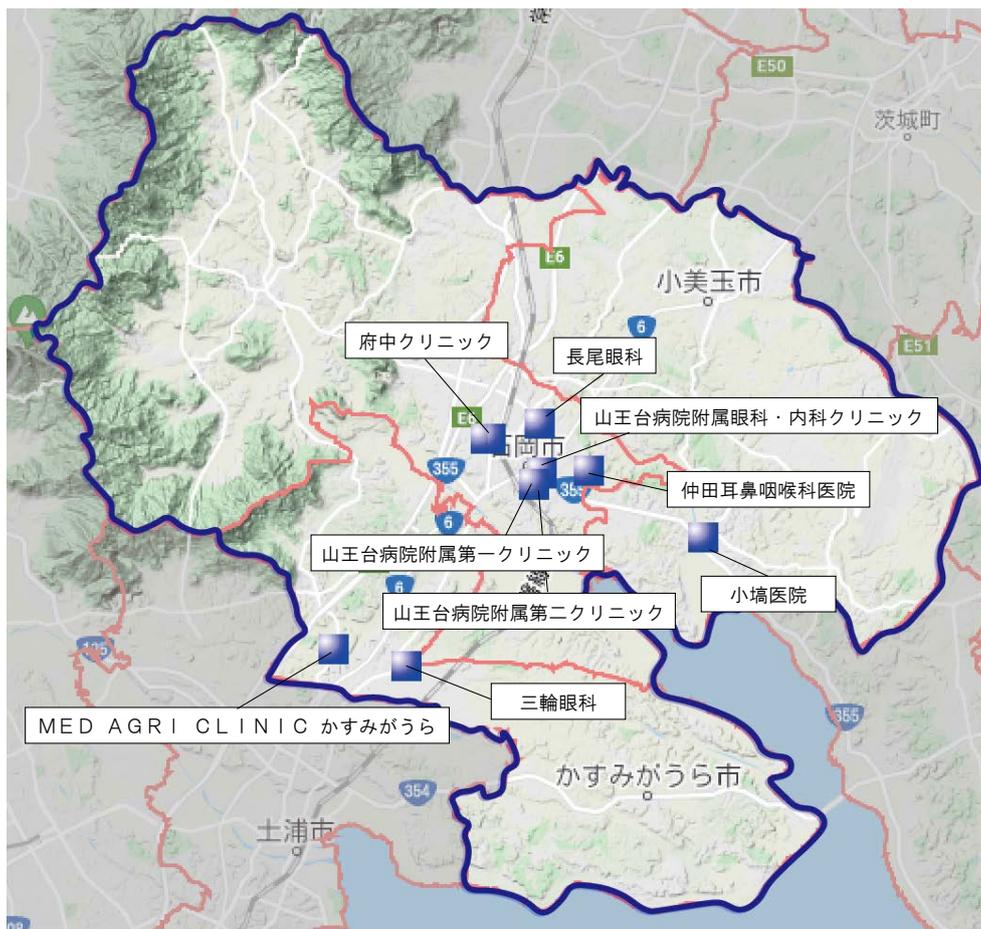
イ 精神病床を有する病院の分布



病院	医療機関名	所在	精神病床	主な診療科		
	豊後荘病院	石岡市	393	精神科	内科	歯科口腔外科
丸山荘病院	石岡市	194	精神科	神経科	—	
桜井病院	石岡市	95	精神科	神経科	—	
つくば病院	小美玉市	281	精神科	神経科	内科	
	合計		963			

出典：関東信越厚生局 届出受理医療機関名簿（令和3年6月1日現在）

ウ 一般病床及び療養病床を有する診療所の分布

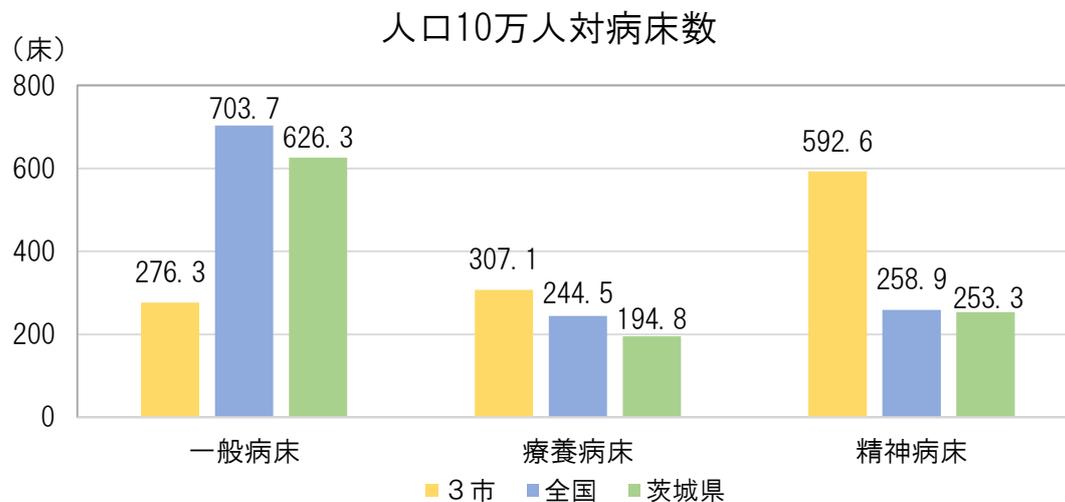


	医療機関名	所在	一般 病床	療養 病床	主な診療科		
診療所	山王台病院附属眼科・内科クリニック	石岡市	19		眼科	内科	—
	山王台病院附属第一クリニック	石岡市	19		神経内科	内科	外科
	山王台病院附属第二クリニック	石岡市	19		内科	外科	耳鼻咽喉科
	府中クリニック	石岡市	14		胃腸内科	外科	内科
	長尾眼科	石岡市	4		眼科	—	—
	仲田耳鼻咽喉科医院	石岡市	1		耳鼻咽喉科	—	—
	三輪眼科	かすみぐうら市	2		眼科	—	—
	MED AGRICLINIC かすみぐうら	かすみぐうら市	19		内科	外科	形成外科
	小埴医院	小美玉市	8		婦人科	—	—
	合計		105	0			

出典：関東信越厚生局 届出受理医療機関名簿（令和3年6月1日現在）

2 人口 10 万人当たりの病床数

人口 10 万人当たりの病床数をみると、3 市は全国、茨城県と比べて一般病床が大幅に少なくなっているものの、療養病床は若干多く、精神病床は大幅に多くなっています。

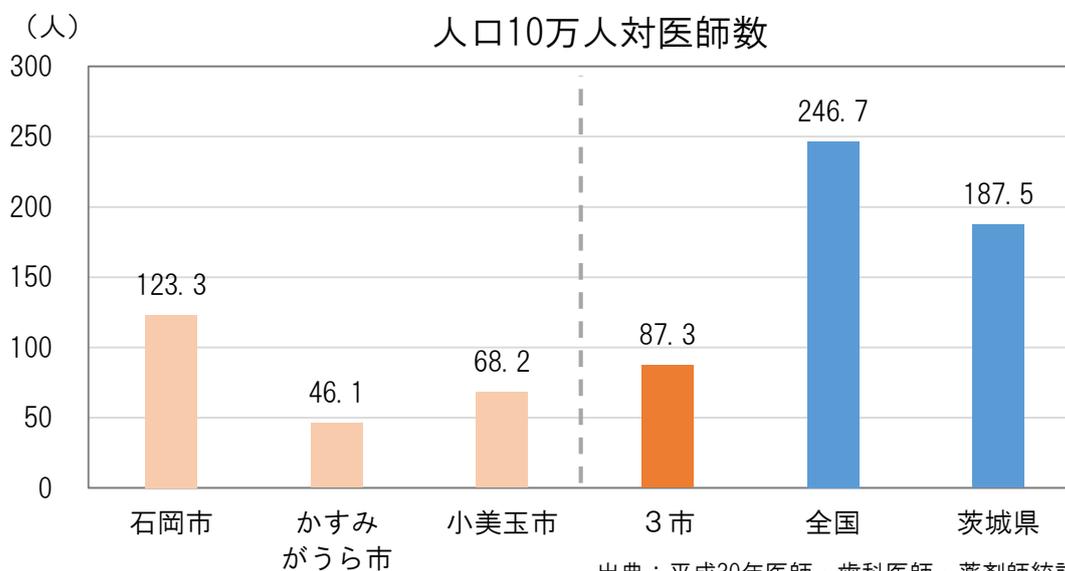


出典：令和元年度 医療施設調査

※3市の人口 10 万人当たりの病床数は令和 3 年 6 月 1 日現在の病床数、令和 3 年 4 月 1 日現在の人口をもとに算出

3 人口 10 万人当たりの医師数

人口 10 万人当たりの医師数をみると、石岡市、かすみがうら市、小美玉市の各市は全国、茨城県と比べて大幅に少なくなっており、3 市では全国の約 35%、茨城県の約 47%となっています。



4 病床の稼働状況

(1) 3市の医療機関における許可病床数と医療機能

3市の医療機関の医療機能別の許可病床数（一般病床及び療養病床）は下表のとおりです。
高度急性期を担う医療機関がなく、回復期病床についても少ない状況です。

	医療機関名	所在	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	全体	
病院	山王台病院	石岡市		52				52	
	豊後荘病院	石岡市				100		100	
	石岡第一病院	石岡市		86	40			126	
	八郷整形外科内科病院	石岡市		26	24	56		106	
	久保田病院	石岡市				40		40	
	旭台病院	石岡市				60		60	
	石岡市医師会病院（休止中）	石岡市					120	120	
	小美玉市医療センター	小美玉市				41	39	80	
	小川南病院	小美玉市				90		90	
	美野里病院	小美玉市				111		111	
	石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市		63				63	
	診療所	山王台病院附属眼科・内科クリニック	石岡市		19				19
		山王台病院附属第一クリニック	石岡市		19				19
山王台病院附属第二クリニック		石岡市		19				19	
府中クリニック		石岡市		14				14	
長尾眼科		石岡市		4				4	
仲田耳鼻咽喉科医院		石岡市		1				1	
三輪眼科		かすみがうら市		2				2	
MED AGRICLINIC かすみがうら		かすみがうら市						19	
小埜医院		小美玉市			8			8	
		合計		0	305	72	498	159	1,053

出典：令和2年度病床機能報告 ※令和2年7月1日時点

※令和2年度病床機能報告に掲載がなかった医療機関については、医療機能別の病床数は空欄としている。

(2) 病院別・医療機能別の病床利用率

3市の病院における医療機能別の病床利用率（対稼働病床数）は下表のとおりです。多くの医療機関では利用率80%を超えている状況です。

医療機関名	急性期		回復期		慢性期	
	病床数	病床利用率	病床数	病床利用率	病床数	病床利用率
山王台病院	52床	96.6%				
豊後荘病院					100床	82.0%
石岡第一病院	86床	70.3%	40床	80.4%		
八郷整形外科内科病院	26床	85.0%	24床	91.9%	56床	89.0%
久保田病院					40床	98.6%
旭台病院					60床	98.6%
小美玉市医療センター					41床	82.2%
小川南病院					90床	70.9%
美野里病院					111床	86.2%
石岡循環器科脳神経外科病院	63床	97.1%				

出典：令和2年度病床機能報告 ※令和元年7月1日から令和2年6月30日の1年間

5 5 疾病及び5事業への対応状況

3市及び土浦市の医療機関における5疾病及び5事業の対応状況は下表のとおりです。

糖尿病は血糖コントロール困難者への対応を除き、山王台病院、石岡第一病院、八郷整形外科内科病院が担っており、脳卒中及び急性心筋梗塞については石岡循環器科脳神経外科病院と八郷整形外科内科病院が担っています。また精神疾患のうち認知症については、認知症疾患医療センターとして豊後荘病院が基幹的な役割を担っており、認知症を含めた精神科の入院医療を同病院のほか丸山荘病院、桜井病院、つくば病院が担っています。

石岡地域の救急医療において輪番制を担っているのは、石岡第一病院、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院の3病院です。

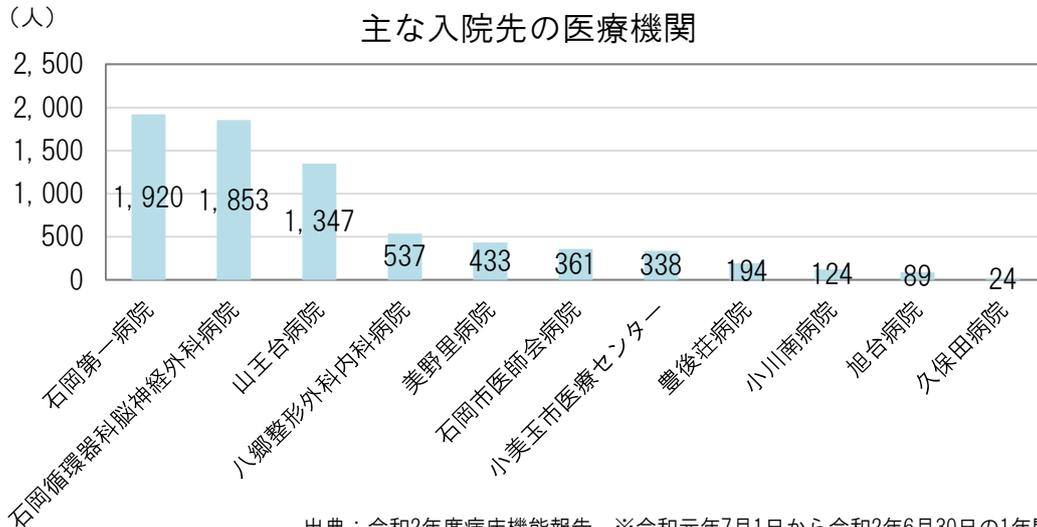
		石岡市					小美玉市			土浦市	
		山王台病院	石岡第一病院	八郷整形外科内科病院	豊後荘病院	丸山荘病院	桜井病院	小美玉市医療センター	石岡循環器科脳神経外科病院	つくば病院	土浦協同病院
○：機能あり 空欄：機能なし											
がん	地域がん診療連携拠点病院									○	
	茨城県がん診療指定病院										○
脳卒中	急性期の医療提供							○		○	○
	回復期リハビリ提供			○						○	○
急性心筋梗塞	急性期の医療提供							○		○	○
	回復期リハビリ提供			○						○	○
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供										
	糖尿病合併症の治療提供	○	○							○	
	糖尿病性網膜症の治療提供	○								○	○
	糖尿病性腎症の治療提供			○						○	○
	末期腎不全の治療提供	○								○	
精神疾患	入院医療の提供(認知症の入院対応含む)				○	○	○		○		
	認知症疾患医療センター				○						
救急	救命救急センター									○	
	救急告示病院	○	○	○				○	○		
災害	災害拠点病院									○	
	DMATを有する医療機関									○	
へき地	へき地医療拠点病院		○								
周産期	総合周産期母子医療センター									○	
小児	小児救急医療拠点病院									○	

出典：第7次茨城県保健医療計画

6 主な入院・分娩先の医療機関

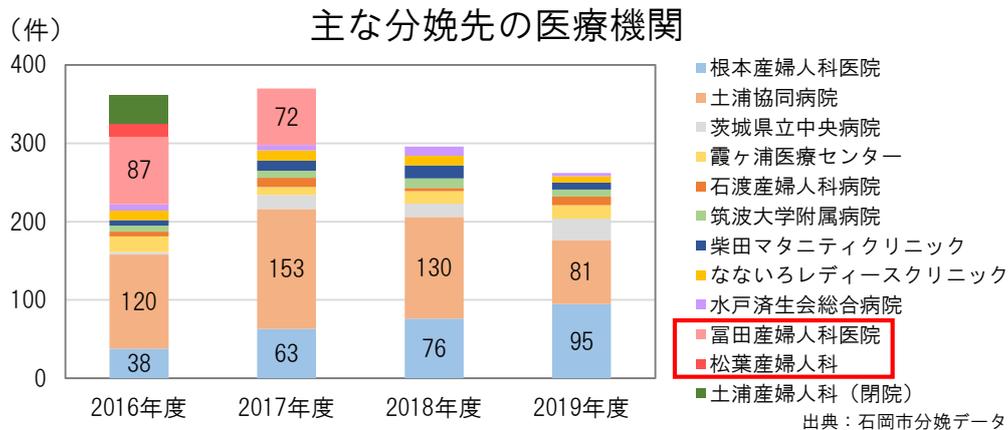
(1) 主な入院先の医療機関

令和2（2020）年の医療機関別の新入院患者数は下図のとおりです。石岡第一病院、石岡循環器科脳神経外科病院、山王台病院において多くの患者数を受け入れている状況です。



(2) 主な分娩先の医療機関

石岡市民の分娩においては、根本産婦人科医院と土浦協同病院が約半数を占めています。3市では富田産婦人科医院、松葉産婦人科の分娩対応休止により分娩可能施設がなくなっています。



※国民健康保険レセプトデータとは出典が異なるため、分娩数が異なる

主な分娩先の医療機関

(単位：件)

医療機関名	所在地	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
根本産婦人科医院	笠間市	38	63	76	95
土浦協同病院	土浦市	120	153	130	81
茨城県立中央病院	笠間市	3	18	17	28
霞ヶ浦医療センター	土浦市	20	10	16	17
石渡産婦人科病院	水戸市	6	12	4	11
筑波大学附属病院	つくば市	8	9	12	9
柴田マタニティクリニック	土浦市	7	13	17	9
なないるレディースクリニック	つくば市	12	13	12	8
水戸済生会総合病院	水戸市	8	7	12	4
富田産婦人科医院	石岡市	87	72	-	-
松葉産婦人科	石岡市	16	-	-	-
土浦産婦人科（閉院）	土浦市	36	-	-	-

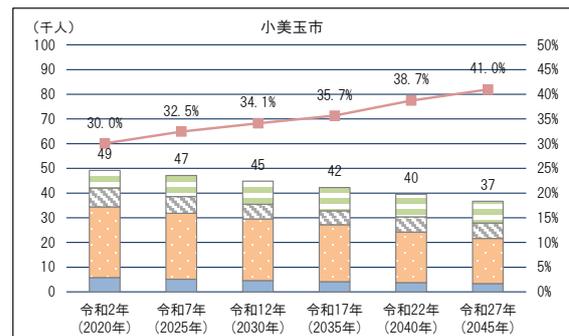
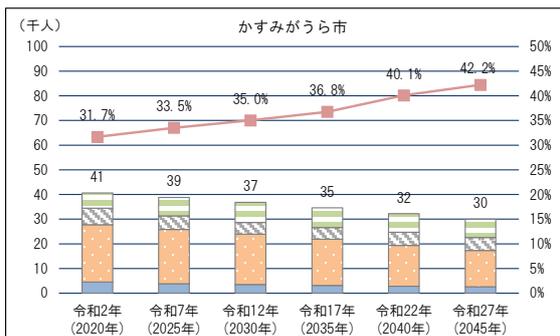
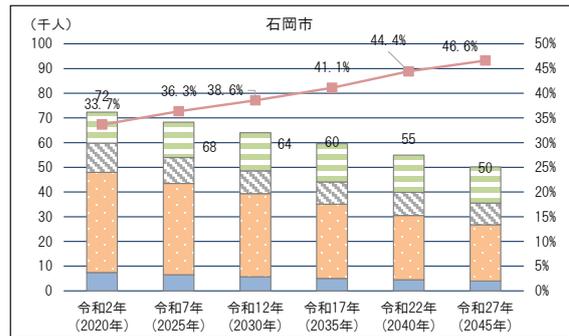
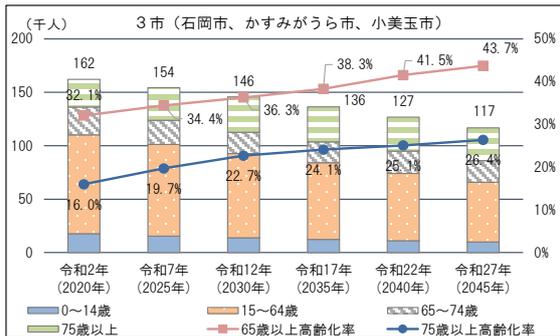
第2章 3市及び石岡市における医療需要

1 3市における人口推計と将来医療需要

(1) 将来推計人口

3市における将来人口は減少を続ける一方で65歳以上の高齢者数は増加を続け、令和27(2045)年には約44%になることが推計されています。また、3市の高齢化率は全国、茨城県を上回ることが推計されています。

年齢階層別人口の将来推計



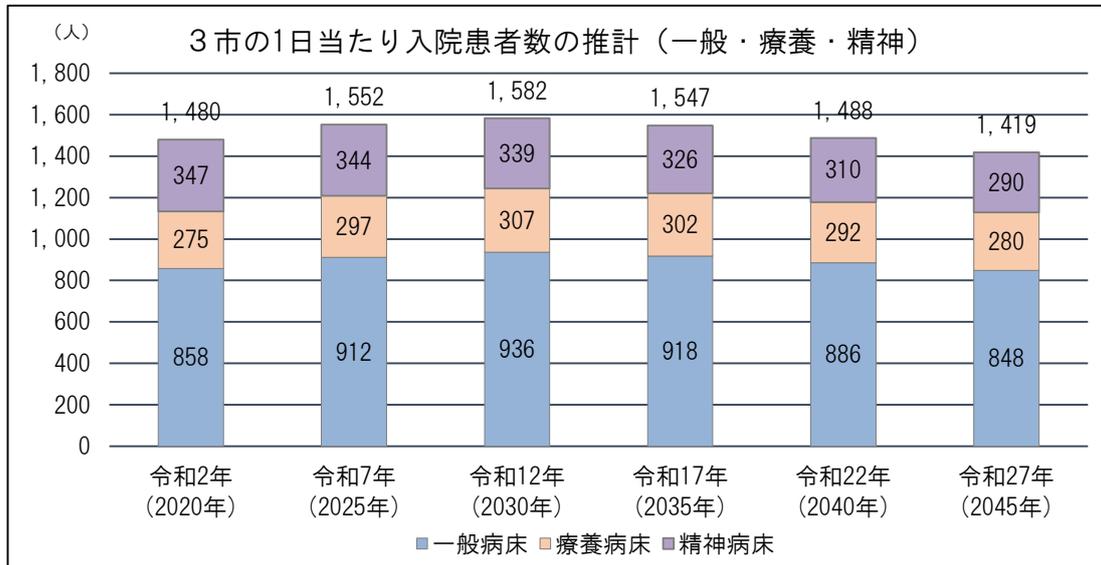
3市の人口推計		令和2年(2020年)	令和7年(2025年)	令和12年(2030年)	令和17年(2035年)	令和22年(2040年)	令和27年(2045年)
0~14歳		17,613	15,423	13,787	12,255	11,030	9,867
15~64歳		92,544	85,713	79,015	71,896	63,024	55,875
65~74歳		26,058	22,749	19,863	19,398	20,881	20,247
75歳以上		25,919	30,394	33,023	32,894	31,752	30,807
計		162,134	154,279	145,688	136,443	126,687	116,796
65歳以上高齢化率		32.1%	34.4%	36.3%	38.3%	41.5%	43.7%
75歳以上高齢化率		16.0%	19.7%	22.7%	24.1%	25.1%	26.4%
高齢化率	全国	28.9%	30.0%	31.2%	32.8%	35.3%	36.8%
	茨城県	30.1%	32.0%	33.5%	35.3%	38.2%	40.0%
	石岡市	33.7%	36.3%	38.6%	41.1%	44.4%	46.6%
	かすみがうら市	31.7%	33.5%	35.0%	36.8%	40.1%	42.2%
	小美玉市	30.0%	32.5%	34.1%	35.7%	38.7%	41.0%

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

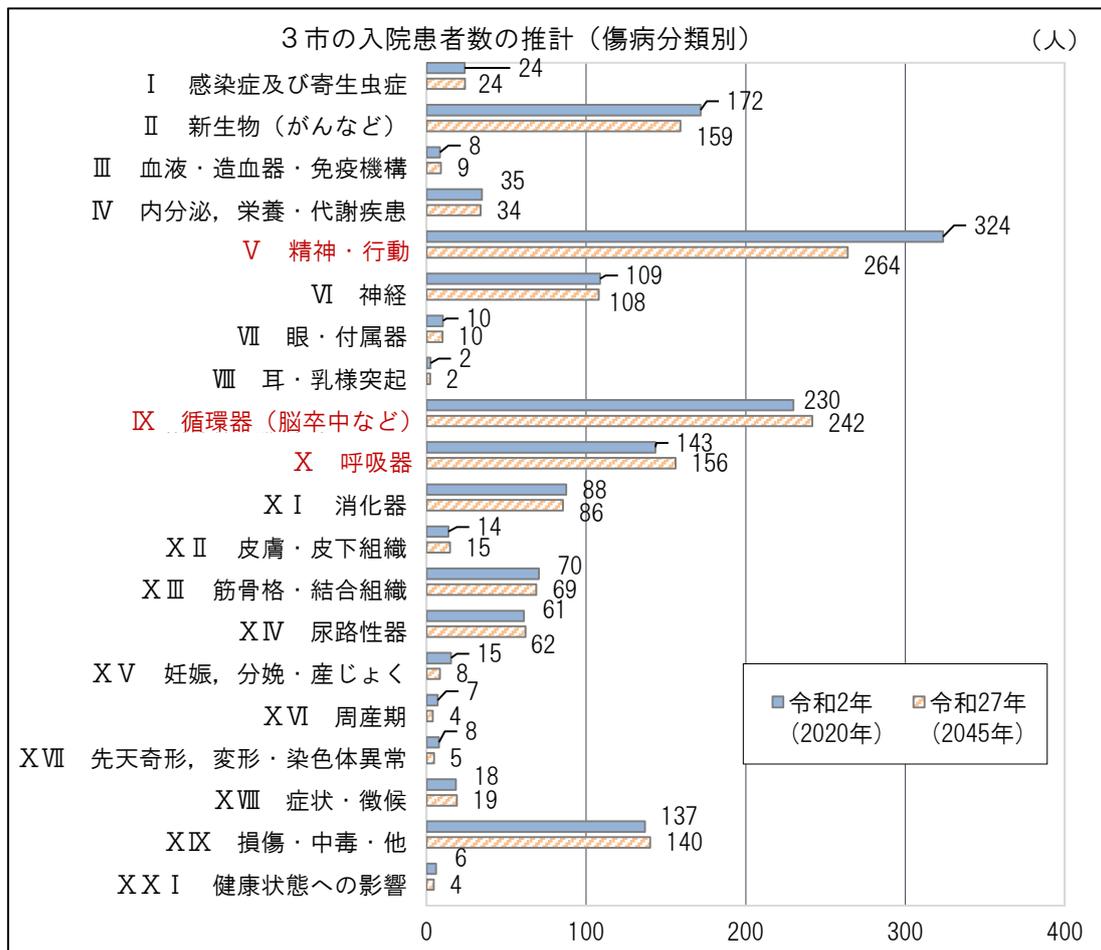
(2) 入院患者数の推計

3市の1日当たりの入院患者数（一般病床、療養病床、精神病床）は、令和12（2030）年にピークとなる1,582人に達し、その後、減少することが推計されます。

令和2（2020）年と令和27（2045）年を傷病別に比較すると、精神疾患の需要は減少するものの令和27(2045)年においても依然として最も多く、循環器及び呼吸器疾患については需要の増加が見込まれます。その他の傷病については減少または横ばいとなることが推計されます。



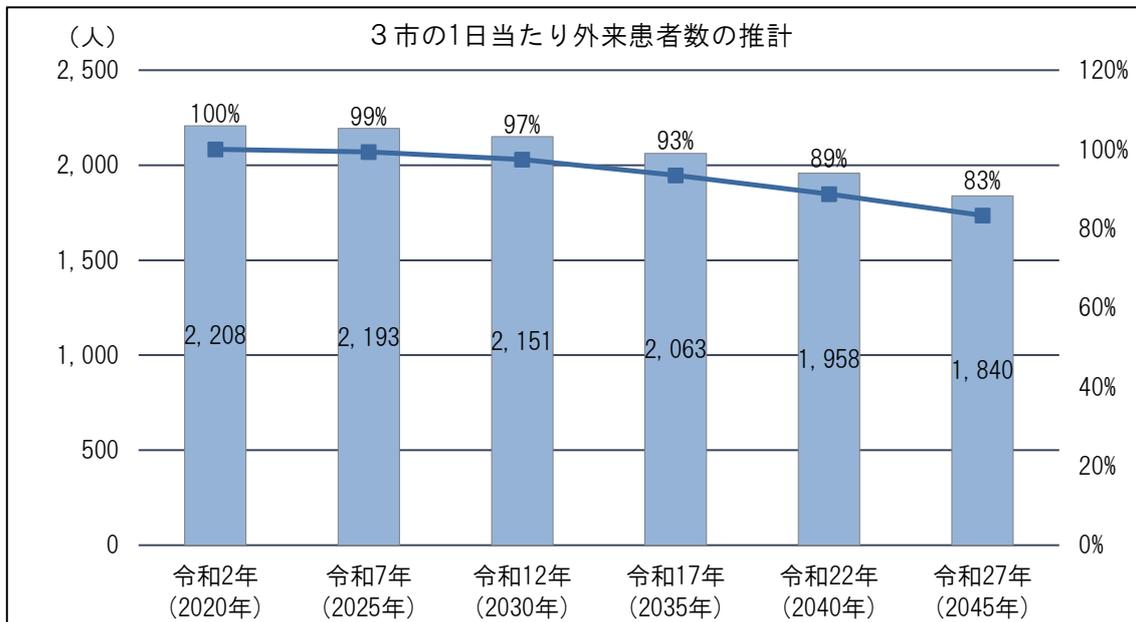
※ 3市の将来推計人口に、平成29年患者調査の茨城県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の1日当たり入院患者数（一般病床、療養病床、精神病床）を算出した。



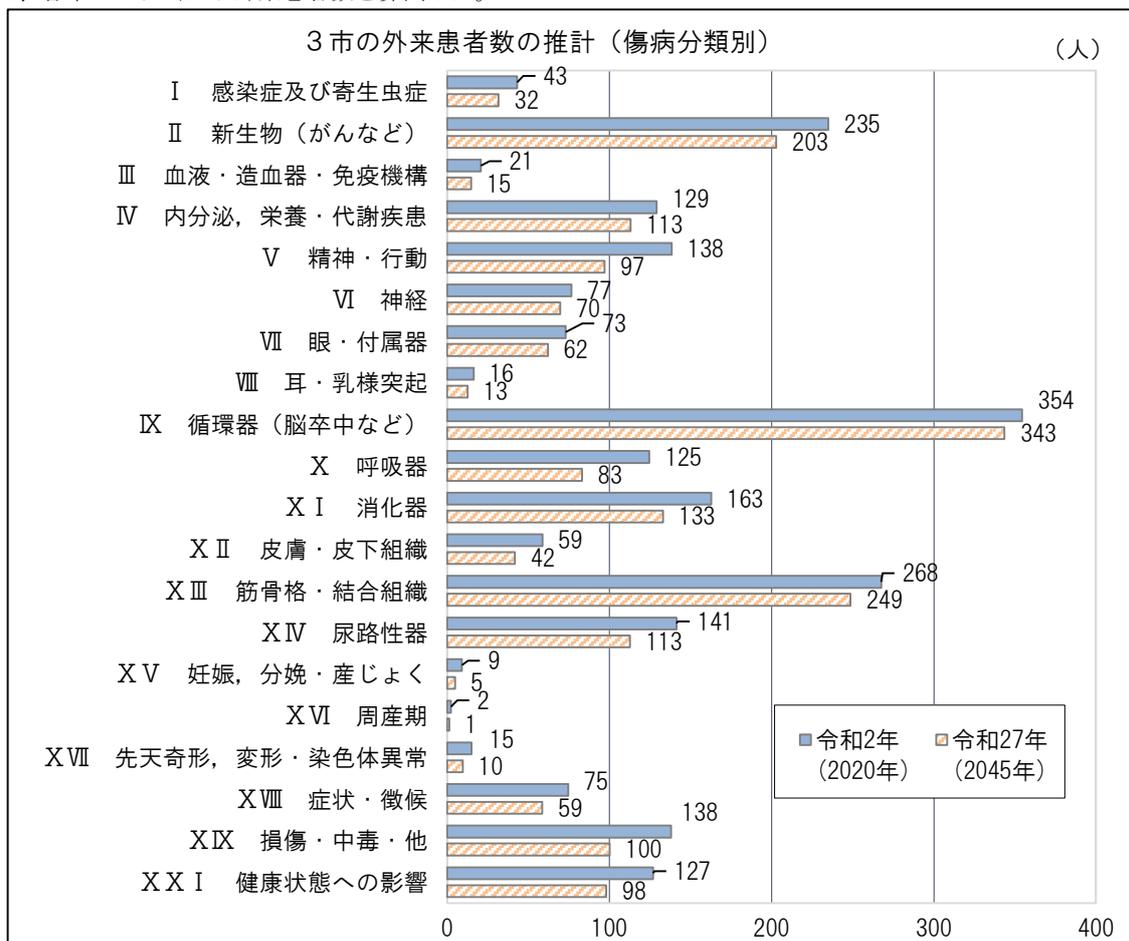
(3) 外来患者数の推計

3市の1日当たりの外来患者数は、年々減少し、令和27(2045)年には令和2(2020)年の83%まで減少することが推計されます。

また、傷病別の患者数は、いずれの傷病についても減少することが推計されます。



※石岡地域の将来推計人口に、平成29年患者調査の茨城県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の1日当たり外来患者数を算出した。

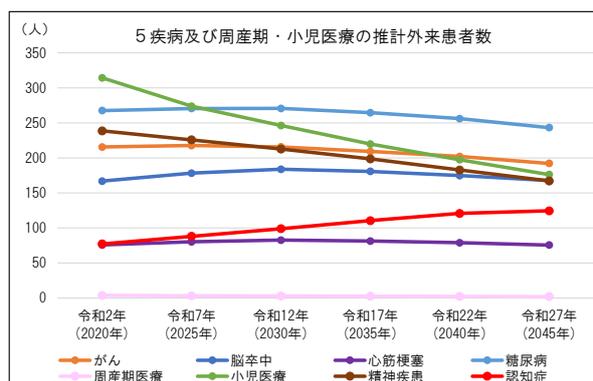
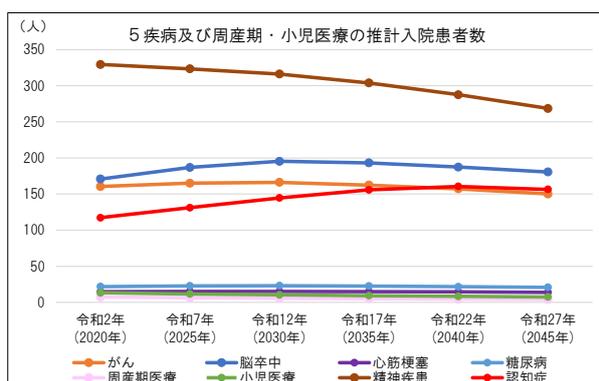


(4) 5 疾病及び周産期・小児医療の需要

3市の5疾病及び周産期・小児医療の推計患者数は以下のとおりです。1日当たりの患者数は、入院患者数ではがん、脳卒中、糖尿病が微増しますが、精神疾患、周産期医療、小児医療については減少することが推計されます。

外来患者数については、精神疾患、小児医療の減少が著しく、その他の疾病については微減または横ばいとなることが推計されます。脳卒中については令和12(2030)年にピークを迎えその後減少するものの、入院・外来ともに令和2(2020)年時点よりも患者数が増加することが推計されます。

また、認知症については、今後の高齢者人口の増加に伴い入院・外来患者数ともに増加することが推計されます。



単位：人/日

入院	令和2年(2020年)	令和7年(2025年)	令和12年(2030年)	令和17年(2035年)	令和22年(2040年)	令和27年(2045年)
がん	160	165	166	162	157	150
脳卒中	171	187	195	193	187	181
心筋梗塞	15	15	15	15	15	14
糖尿病	22	23	23	23	22	21
精神疾患	329	323	316	304	287	269
周産期医療	7	6	6	5	5	4
小児医療	13	12	10	9	8	7
認知症	117	131	145	156	161	156

単位：人/日

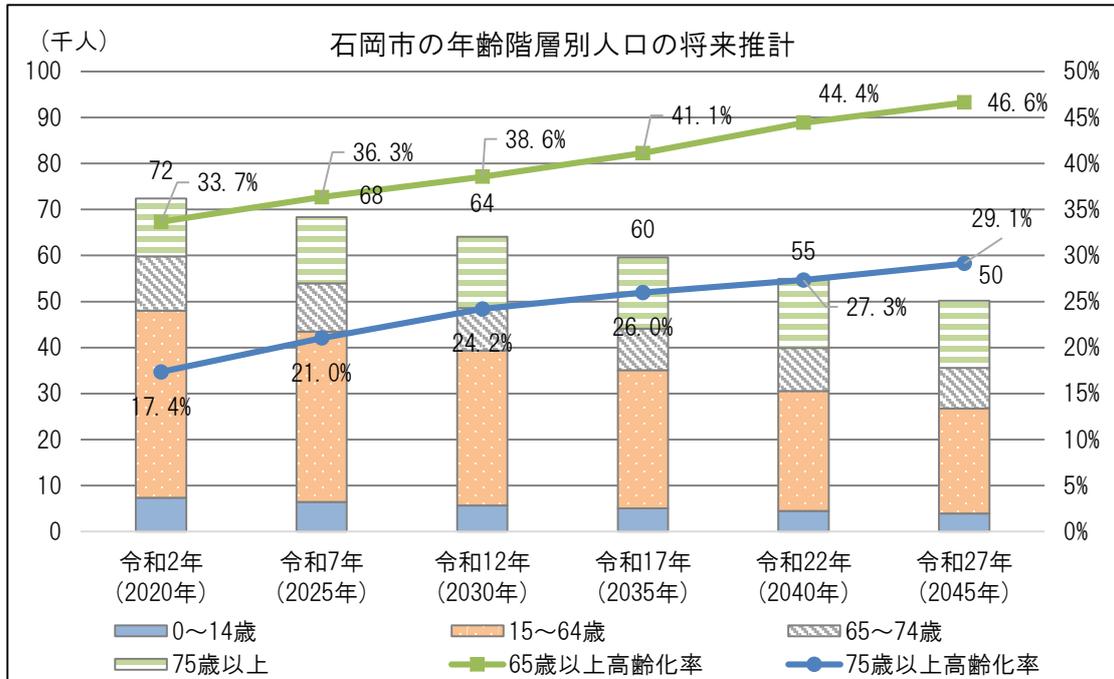
外来	令和2年(2020年)	令和7年(2025年)	令和12年(2030年)	令和17年(2035年)	令和22年(2040年)	令和27年(2045年)
がん	216	218	216	209	202	192
脳卒中	167	178	184	181	175	168
心筋梗塞	76	80	83	81	79	76
糖尿病	268	271	271	265	256	243
精神疾患	239	226	213	199	183	167
周産期医療	4	3	3	3	2	2
小児医療	314	274	246	220	197	176
認知症	77	88	99	110	121	124

2 石岡市における人口推計と将来医療需要

(1) 将来推計人口

石岡市の将来人口は減少を続ける一方で65歳以上の高齢者数は増加を続け、令和27(2045)年には約47%になることが推計されています。

なお、石岡市と全国、茨城県、3市の高齢化率を比較すると、石岡市の高齢化率が最も高いと推計されています。



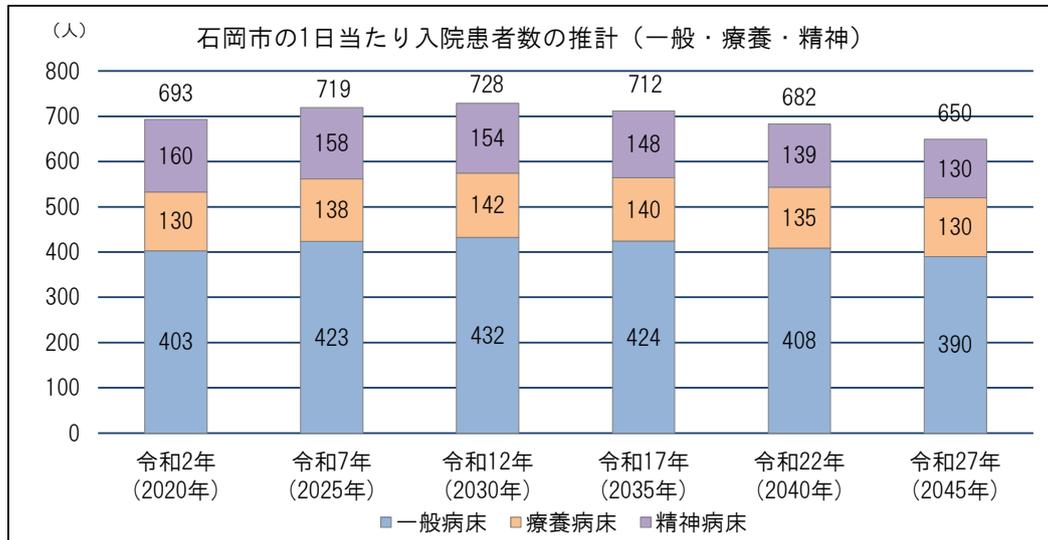
石岡市の人口推計		令和2年(2020年)	令和7年(2025年)	令和12年(2030年)	令和17年(2035年)	令和22年(2040年)	令和27年(2045年)
0~14歳		7,385	6,491	5,721	5,030	4,480	3,956
15~64歳		40,626	36,996	33,632	30,054	26,042	22,825
65~74歳		11,796	10,461	9,212	9,022	9,387	8,778
75歳以上		12,555	14,372	15,490	15,478	15,008	14,615
計		72,362	68,320	64,055	59,584	54,917	50,174
65歳以上高齢化率		33.7%	36.3%	38.6%	41.1%	44.4%	46.6%
75歳以上高齢化率		17.4%	21.0%	24.2%	26.0%	27.3%	29.1%
高齢化率	全国	28.9%	30.0%	31.2%	32.8%	35.3%	36.8%
	茨城県	30.1%	32.0%	33.5%	35.3%	38.2%	40.0%
	3市	32.1%	34.4%	36.3%	38.3%	41.5%	43.7%

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

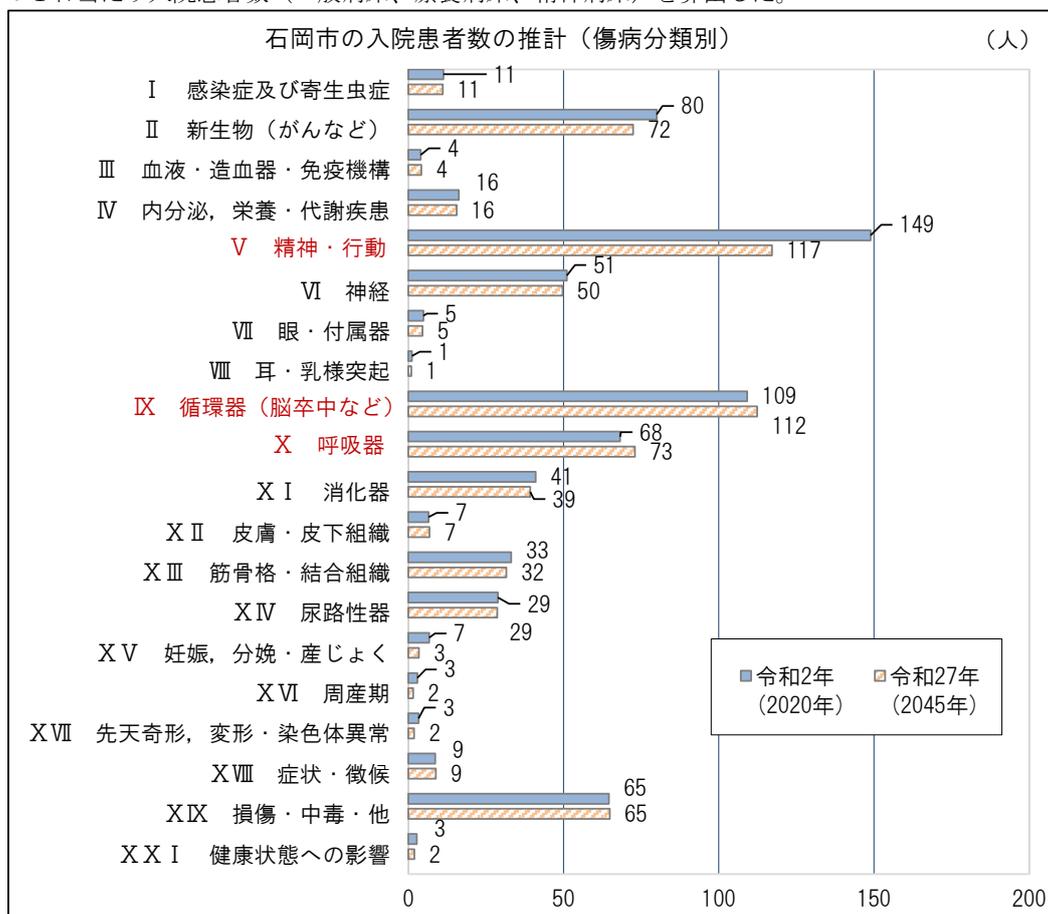
(2) 石岡市の推計患者数（入院）

石岡市の1日当たりの入院患者数（一般病床、療養病床、精神病床）は、令和12（2030）年にピークとなる728人に達し、その後、減少することが推計されます。

令和2（2020）年と令和27（2045）年を傷病別に比較すると、精神疾患の需要は減少するものの令和27(2045)年においても依然として最も多く、循環器及び呼吸器疾患については需要の増加が見込まれます。その他の傷病については減少または横ばいとなることが推計されます。



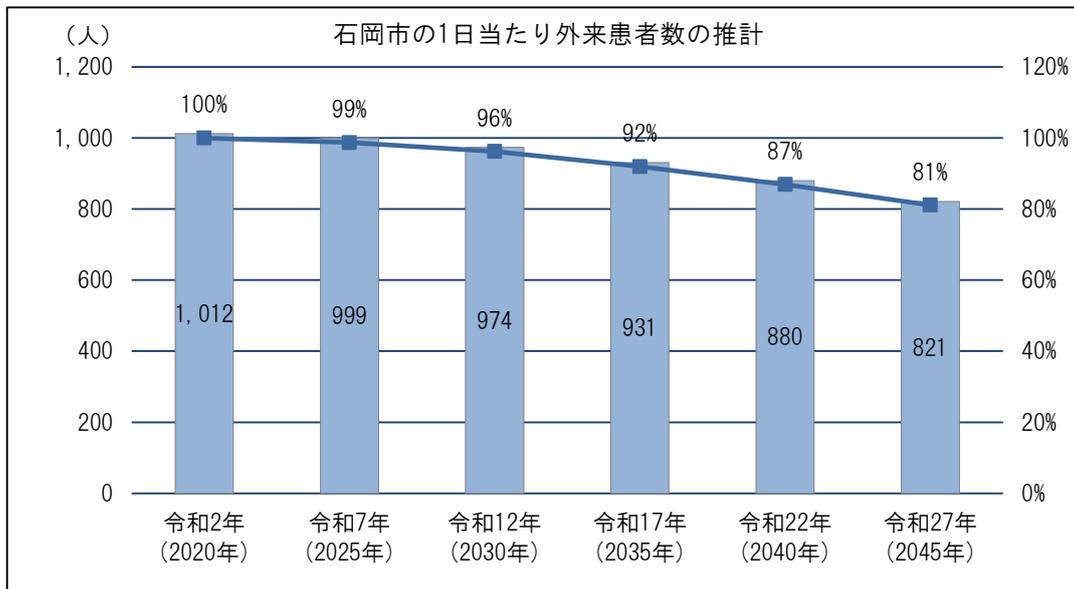
※石岡市の将来推計人口に、平成29年患者調査の茨城県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の1日当たり入院患者数（一般病床、療養病床、精神病床）を算出した。



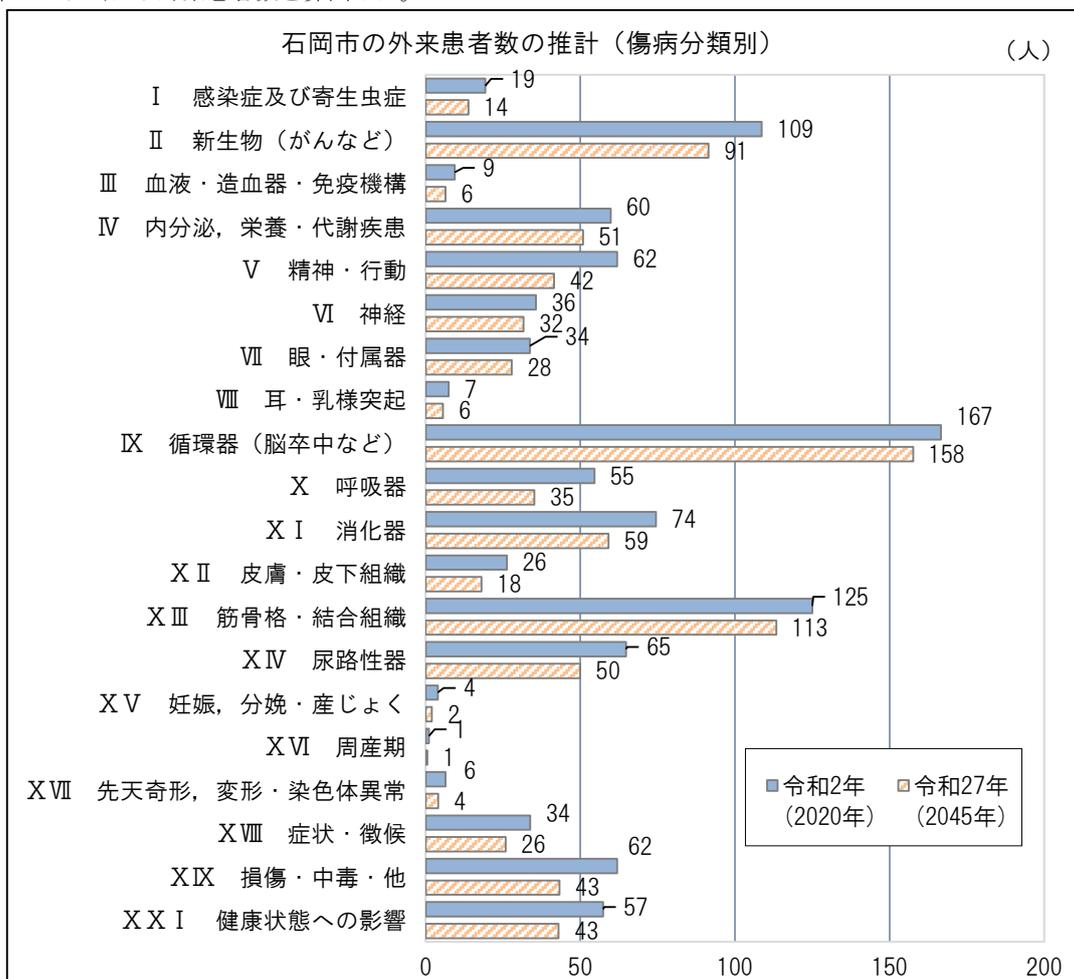
(3) 石岡市の推計患者数（外来）

石岡市の1日当たりの外来患者数は、年々減少し、令和27（2045）年には令和2（2020）年の81%まで減少することが推計されます。

傷病別の患者数は、いずれの傷病についても減少することが推計されます。

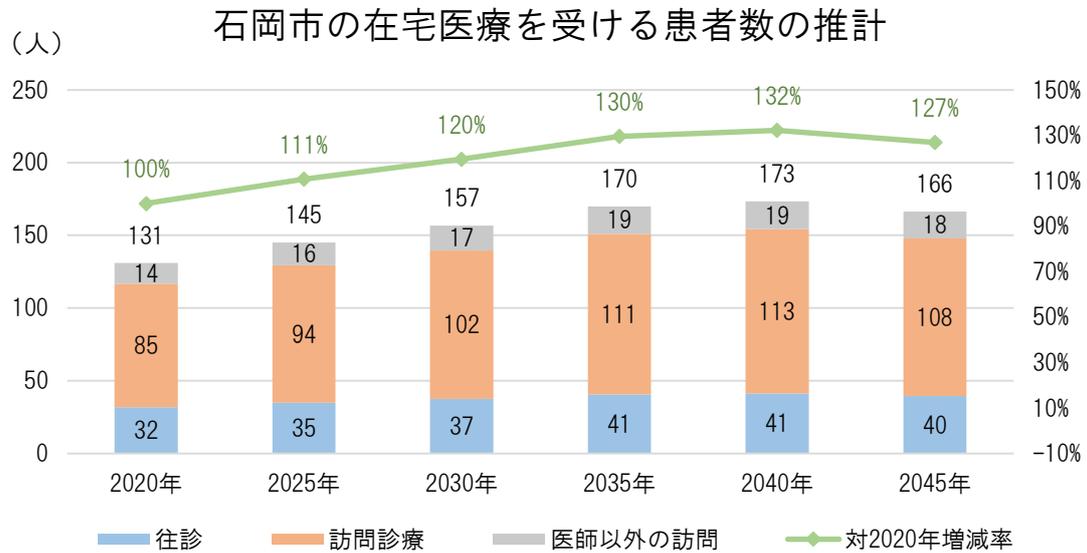


※石岡市の将来推計人口に、平成29年患者調査の茨城県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の1日当たり外来患者数を算出した。



(4) 石岡市の推計患者数（在宅医療）

石岡市の在宅医療を受ける患者数は令和 22（2040）年まで増加を続け、その後減少に転じると推計されます。



※石岡市の将来推計人口に、平成 29 年患者調査「推計外来患者数（往診、訪問診療、医師・歯科医師以外の訪問）」と全国の推計人口から算出した在宅医療の受療率を乗じて、石岡市の将来在宅医療を受ける患者数を推計した。

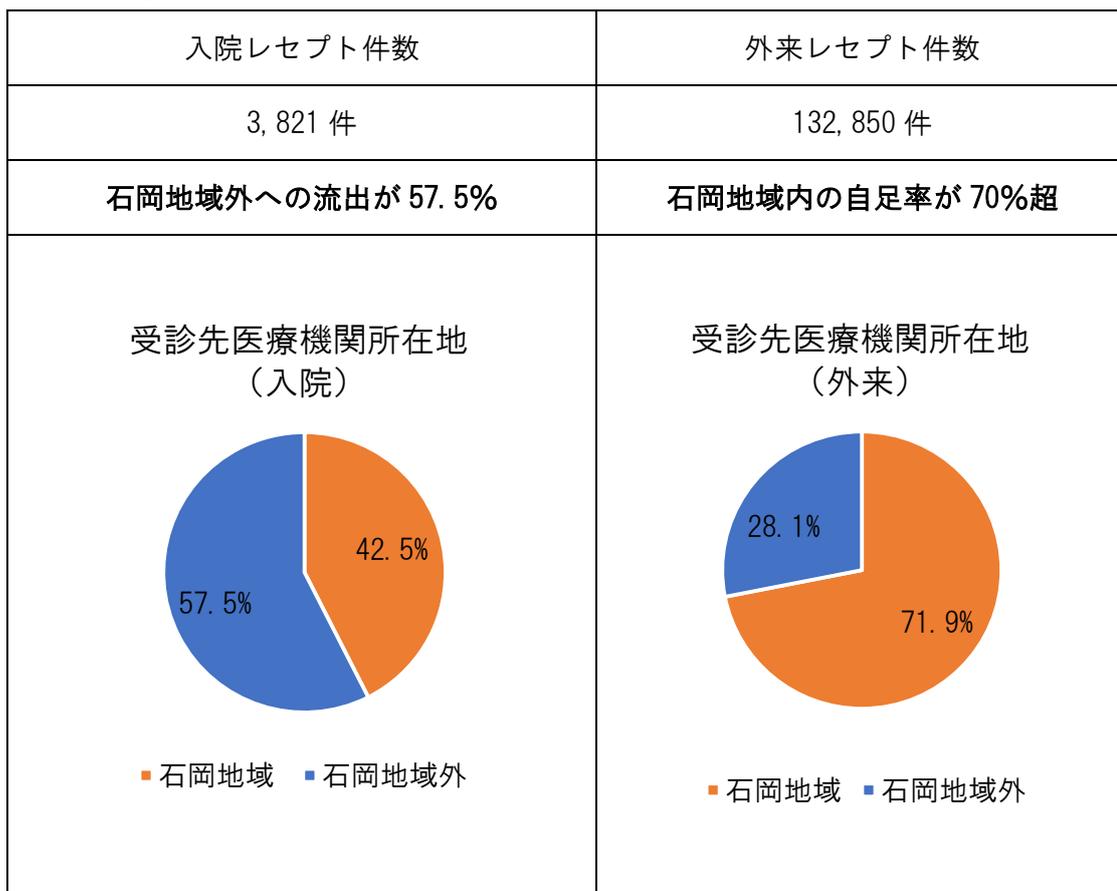
第3章 石岡市の国民健康保険及びマル福レセプトデータ分析

本分析は令和2（2020）年の石岡市の国民健康保険レセプトデータをもとに行いました。

1 令和2（2020）年国民健康保険レセプトデータ分析

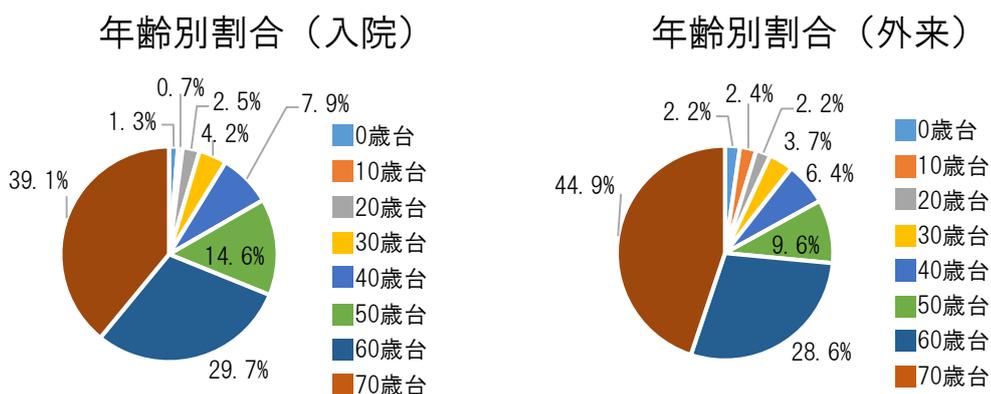
（1）受診先医療機関所在地

入院では石岡地域での受診が42.5%と半数以下ですが、外来では石岡地域での受診が約72%を占めています。



（2）年齢別割合

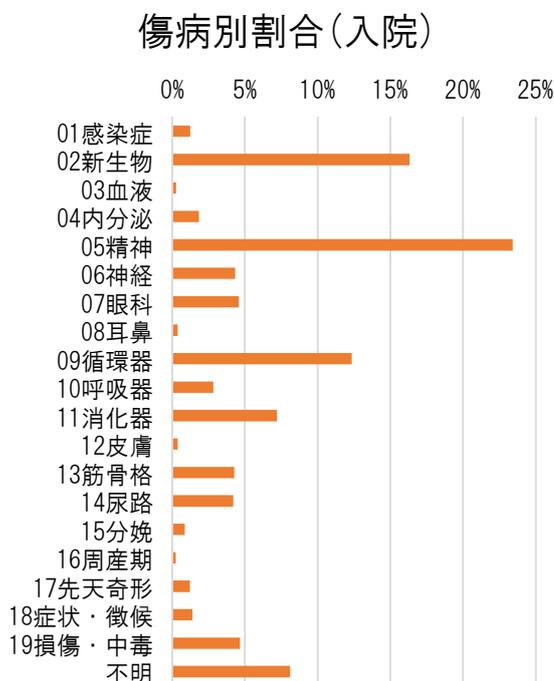
入院、外来ともに70歳台、60歳台、50歳台の順に患者数が多くなっています。また60歳台以上の患者数が入院、外来ともに約70%を占めています。



(3) 傷病別割合

ア 入院

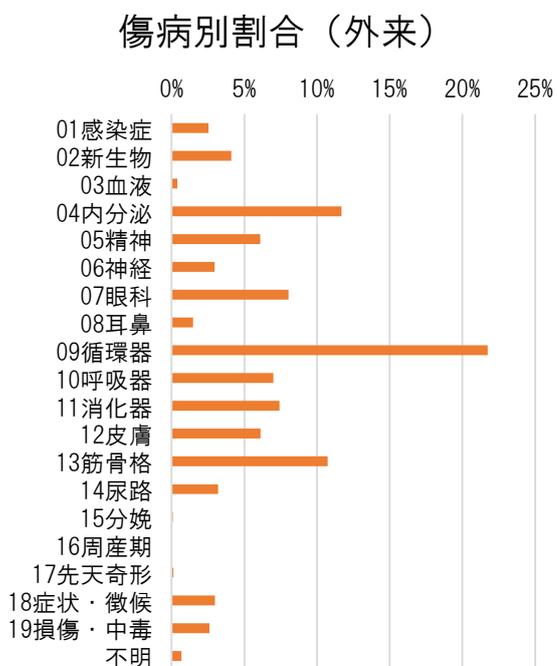
入院において最も多い傷病は精神疾患であり、次いで新生物、循環器の順で多くなっています。また上記3傷病で全体の半分以上を占めています。



傷病分類	レセプト件数	割合
01感染症	47	1.2%
02新生物	624	16.3%
03血液	10	0.3%
04内分泌	70	1.8%
05精神	895	23.4%
06神経	165	4.3%
07眼科	175	4.6%
08耳鼻	14	0.4%
09循環器	472	12.4%
10呼吸器	108	2.8%
11消化器	275	7.2%
12皮膚	14	0.4%
13筋骨格	163	4.3%
14尿路	160	4.2%
15分娩	33	0.9%
16周産期	9	0.2%
17先天奇形	46	1.2%
18症状・徴候	53	1.4%
19損傷・中毒	178	4.7%
不明	310	8.1%
総計	3,821	100.0%

イ 外来

外来において最も多い傷病は循環器疾患であり、次いで内分泌、筋骨格の順で多くなっています。

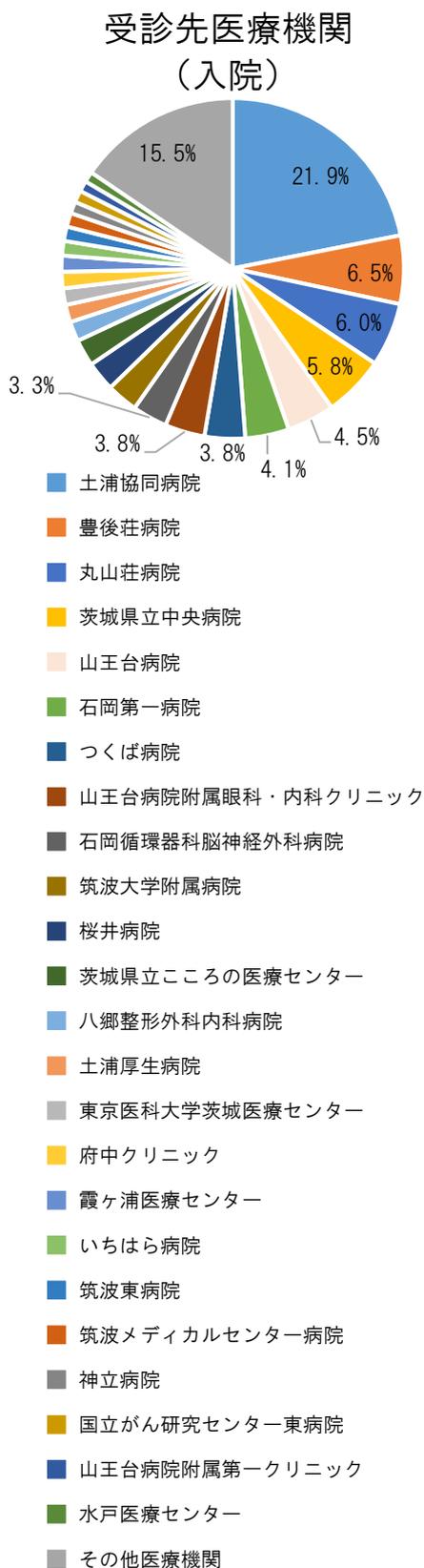


傷病分類	レセプト件数	割合
01感染症	3,375	2.5%
02新生物	5,445	4.1%
03血液	525	0.4%
04内分泌	15,527	11.7%
05精神	8,101	6.1%
06神経	3,926	3.0%
07眼科	10,673	8.0%
08耳鼻	1,947	1.5%
09循環器	28,891	21.7%
10呼吸器	9,299	7.0%
11消化器	9,865	7.4%
12皮膚	8,138	6.1%
13筋骨格	14,269	10.7%
14尿路	4,250	3.2%
15分娩	101	0.1%
16周産期	20	0.0%
17先天奇形	183	0.1%
18症状・徴候	3,948	3.0%
19損傷・中毒	3,453	2.6%
不明	914	0.7%
総計	132,850	100.0%

(4) 受診先医療機関

ア 入院

入院先医療機関をみると、土浦市に所在する土浦協同病院が21.9%と最も多くなっています。次いで豊後荘病院が6.5%、丸山荘病院が6.0%となっています。

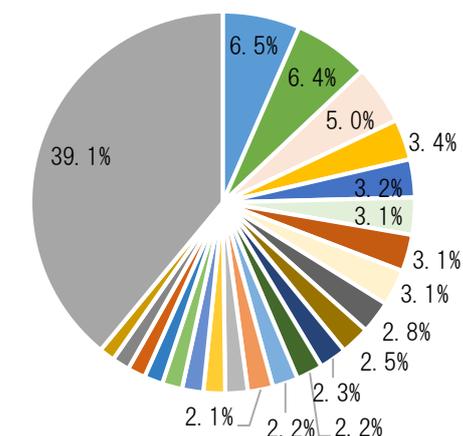


保険医療機関名	市町村名	レセプト 件数	割合
土浦協同病院	土浦市	836	21.9%
豊後荘病院	石岡市	248	6.5%
丸山荘病院	石岡市	231	6.0%
茨城県立中央病院	笠間市	221	5.8%
山王台病院	石岡市	172	4.5%
石岡第一病院	石岡市	158	4.1%
つくば病院	小美玉市	146	3.8%
山王台病院附属眼科・ 内科クリニック	石岡市	144	3.8%
石岡循環器科 脳神経外科病院	小美玉市	126	3.3%
筑波大学附属病院	つくば市	113	3.0%
桜井病院	石岡市	107	2.8%
茨城県立こころの 医療センター	笠間市	97	2.5%
八郷整形外科内科病院	石岡市	72	1.9%
土浦厚生病院	土浦市	63	1.6%
東京医科大学 茨城医療センター	稲敷郡 阿見町	60	1.6%
府中クリニック	石岡市	60	1.6%
霞ヶ浦医療センター	土浦市	58	1.5%
いちはら病院	つくば市	53	1.4%
筑波東病院	土浦市	52	1.4%
筑波メディカル センター病院	つくば市	50	1.3%
神立病院	土浦市	43	1.1%
国立がん研究センター 東病院	柏市	43	1.1%
山王台病院附属 第一クリニック	石岡市	39	1.0%
水戸医療センター	東茨城郡 茨城町	38	1.0%
その他医療機関		591	15.5%
総計		3,821	100.0%

イ 外来

外来受診先医療機関をみると、土浦協同病院が6.5%と最も多くなっています。外来に関しては石岡地域内で多く診ることができています。

受診医療機関
(外来)



- 土浦協同病院
- 石岡第一病院
- 山王台病院
- 府中クリニック
- 藤井内科クリニック
- グリーンクリニック
- 山王台病院附属眼科・内科クリニック
- 石岡市医師会病院
- 石岡循環器科脳神経外科病院
- 金丸医院
- ごとう内科
- 滝田整形外科
- 岡崎内科医院
- 杉並クリニック
- 長尾眼科
- 茨城県立中央病院
- 八郷整形外科内科病院
- 石岡診療所
- 寺山皮膚科・形成外科
- 田中クリニック
- 石岡・平本皮膚科医院
- 江畑医院
- その他医療機関

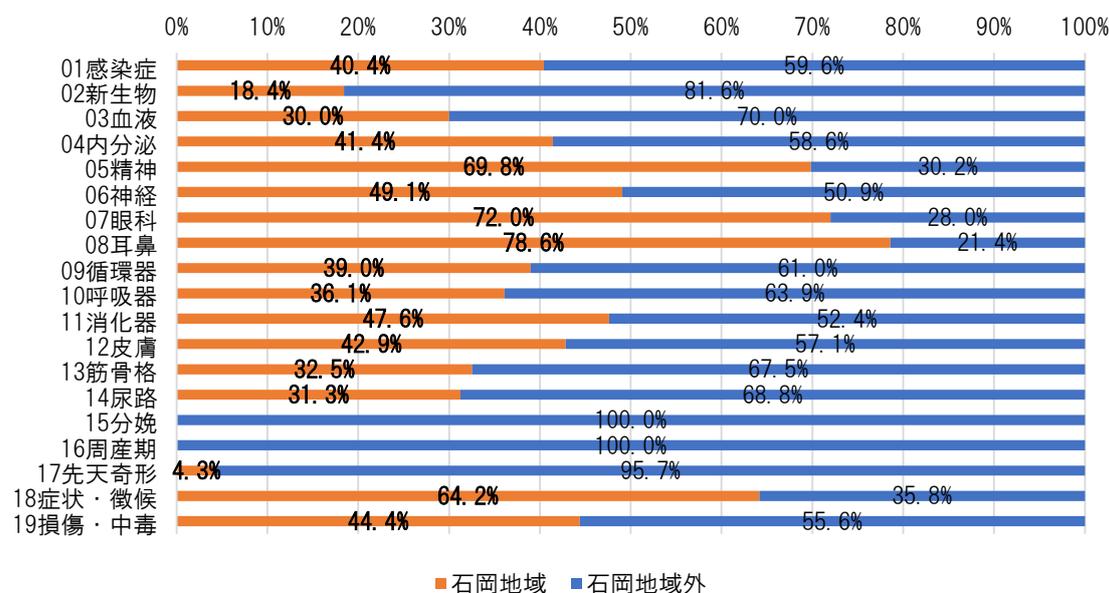
保険医療機関名	市町村名	レセプト 件数	割合
土浦協同病院	土浦市	8,644	6.5%
石岡第一病院	石岡市	8,483	6.4%
山王台病院	石岡市	6,671	5.0%
府中クリニック	石岡市	4,578	3.4%
藤井内科クリニック	石岡市	4,279	3.2%
グリーンクリニック	石岡市	4,182	3.1%
山王台病院附属眼科・内科クリニック	石岡市	4,133	3.1%
石岡市医師会病院	石岡市	4,069	3.1%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	3,658	2.8%
金丸医院	石岡市	3,276	2.5%
ごとう内科	石岡市	3,055	2.3%
滝田整形外科	石岡市	2,952	2.2%
岡崎内科医院	石岡市	2,857	2.2%
杉並クリニック	石岡市	2,805	2.1%
長尾眼科	石岡市	2,507	1.9%
茨城県立中央病院	笠間市	2,422	1.8%
八郷整形外科内科病院	石岡市	2,376	1.8%
石岡診療所	石岡市	2,248	1.7%
寺山皮膚科・形成外科	小美玉市	2,088	1.6%
田中クリニック	石岡市	2,005	1.5%
石岡・平本皮膚科医院	石岡市	1,956	1.5%
江畑医院	石岡市	1,727	1.3%
その他医療機関		51,879	39.1%
総計		132,850	100.0%

(5) 傷病別の受療動向

ア 入院

傷病別の入院受療動向についてみると、石岡地域では精神、眼科、耳鼻、症状・徴候(その他の傷病分類に含まれない病態及び症状)において、地域内で60%以上を診ることができています。一方、新生物、血液、先天奇形において、70%以上が石岡地域外に流出しています。また分娩、周産期においては100%が石岡地域外に流出しています。

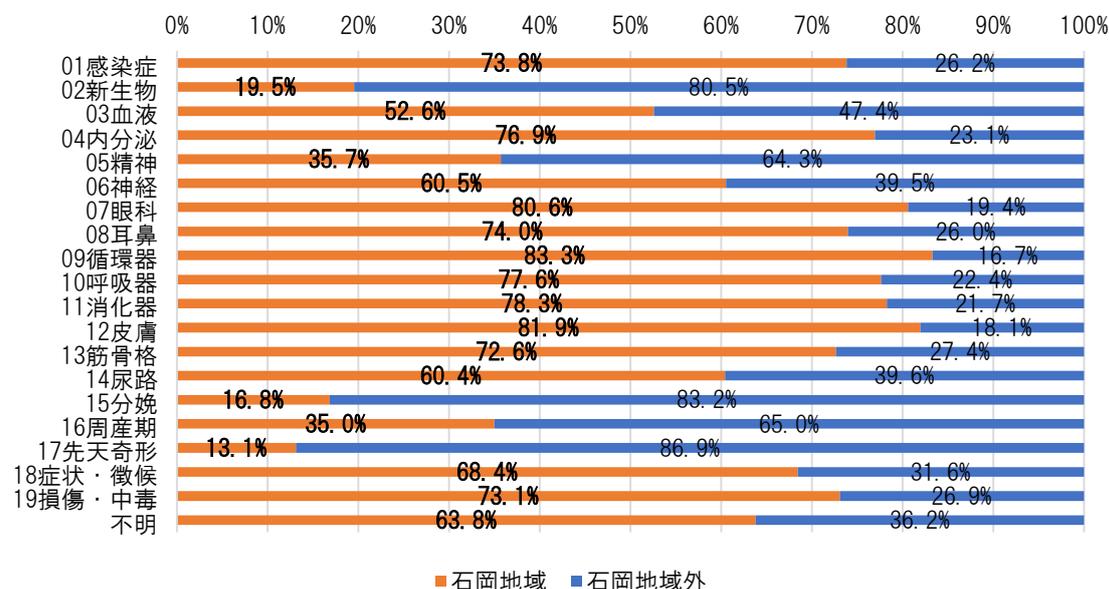
傷病別の受療動向（入院）



イ 外来

傷病別の外来受療動向についてみると、石岡地域では感染症、内分泌、眼科、耳鼻、循環器、呼吸器、消化器、皮膚、筋骨格、損傷・中毒において、地域内で70%を診ることができています。一方、周産期は65%、新生物、分娩、先天奇形は80%以上が石岡地域外に流出しています。

傷病別の受療動向（外来）

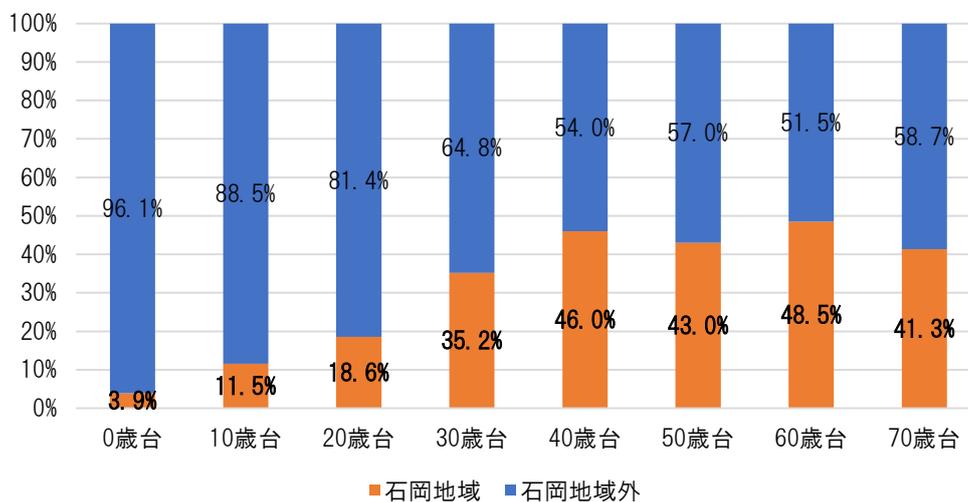


(6) 年齢別の受療動向

ア 入院

年齢別の入院受療動向をみると、年齢が高いほど石岡地域内の医療機関への受診が多い傾向があります。

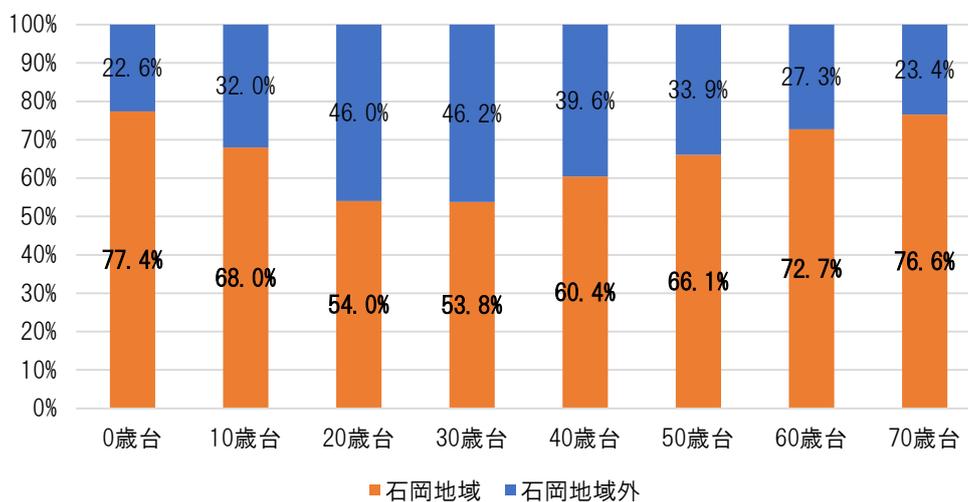
年齢別の受療動向（入院）



イ 外来

年齢別の外来受療動向をみると、全ての年齢階級で石岡地域内の医療機関への受診が50%を超えています。

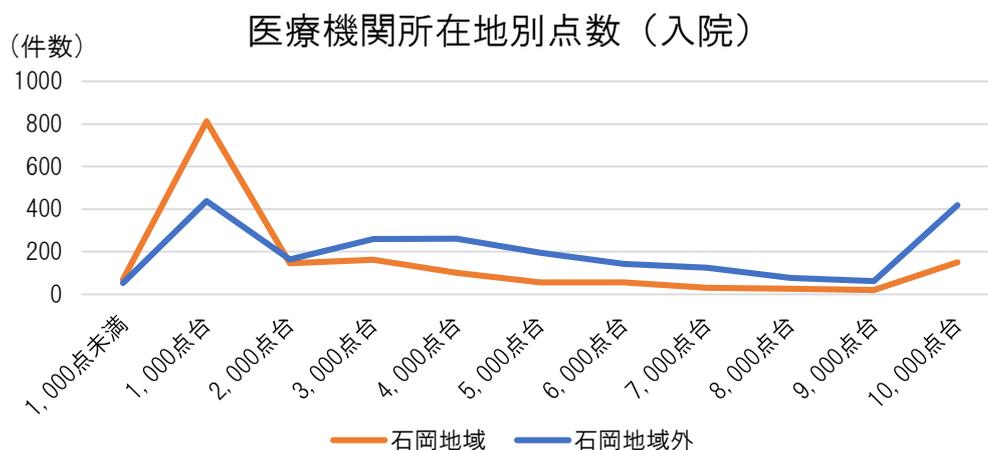
年齢別の受療動向（外来）



(7) 医療機関所在地別点数

ア 入院

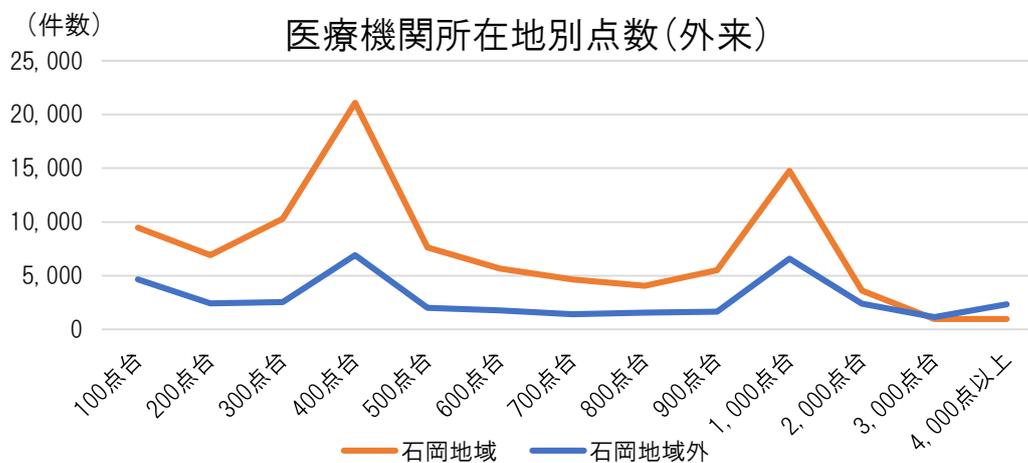
入院患者の1日当たり請求点数を階級別に区分し受診先所在地をみると、入院患者に対する医療資源の投入量が少ないことや、看護配置基準の低い入院基本料を算定している医療機関が多いことから、石岡地域での受診は1,000点台が最も多くなっています。一方、医療資源の投入量が多く入院基本料が高い2,000点以上の区分では石岡地域外での受診が多くなっています。



請求点数	1,000点未満	1,000点台	2,000点台	3,000点台	4,000点台	5,000点台	6,000点台
石岡地域	69	812	145	162	101	56	56
石岡地域外	53	438	163	259	261	195	143
総計	122	1,250	308	421	362	251	199
請求点数	7,000点台	8,000点台	9,000点台	10,000点台	不明	合計	
石岡地域	30	25	19	150		1,625	
石岡地域外	125	77	62	418	2	2,196	
総計	155	102	81	568	2	3,821	

イ 外来

外来患者の1日当たり請求点数を階級別に区分してみると、2つのピークに分かれ、400点台はかかりつけ医療機関への再受診等により医療資源の投入量が少なく、1,000点台は初診、急性増悪等による受診のため医療資源の投入量が多いことを示しています。



請求点数	100点台	200点台	300点台	400点台	500点台	600点台	700点台	800点台
石岡地域	9,457	6,902	10,285	21,082	7,629	5,657	4,658	4,052
石岡地域外	4,640	2,411	2,527	6,909	2,012	1,755	1,416	1,549
総計	14,097	9,313	12,812	27,991	9,641	7,412	6,074	5,601

請求点数	900点台	1,000点台	2,000点台	3,000点台	4,000点以上	不明	合計
石岡地域	5,512	14,755	3,615	968	807	159	95,538
石岡地域外	1,642	6,591	2,391	1,146	2,052	271	37,312
総計	7,154	21,346	6,006	2,114	2,859	430	132,850

(8) 傷病別入院先医療機関(参考)

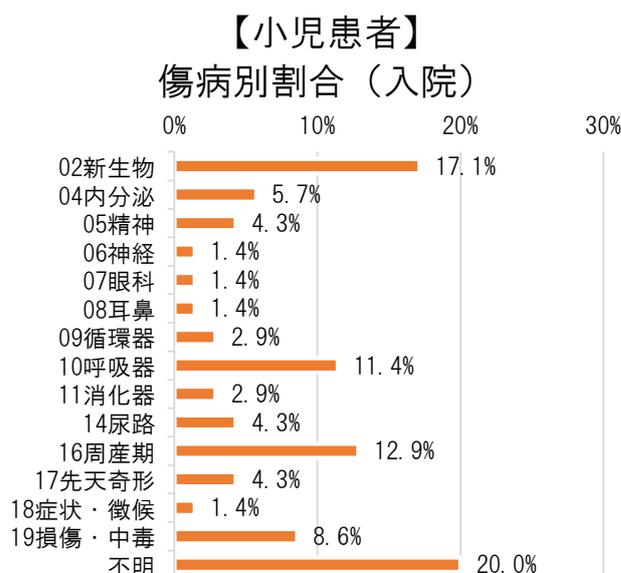
保険医療機関名	市町村名	01感染症	02新生物	03血液	04内分泌	05精神	06神経	07眼科	08耳鼻	09循環器	10呼吸器	11消化器	12皮膚	13筋骨格	14尿路	15分娩	16周産期	17先天奇形	18症状・徴候	19損傷・中毒	不明
土浦協同病院	土浦市	38.3%	33.8%	40.0%	22.9%		13.3%	2.3%	7.1%	30.9%	33.3%	28.0%	50.0%	11.0%	34.4%	30.3%	22.2%	6.5%	1.9%	20.2%	54.5%
豊後荘病院	石岡市					21.8%	7.9%			1.7%		4.4%		1.8%	6.3%				9.4%		0.6%
丸山荘病院	石岡市					20.7%	27.9%														
茨城県立中央病院	笠間市	6.4%	14.1%	20.0%	8.6%	0.1%	1.2%	2.3%	7.1%	4.0%	13.0%	5.8%	7.1%	4.9%	6.3%	3.0%	33.3%	6.5%	13.2%	1.7%	9.4%
山王台病院	石岡市	2.1%	7.5%	10.0%	4.3%		0.6%		7.1%	6.8%	4.6%	14.2%	7.1%	1.8%	13.1%			2.2%	13.2%	1.7%	1.9%
石岡第一病院	石岡市	23.4%	3.4%		10.0%		0.6%		28.6%	2.1%	18.5%	8.0%	7.1%	6.7%	6.9%					14.0%	4.5%
つくば病院	小美玉市					14.7%	7.3%														0.6%
山王台病院附属眼科・内科クリニック	石岡市		3.2%					57.7%	14.3%	1.1%	0.9%	1.1%	7.1%	1.2%	2.5%				9.4%		
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市		0.3%		5.7%		2.4%		14.3%	17.4%	2.8%			4.3%					17.0%	3.9%	1.9%
筑波大学附属病院	つくば市		5.6%	10.0%	1.4%		6.1%	3.4%	7.1%	3.0%	1.9%	2.9%		3.7%	1.3%	3.0%		4.3%		2.2%	6.5%
桜井病院	石岡市					11.8%															0.3%
茨城県立こころの医療センター	笠間市					10.4%	1.8%														0.3%
八郷整形外科内科病院	石岡市		0.2%		4.3%					2.3%				16.6%					7.5%	14.6%	
土浦厚生病院	土浦市					6.9%															0.3%
東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町	6.4%	3.2%		10.0%		0.6%	6.9%		0.8%	2.8%	0.4%		1.2%						1.1%	1.6%
府中クリニック	石岡市	2.1%	0.5%	10.0%	4.3%	0.1%	0.6%			0.6%	0.9%	16.7%									
霞ヶ浦医療センター	土浦市	4.3%	2.6%			0.1%		4.0%		1.3%		1.1%		1.2%	4.4%	12.1%	22.2%		1.9%	2.8%	0.6%
いちばら病院	つくば市									3.8%				14.1%						6.2%	0.3%
筑波東病院	土浦市					5.6%															0.6%
筑波メディカルセンター病院	つくば市		2.2%		1.4%	0.1%				4.2%	0.9%	1.1%		0.6%						2.2%	1.6%
国立がん研究センター東病院	柏市		4.8%								0.9%	0.7%									4.2%
神立病院	土浦市				2.9%			0.6%		4.0%	3.7%	0.4%		6.7%						2.8%	
山王台病院附属第一クリニック	石岡市		1.3%		4.3%		1.8%		7.1%	1.9%	3.7%	1.5%			0.6%			2.2%	1.9%	1.1%	0.6%
水戸医療センター	東茨城郡茨城町		1.8%				3.6%			1.1%	2.8%	1.8%		2.5%						1.1%	0.6%
筑波記念病院	つくば市		0.8%				1.2%			2.1%	0.9%			8.6%						1.7%	0.3%
山王台病院附属第二クリニック	石岡市	8.5%	1.0%	10.0%	4.3%					1.7%	3.7%	0.7%	21.4%		0.6%				1.9%	0.6%	0.6%
長尾眼科	石岡市				1.4%			14.3%													
小柳病院	古河市					2.7%															
美野里病院	小美玉市				2.9%	0.7%				2.5%											0.3%
茨城県立こども病院	水戸市		1.9%		1.4%										0.6%		11.1%				1.0%
旭台病院	石岡市		1.0%																	6.7%	
虎の門病院	港区		2.2%																		0.6%
石岡市医師会病院	石岡市	4.3%	0.2%						7.1%	0.6%	0.9%				1.3%				3.8%	1.7%	
北水会記念病院	水戸市		0.2%											4.9%	1.3%					1.7%	
小沢眼科内科病院	水戸市				2.9%			6.3%		0.2%											
美浦中央病院	稲敷郡阿見町				2.9%						0.9%				5.6%						0.6%
茨城東病院	那珂郡東海村										0.9%							26.1%			
愛正会記念茨城福祉医療センター	水戸市						6.1%														0.6%
水戸中央病院	水戸市														7.5%						
筑波病院	つくば市									0.4%										18.9%	
医療型障害児入所施設水方苑	高萩市																	26.1%			
茨城県立医療大学付属病院	稲敷郡阿見町									2.5%											
水戸赤十字病院	水戸市		1.9%																		
東埼玉病院	蓮田市						7.3%														
芳香会病院青嵐荘療育園	古河市																			26.1%	
根本産婦人科医院	笠間市															27.3%	11.1%				
つくばセントラル病院	牛久市		0.6%									1.1%									0.6%
なないろレディースクリニック	つくば市		0.2%													6.1%					
住吉クリニック病院	水戸市														2.5%						
つばさクリニック	行方市																			6.1%	
茨城西南医療センター病院	猿島郡境町																			6.1%	
その他医療機関		4.3%	5.6%		4.3%	4.2%	9.7%	2.3%		2.8%	1.9%	10.2%		8.0%	5.0%	6.1%				11.2%	4.5%
総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(9) 小児患者傷病別割合 (参考)

本分析は令和2(2020)年の石岡市の国民健康保険レセプトデータにおけるマル福対象者(18歳以下)をもとに行いました。

ア 入院

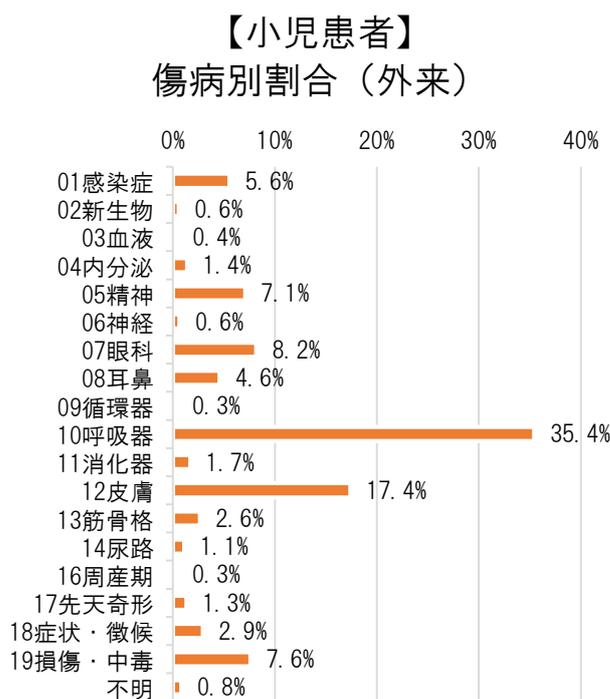
傷病別の入院患者数をみると、新生物が17.1%と最も多く、次いで周産期(生後7日までの新生児)が12.9%、呼吸器が11.4%となっています。



傷病分類	レセプト 件数	割合
02新生物	12	17.1%
04内分泌	4	5.7%
05精神	3	4.3%
06神経	1	1.4%
07眼科	1	1.4%
08耳鼻	1	1.4%
09循環器	2	2.9%
10呼吸器	8	11.4%
11消化器	2	2.9%
14尿路	3	4.3%
16周産期	9	12.9%
17先天奇形	3	4.3%
18症状・徴候	1	1.4%
19損傷・中毒	6	8.6%
不明	14	20.0%
総計	70	100.0%

イ 外来

傷病別の外来患者数をみると、呼吸器と皮膚で全体の半数を占めており、呼吸器が35.4%と最も多く、次いで皮膚が17.4%です。



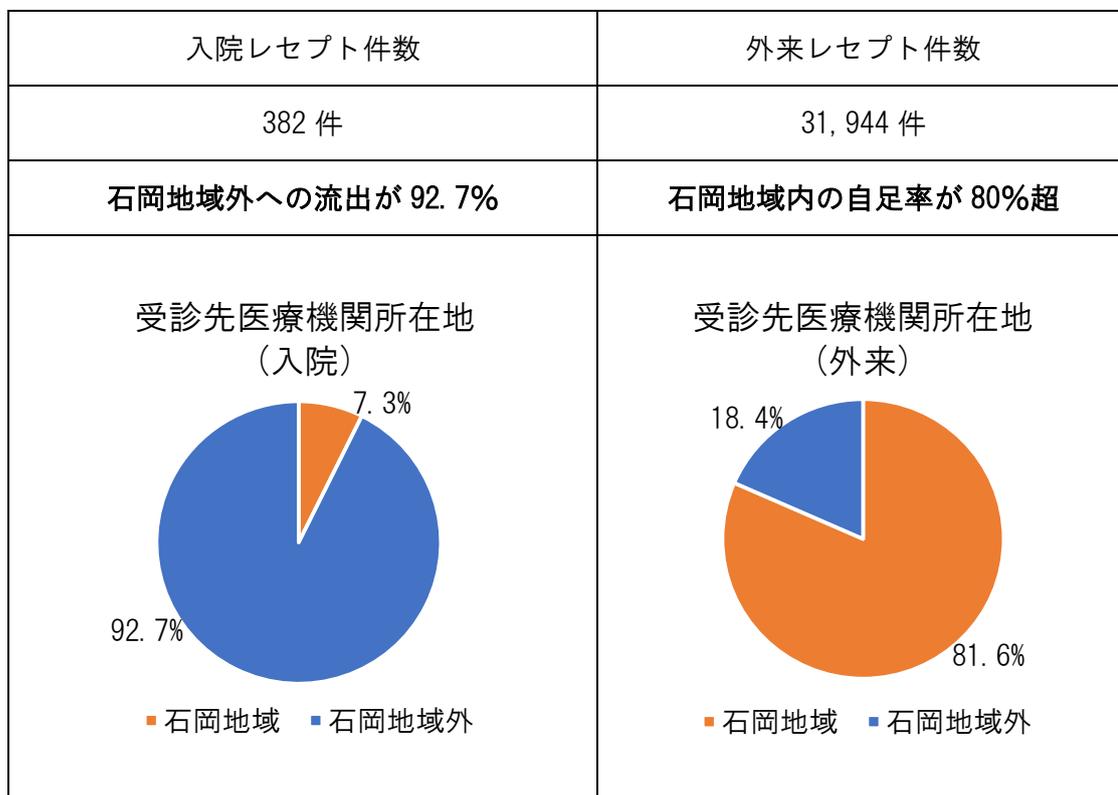
傷病分類	レセプト 件数	割合
01感染症	315	5.6%
02新生物	33	0.6%
03血液	20	0.4%
04内分泌	79	1.4%
05精神	402	7.1%
06神経	36	0.6%
07眼科	464	8.2%
08耳鼻	260	4.6%
09循環器	19	0.3%
10呼吸器	2,010	35.4%
11消化器	96	1.7%
12皮膚	987	17.4%
13筋骨格	150	2.6%
14尿路	63	1.1%
16周産期	19	0.3%
17先天奇形	76	1.3%
18症状・徴候	167	2.9%
19損傷・中毒	431	7.6%
不明	47	0.8%
総計	5,674	100.0%

2 小児マル福レセプトデータ分析

本分析は令和2（2020）年の石岡市のマル福レセプトデータをもとに行いました。

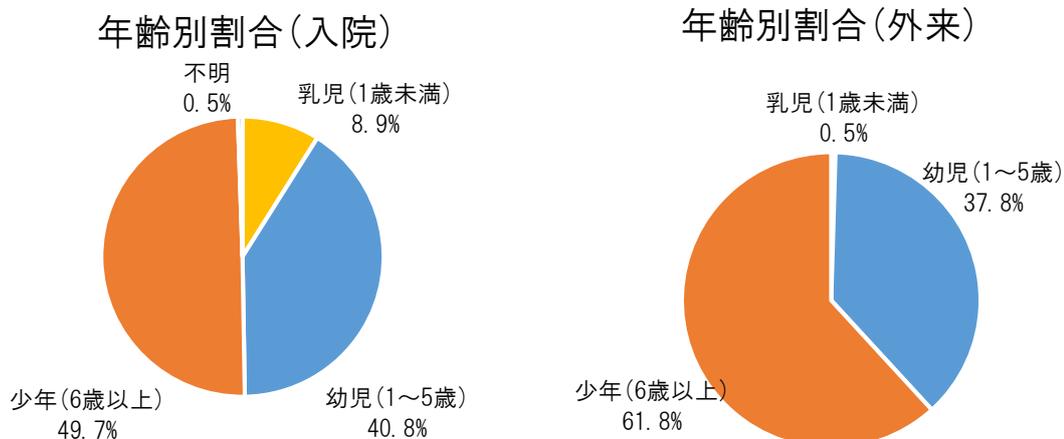
（1） 受診先医療機関所在地

入院では石岡地域での受診が約7%と非常に少ないものの、外来では石岡地域での受診が約82%を占めています。



（2） 年齢別割合

入院、外来ともに約50%以上を少年（6歳以上）が占めています。次いで幼児、乳児の順となっています。

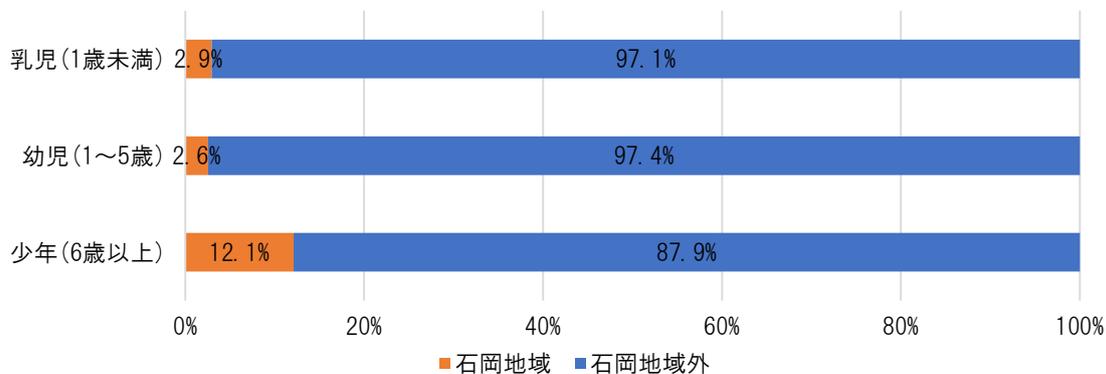


(3) 年齢別受診先医療機関所在地

ア 入院

年齢別の受診先医療機関所在地をみると、全ての年齢において80%以上が石岡地域外に流出しており、乳児（1歳未満）、幼児（1～5歳）では石岡地域内が3%以下となっています。

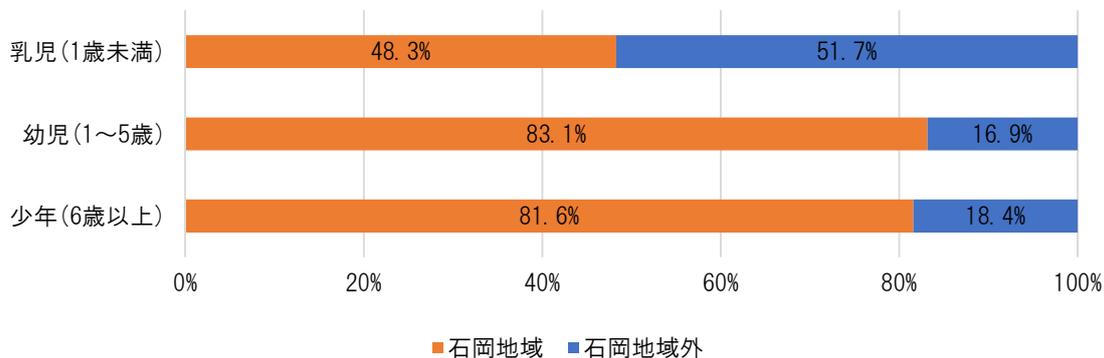
年齢別受診先医療機関所在地（入院）



イ 外来

年齢別の受診先医療機関所在地をみると、乳児を除く幼児、少年においては80%以上を石岡地域内で診ることができています。乳児は半数以上が石岡地域外に流出しています。

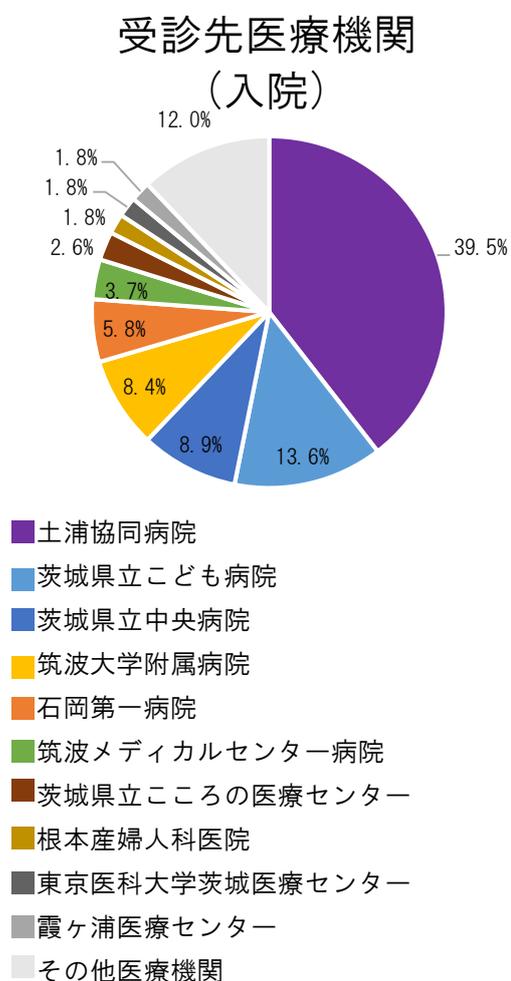
年齢別受診先医療機関所在地（外来）



(4) 受診先医療機関

ア 入院

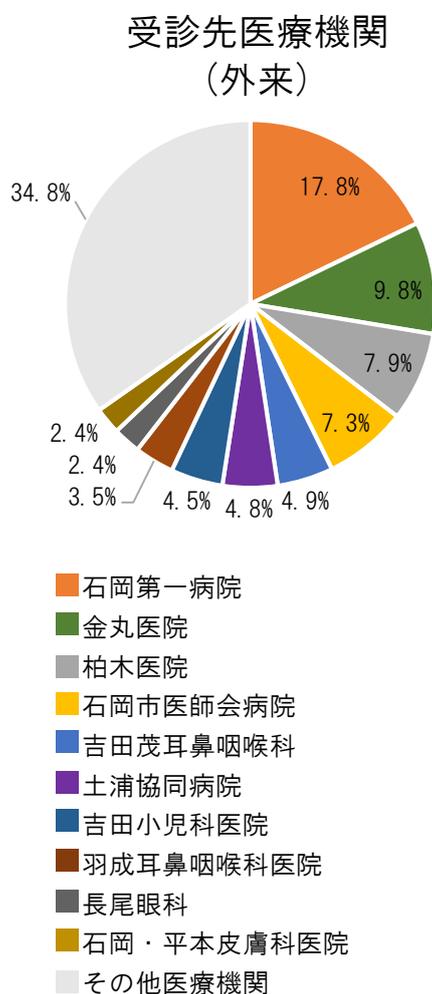
小児の入院先医療機関をみると、土浦協同病院が約 40%と最も多くなっています。次いで、水戸市に所在する茨城県立こども病院、笠間市に所在する茨城県立中央病院と、石岡地域外の医療機関が多くを占めています。



保険医療機関名	市町村名	レセプト件数	割合
土浦協同病院	土浦市	151	39.5%
茨城県立こども病院	水戸市	52	13.6%
茨城県立中央病院	笠間市	34	8.9%
筑波大学附属病院	つくば市	32	8.4%
石岡第一病院	石岡市	22	5.8%
筑波メディカルセンター病院	つくば市	14	3.7%
茨城県立こころの医療センター	笠間市	10	2.6%
根本産婦人科医院	笠間市	7	1.8%
東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町	7	1.8%
霞ヶ浦医療センター	土浦市	7	1.8%
その他医療機関		46	12.0%
総計		382	100.0%

イ 外来

小児の外来受診先医療機関をみると、入院に比べ石岡地域内の医療機関への受診が多く、最も受診が多いのは石岡第一病院であり、次いで金丸医院、柏木医院となっています。



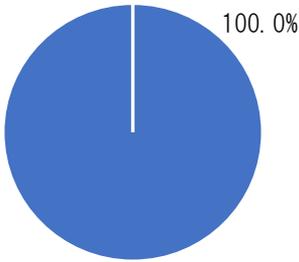
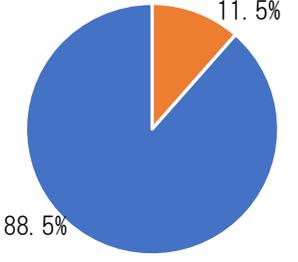
保険医療機関名	市町村名	レセプト 件数	割合
石岡第一病院	石岡市	5,678	17.8%
金丸医院	石岡市	3,146	9.8%
柏木医院	石岡市	2,510	7.9%
石岡市医師会病院	石岡市	2,326	7.3%
吉田茂耳鼻咽喉科	かすみが うら市	1,559	4.9%
土浦協同病院	土浦市	1,528	4.8%
吉田小児科医院	石岡市	1,452	4.5%
羽成耳鼻咽喉科医院	石岡市	1,106	3.5%
長尾眼科	石岡市	771	2.4%
石岡・平本 皮膚科医院	石岡市	752	2.4%
その他医療機関		11,116	34.8%
総計		31,944	100.0%

3 妊産婦マル福レセプトデータ分析

本分析は令和2（2020）年の石岡市のマル福レセプトデータをもとに行いました。

（1）受診先医療機関所在地

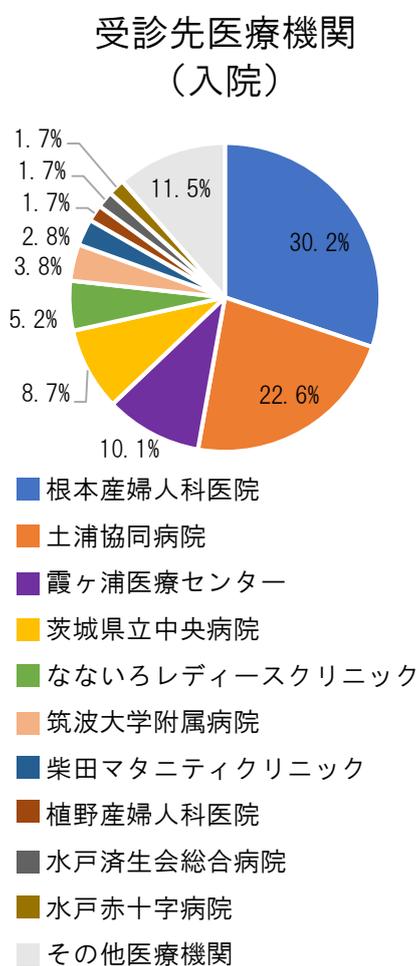
入院では石岡地域外での受診が100%です。外来では約90%が石岡地域外に流出しています。

入院レセプト件数	外来レセプト件数
288 件	1,090 件
石岡地域外への流出が100%	石岡地域外への流出が88.5%
<p>受診先医療機関所在地 （入院）</p>  <p>100.0%</p> <p>■ 石岡地域外</p>	<p>受診先医療機関所在地 （外来）</p>  <p>88.5%</p> <p>11.5%</p> <p>■ 石岡地域 ■ 石岡地域外</p>

(2) 受診先医療機関

ア 入院

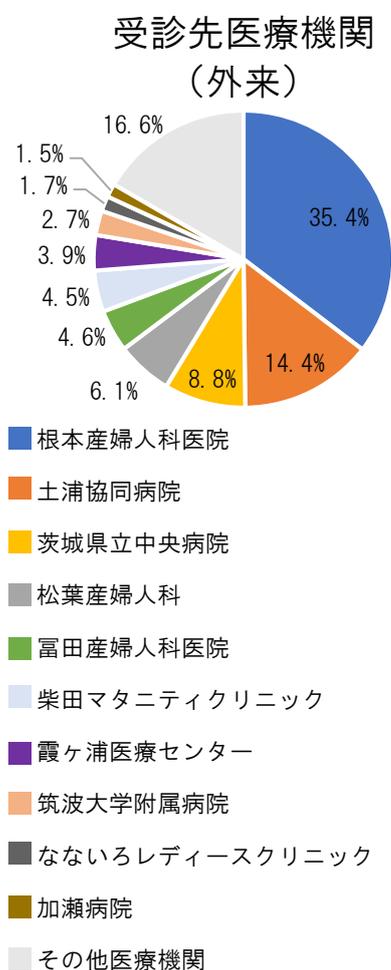
妊産婦の入院先医療機関をみると、笠間市に所在する根本産婦人科医院が30.2%と最も多く、次いで土浦協同病院が22.6%、土浦市に所在する霞ヶ浦医療センターが10.1%となっています。



保険医療機関名	市町村名	レセプト 件数	割合
根本産婦人科医院	笠間市	87	30.2%
土浦協同病院	土浦市	65	22.6%
霞ヶ浦医療センター	土浦市	29	10.1%
茨城県立中央病院	笠間市	25	8.7%
なないろレディース クリニック	つくば市	15	5.2%
筑波大学附属病院	つくば市	11	3.8%
柴田マタニティ クリニック	土浦市	8	2.8%
植野産婦人科医院	水戸市	5	1.7%
水戸済生会総合病院	水戸市	5	1.7%
水戸赤十字病院	水戸市	5	1.7%
その他医療機関		33	11.5%
総計		288	100.0%

イ 外来

妊産婦の外来受診先医療機関をみると、入院同様、根本産婦人科医院が 35.4%と最も多く、次いで土浦協同病院が 14.4%となっています。石岡地域でみると、松葉産婦人科が 6.1%、富田産婦人科医院が 4.6%となっています。



保険医療機関名	市町村名	レセプト 件数	割合
根本産婦人科医院	笠間市	386	35.4%
土浦協同病院	土浦市	157	14.4%
茨城県立中央病院	笠間市	96	8.8%
松葉産婦人科	石岡市	66	6.1%
富田産婦人科医院	石岡市	50	4.6%
柴田マタニティクリニック	土浦市	49	4.5%
霞ヶ浦医療センター	土浦市	42	3.9%
筑波大学附属病院	つくば市	29	2.7%
なないろレディースクリニック	つくば市	18	1.7%
加瀬病院	ひたちなか市	16	1.5%
その他医療機関		181	16.6%
総計		1,090	100.0%

(3) 請求点数別入院先医療機関（参考）

保険医療機関名	市町村名	1,000点未満	1,000点台	2,000点台	3,000点台	4,000点台	5,000点台	6,000点台	7,000点台	8,000点台	9,000点台	10,000点台	不明	合計
根本産婦人科医院	笠間市		45.5%	48.1%	52.0%	35.7%	50.0%	27.8%	20.0%	11.1%	25.0%	15.4%	18.8%	30.2%
土浦協同病院	土浦市	29.3%	3.0%	16.7%	8.0%	35.7%	6.3%	22.2%	30.0%	66.7%	37.5%	38.5%	25.0%	22.6%
霞ヶ浦医療センター	土浦市	12.1%	9.1%	16.7%	12.0%	3.6%		11.1%		11.1%		7.7%	12.5%	10.1%
茨城県立中央病院	笠間市	15.5%	3.0%	7.4%	12.0%	7.1%		11.1%	20.0%		12.5%	7.7%		8.7%
なないろレディースクリニック	つくば市	15.5%	3.0%	1.9%			12.5%	11.1%						5.2%
筑波大学附属病院	つくば市	1.7%			4.0%				20.0%	11.1%	12.5%		31.3%	3.8%
柴田マタニティクリニック	土浦市	6.9%	6.1%		4.0%		6.3%							2.8%
植野産婦人科医院	水戸市	3.4%	6.1%				6.3%							1.7%
水戸済生会総合病院	水戸市			1.9%	4.0%	3.6%		5.6%				7.7%		1.7%
水戸赤十字病院	水戸市					3.6%		11.1%				15.4%		1.7%
石渡産婦人科病院	水戸市	1.7%	6.1%	3.7%										1.7%
まつばらウィメンズクリニック	稲敷郡阿見町	3.4%	6.1%											1.4%
葉山産婦人科	鹿嶋市		6.1%										6.3%	1.0%
つばさクリニック	行方市	1.7%				3.6%								0.7%
ひたちなか母と子の病院	ひたちなか市	1.7%					6.3%							0.7%
小山記念病院	鹿嶋市			1.9%		3.6%								0.7%
筑波学園病院	つくば市	1.7%											6.3%	0.7%
遠藤産婦人科医院	筑西市		3.0%				6.3%							0.7%
つくばセントラル病院	牛久市	3.4%												0.7%
東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町									12.5%	7.7%			0.7%
鈴木産婦人科医院	水戸市				4.0%		6.3%							0.7%
お産の森いのちのもり産科婦人科篠崎医院	守谷市	1.7%												0.3%
江幡産婦人科・内科病院	水戸市			1.9%										0.3%
小松崎産婦人科	水戸市		3.0%											0.3%
加瀬病院	ひたちなか市					3.6%								0.3%
総合守谷第一病院	守谷市								10.0%					0.3%
総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 請求点数別外来受診先医療機関（参考）

保険医療機関名	市町村名	100点台	200点台	300点台	400点台	500点台	600点台	700点台	800点台	900点台	1,000点台	2,000点台	3,000点台	4,000点以上	不明	合計
根本産婦人科医院	笠間市	6.7%	61.2%	40.0%	46.5%	27.7%	18.8%	9.1%	16.7%	9.5%	7.3%				10.0%	35.4%
土浦協同病院	土浦市	26.7%	4.7%	6.3%	6.3%	6.2%	18.8%	15.2%	16.7%	28.6%	38.5%	84.4%	33.3%		20.0%	14.4%
茨城県立中央病院	笠間市		2.8%	6.3%	5.6%	16.9%	8.8%	9.1%	10.0%	14.3%	21.9%	3.1%			28.6%	8.8%
松葉産婦人科	石岡市	16.7%	4.3%	6.3%	10.6%	4.6%	8.8%	15.2%	6.7%	4.8%	1.0%				4.3%	6.1%
富田産婦人科医院	石岡市	3.3%	9.3%	3.1%	0.7%	1.5%	3.8%	3.0%	6.7%	14.3%	1.0%				2.9%	4.6%
柴田マタニティクリニック	土浦市		3.4%	7.5%	2.8%	7.7%	5.0%	9.1%		19.0%	3.1%				4.3%	4.5%
霞ヶ浦医療センター	土浦市		2.2%	4.4%	4.9%	12.3%	7.5%			4.8%	3.1%		16.7%		2.9%	3.9%
筑波大学附属病院	つくば市	10.0%		1.9%		7.7%	1.3%	12.1%	10.0%		8.3%	3.1%		33.3%		2.7%
なないろレディースクリニック	つくば市	6.7%		3.1%	2.1%		3.8%	6.1%	3.3%	4.8%		3.1%				1.7%
加瀬病院	ひたちなか市		2.8%	1.3%	1.4%		1.3%								2.9%	1.5%
江幡産婦人科・内科病院	水戸市		2.2%	0.6%	2.1%	1.5%		3.0%								1.2%
植野産婦人科医院	水戸市		0.9%	1.9%	4.9%											1.2%
水戸済生会総合病院	水戸市		0.3%	1.3%	0.7%	3.1%	3.8%		3.3%		2.1%				1.4%	1.2%
石渡産婦人科病院	水戸市	3.3%	1.2%	1.3%	1.4%		1.3%		3.3%						1.4%	1.1%
みなみ赤塚クリニック	水戸市					1.5%	6.3%				1.0%				5.7%	1.0%
小松崎産婦人科	水戸市		0.9%	2.5%	2.1%											0.9%
遠藤産婦人科医院	筑西市			0.6%	0.7%	1.5%			6.7%		1.0%				2.9%	0.7%
友部セントラルクリニック	笠間市						1.3%		3.3%		2.1%	3.1%			4.3%	0.7%
ひたちなか母と子の病院	ひたちなか市	3.3%	0.6%	1.3%	0.7%				3.3%							0.6%
総合守谷第一病院	守谷市		0.3%	0.6%				9.1%			1.0%				1.4%	0.6%
葉山産婦人科	鹿嶋市		0.3%	0.6%			1.3%								5.7%	0.6%
鈴木産婦人科医院	水戸市		0.6%	0.6%		3.1%					2.1%					0.6%
まつばらウィメンズクリニック	稲敷郡阿見町		0.3%		1.4%	3.1%					1.0%					0.6%
小山記念病院	鹿嶋市			2.5%	0.7%			3.0%								0.6%
東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町										3.1%	3.1%	16.7%			0.5%
豊後荘病院	石岡市												33.3%	66.7%		0.4%
その他医療機関		23.3%	1.6%	6.3%	4.2%	1.5%	8.8%	6.1%	10.0%		2.1%				1.4%	4.0%
総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4 令和元（2019）年、令和2（2020）年国民健康保険レセプトデータ比較分析

本分析は令和元（2019）年、令和2（2020）年の石岡市の国民健康保険レセプトデータを比較しました。

（1）レセプト件数比較

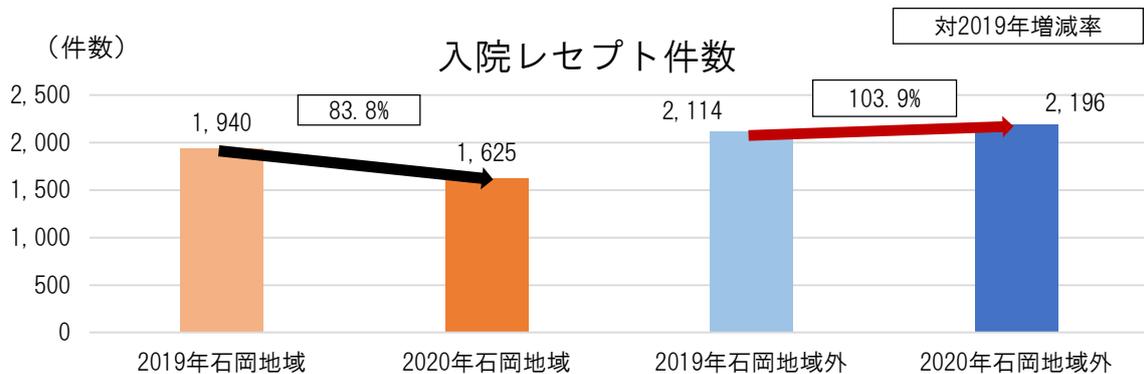
令和元（2019）年と令和2（2020）年のレセプト件数を比較すると、令和元（2019）年対比で入院は94.3%、外来は89.8%と、ともに減少しています。

	2019年	2020年	対2019年増減率
入院	4,054	3,821	94.3%
外来	148,012	132,850	89.8%

（2）石岡地域及び石岡地域外の受療動向比較

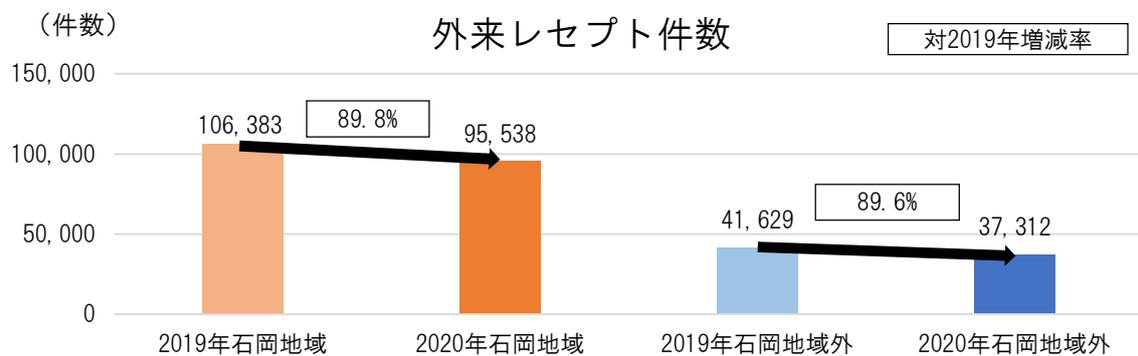
ア 入院

入院受療動向の比較をみると、令和元（2019）年対比で石岡地域では83.8%に減少、石岡地域外では103.9%に増加となっています。



イ 外来

外来受療動向の比較をみると、令和元（2019）年対比で石岡地域では89.8%に減少、石岡地域外では89.6%に減少となっています。

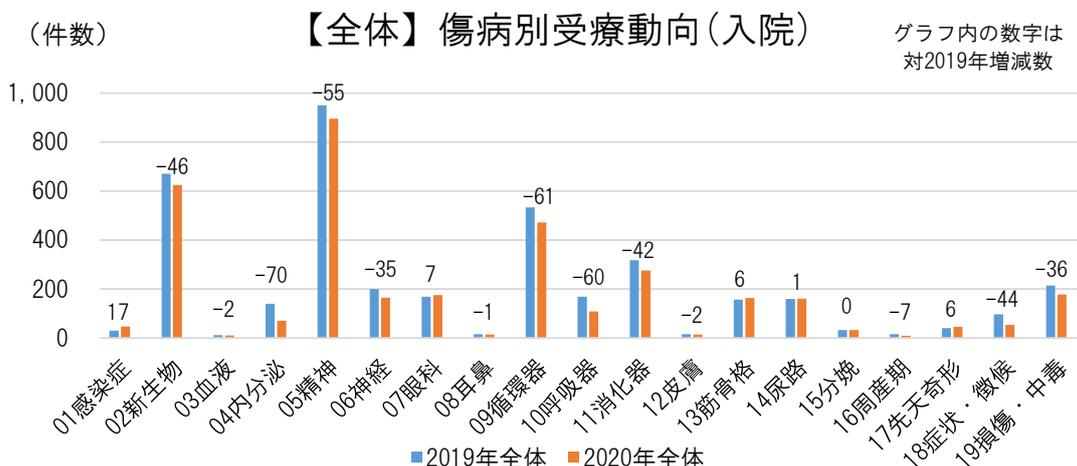


(3) 傷病別受療動向比較

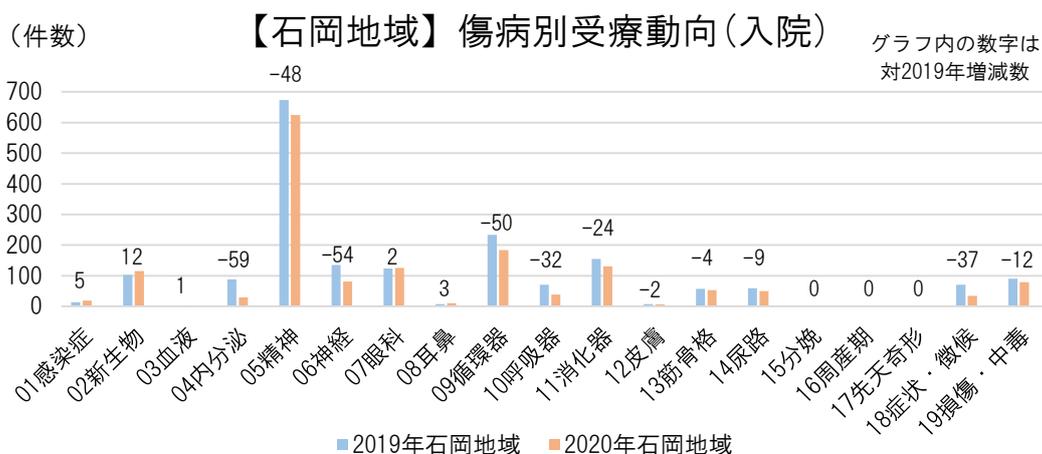
ア 入院

入院の全体、石岡地域、石岡地域外の傷病別の入院受療動向をみると、令和元（2019）年対比で、内分泌、循環器、呼吸器が大きく減少しています。

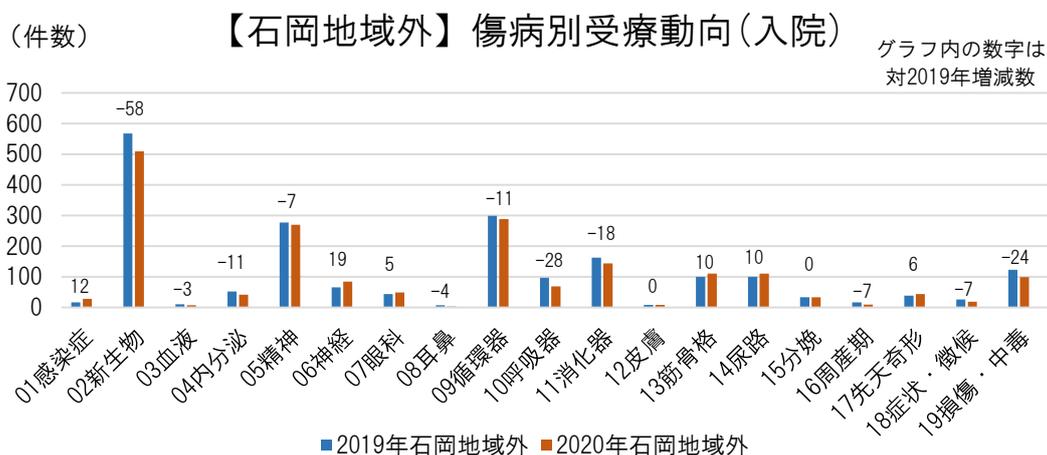
(ア) 全体（石岡地域、石岡地域外）



(イ) 石岡地域



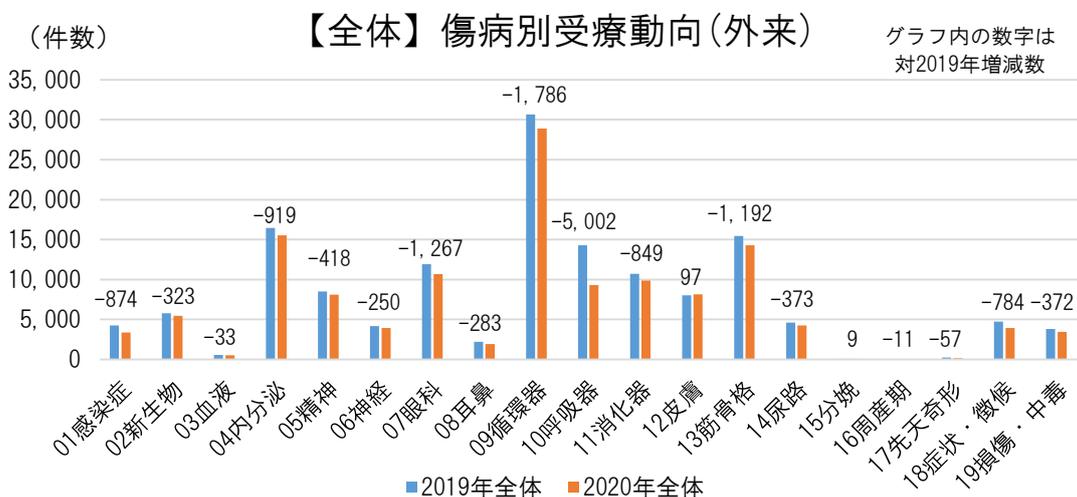
(ウ) 石岡地域外



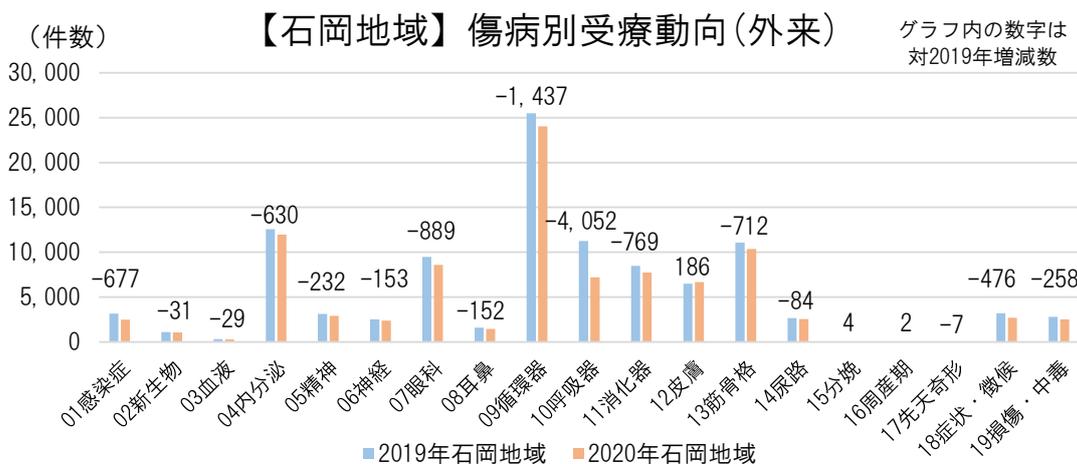
イ 外来

外来の全体、石岡地域、石岡地域外の傷病別の外来受療動向をみると、令和元（2019）年対比で、呼吸器が大きく減少しています。

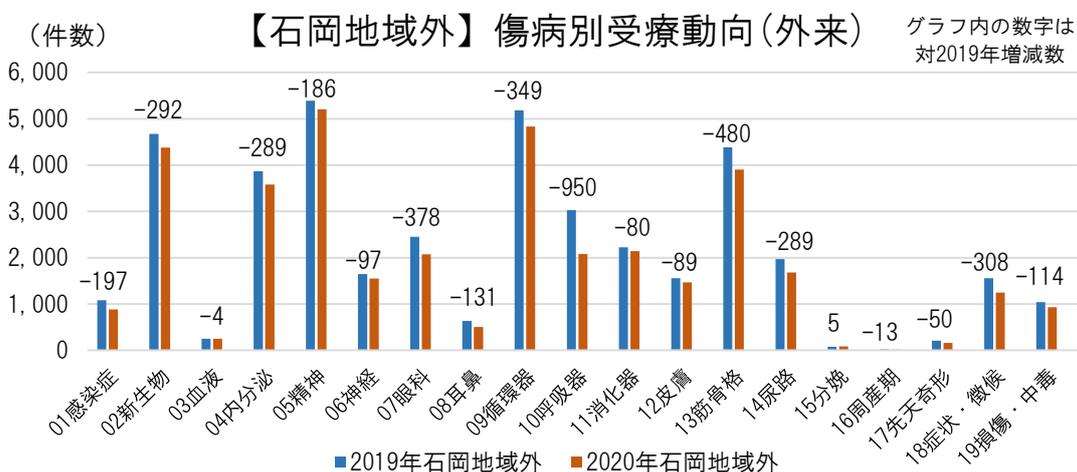
（ア） 全体（石岡地域、石岡地域外）



（イ） 石岡地域



（ウ） 石岡地域外

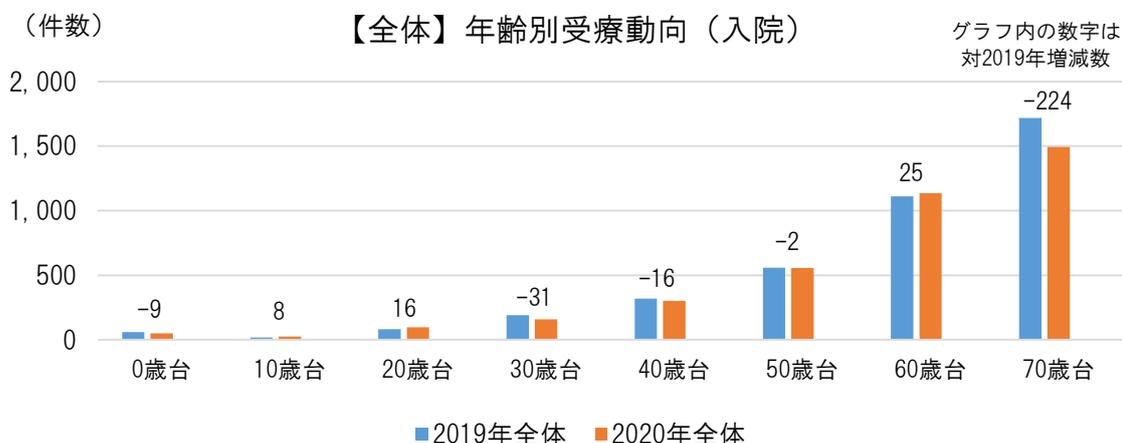


(4) 年齢別受療動向比較

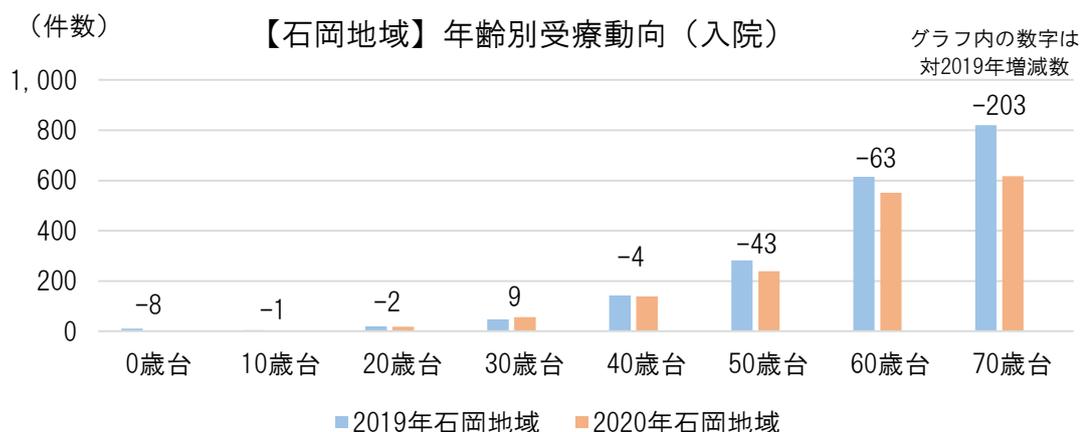
ア 入院

入院の年齢別受療動向をみると、令和元（2019）年対比で、70歳台が224人減少しており、石岡地域で特に大きくなっています。

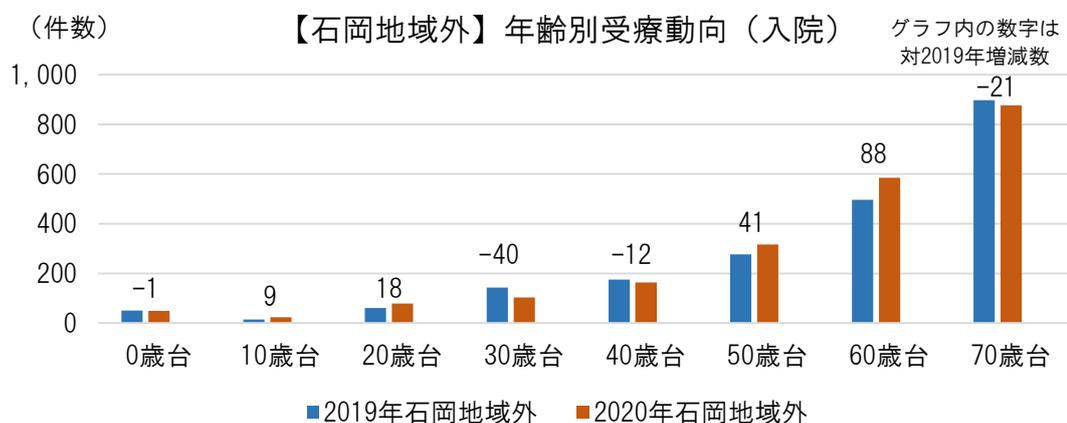
(ア) 全体（石岡地域、石岡地域外）



(イ) 石岡地域



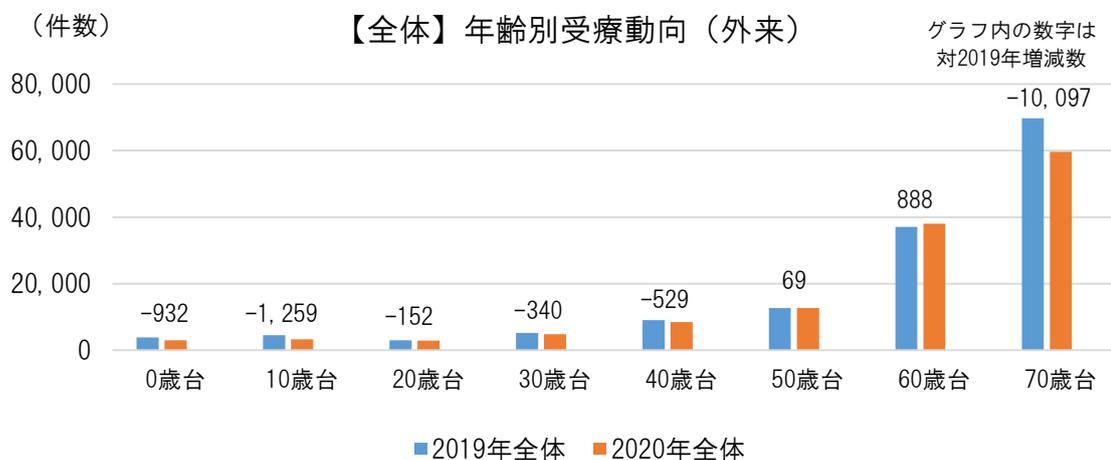
(ウ) 石岡地域外



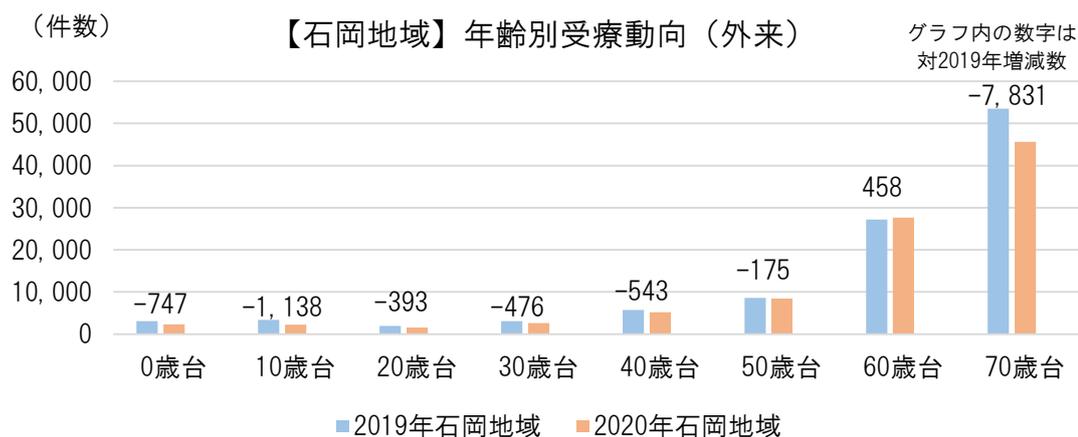
イ 外来

外来の年齢別受療動向をみると、令和元（2019）年対比で、70歳台が10,097人減少しており、入院と同様に70歳台の患者数の減少が石岡地域で特に大きくなっています。

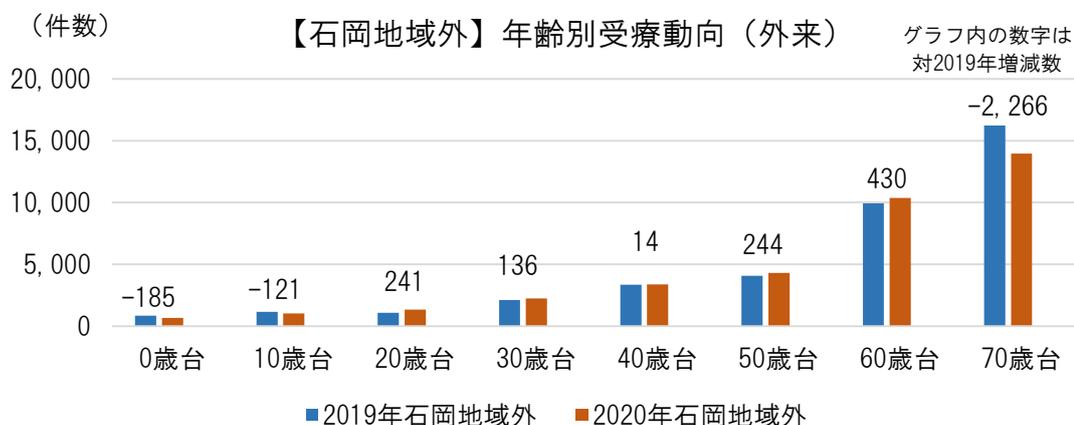
（ア） 全体（石岡地域、石岡地域外）



（イ） 石岡地域



（ウ） 石岡地域外

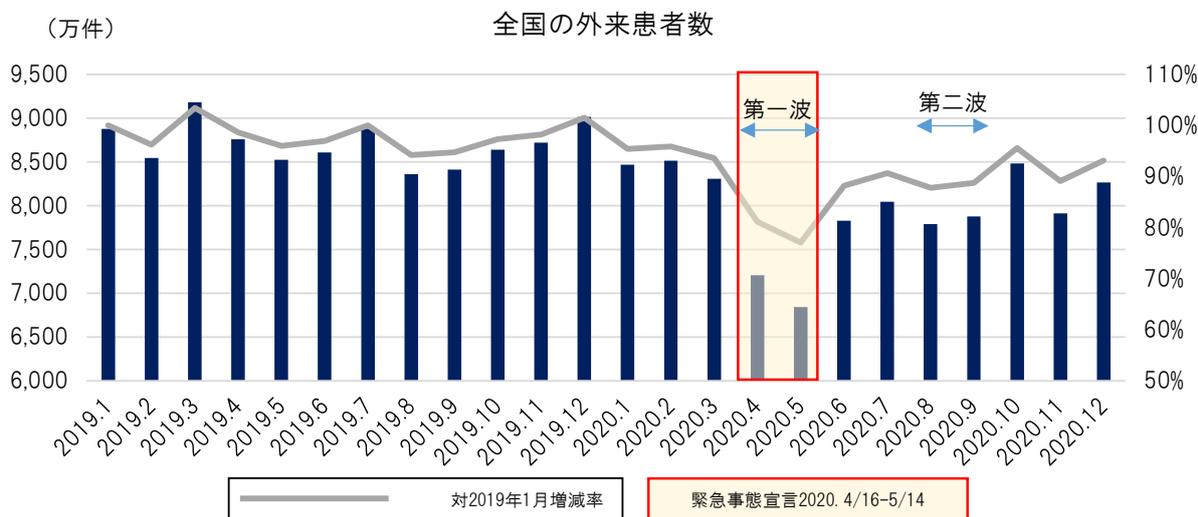


(5) 新型コロナウイルス感染拡大の影響分析（月別の患者数の推移）

ア 外来の受診動向

(ア) 全国の外来受診動向

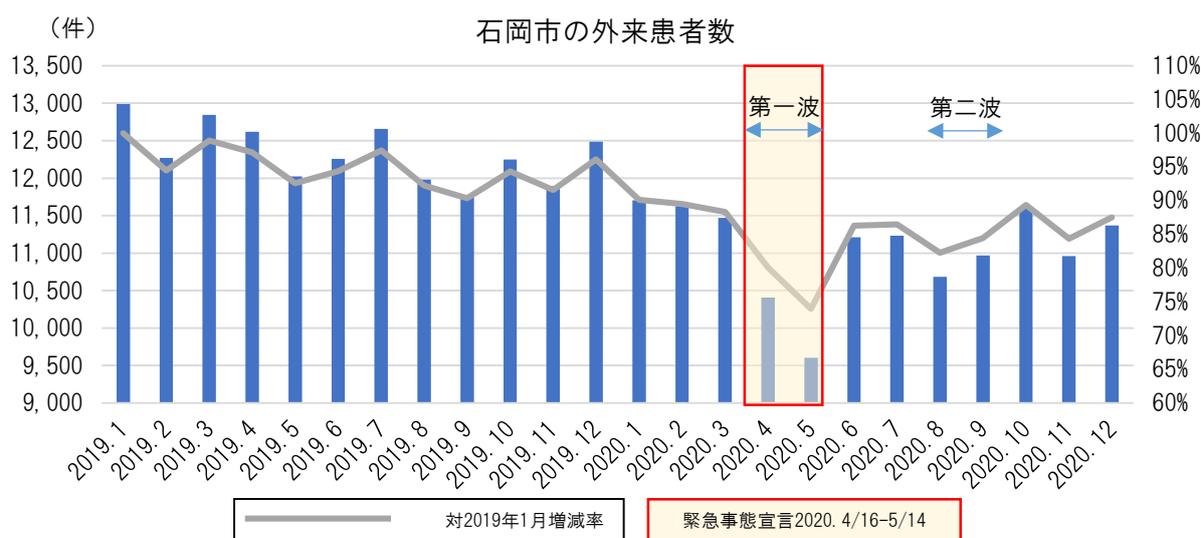
令和元（2019）年、令和2（2020）年の全国の外来患者数をみると、新型コロナウイルス感染拡大の第一波（緊急事態宣言 2020.4/16-5/14）における受診控えが顕著に表れています。緊急事態宣言解除後に患者数は回復するものの、第二波の流行期において再び受診控えの傾向がみられます。



出典：厚生労働省「最近の医科医療費（電算処理分）の動向（月次版）」

(イ) 石岡市の外来受診動向

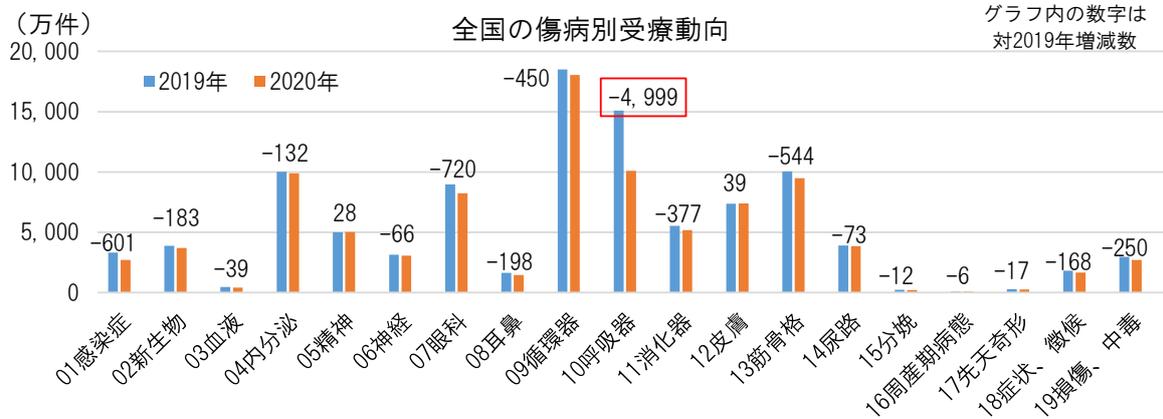
令和元（2019）年、令和2（2020）年の石岡市の外来患者数をみると、全国の受診動向と同様に、第一波及び第二波の流行期における受診控えが顕著に表れています。



イ 傷病別外来患者数

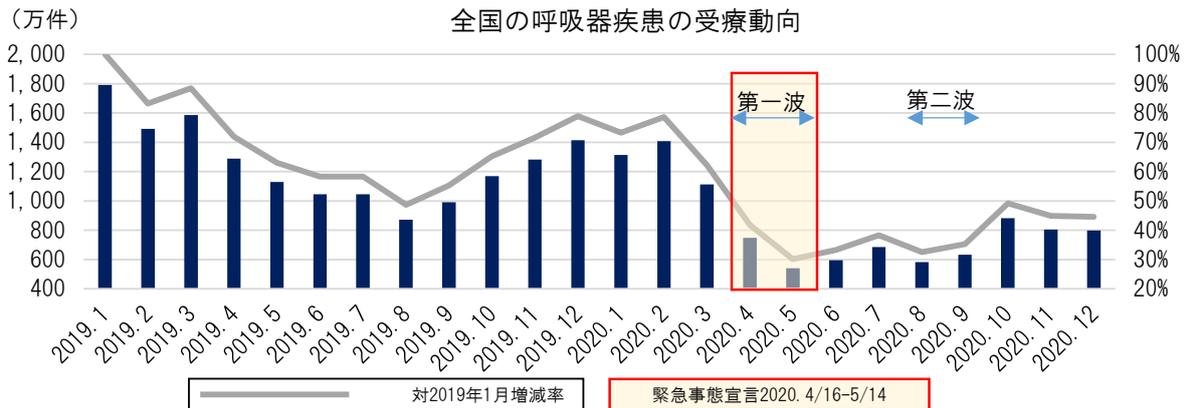
(ア) 全国の傷病別の受療動向

令和元（2019）年度と令和2（2020）年度の傷病別の受療動向をみると、他の傷病に比べ呼吸器疾患の患者数が大幅に減少しています。



(イ) 全国の呼吸器疾患の月別受療動向

減少が顕著にみられた全国の呼吸器疾患の外来患者数について、令和元（2019）年から令和2（2020）年までの推移をみると、新型コロナウイルス感染拡大の第一波以降の受診控えの傾向が顕著に表れています。



(ウ) 石岡市の呼吸器疾患の月別受療動向

同様に石岡市の呼吸器疾患の外来患者数の推移をみると、全国の傾向と同じく第一波以降の外来患者数が大幅に減少し、新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで回復していません。



第4章 救急医療の実績

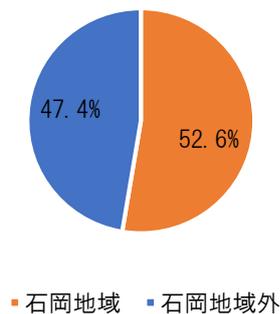
1 石岡市の救急データ分析

本分析は令和2（2020）年の石岡市の救急データをもとに行いました。

（1）搬送先医療機関所在地別割合

搬送先医療機関所在地別割合をみると、石岡地域内に所在する医療機関への搬送割合は52.6%と半数を占めています。

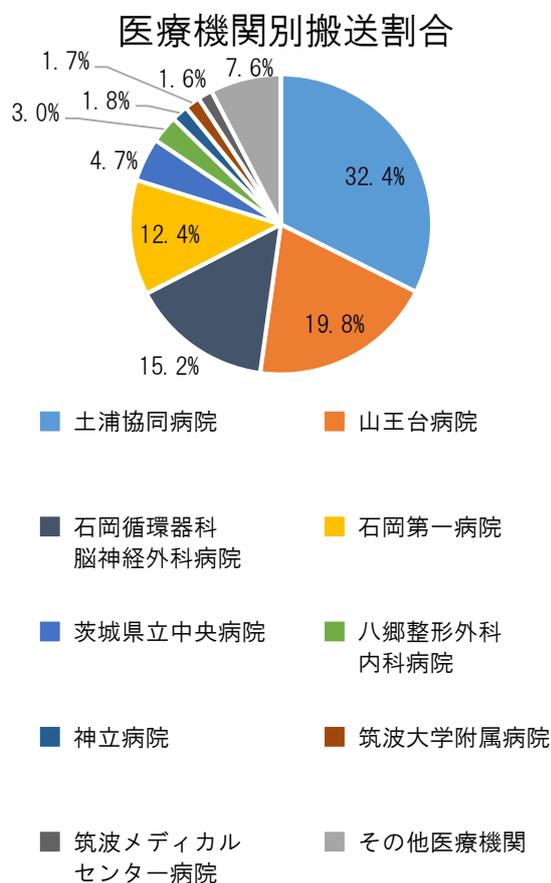
搬送先医療機関所在地別割合



	搬送人員数	割合
石岡地域	1,526	52.6%
石岡地域外	1,373	47.4%
総計	2,899	100.0%

（2）医療機関別搬送割合

医療機関別搬送割合をみると、土浦協同病院が32.4%と最も多くなっています。山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院、石岡第一病院は石岡地域の病院群輪番制を担っており、3病院で全体の約50%を占めています。

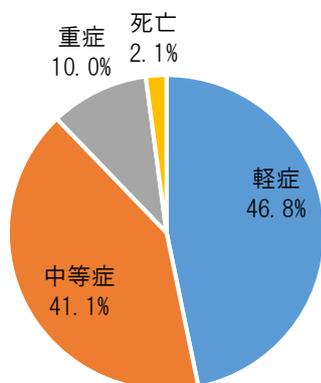


医療機関名	市町村名	搬送人員数	割合
土浦協同病院	土浦市	940	32.4%
山王台病院	石岡市	573	19.8%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	440	15.2%
石岡第一病院	石岡市	360	12.4%
茨城県立中央病院	笠間市	136	4.7%
八郷整形外科内科病院	石岡市	86	3.0%
神立病院	土浦市	51	1.8%
筑波大学附属病院	つくば市	48	1.7%
筑波メディカルセンター病院	つくば市	45	1.6%
その他医療機関		220	7.6%
総計		2,899	100.0%

(3) 傷病程度別割合

傷病程度別割合をみると、軽症が46.8%、中等症が41.1%、重症が10.0%となっています。

傷病程度別割合

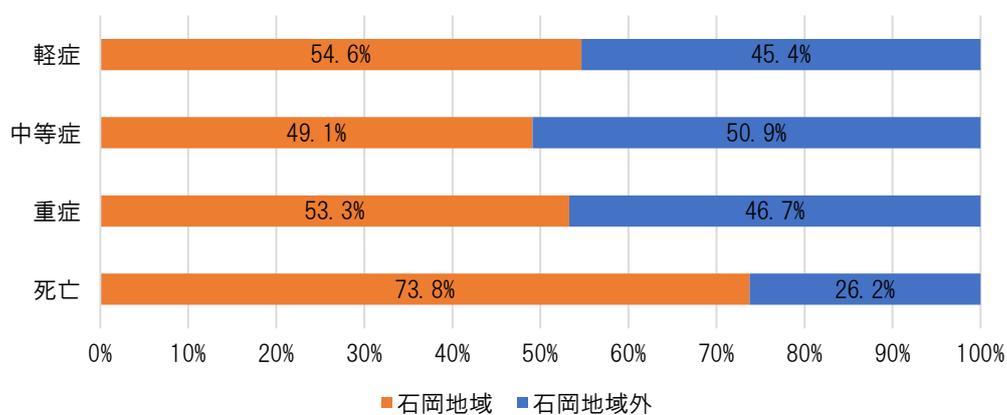


	搬送人員数	割合
軽症	1,356	46.8%
中等症	1,191	41.1%
重症	291	10.0%
死亡	61	2.1%
総計	2,899	100.0%

(4) 傷病程度別医療機関所在地別搬送割合

傷病程度別医療機関所在地別搬送割合をみると、どの傷病程度においても半数程度が石岡地域に搬送されています。中等症においては、石岡地域外への搬送割合が若干上回っています。

傷病程度別医療機関所在地別搬送割合

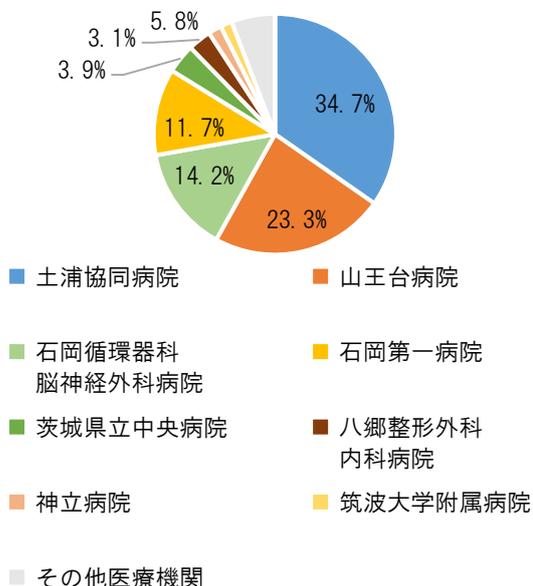


	石岡地域		石岡地域外	
軽症	741	54.6%	615	45.4%
中等症	585	49.1%	606	50.9%
重症	155	53.3%	136	46.7%
死亡	45	73.8%	16	26.2%
総計	1,526	52.6%	1,373	47.4%

(5) 傷病程度別医療機関別搬送割合 (参考)

ア 軽症

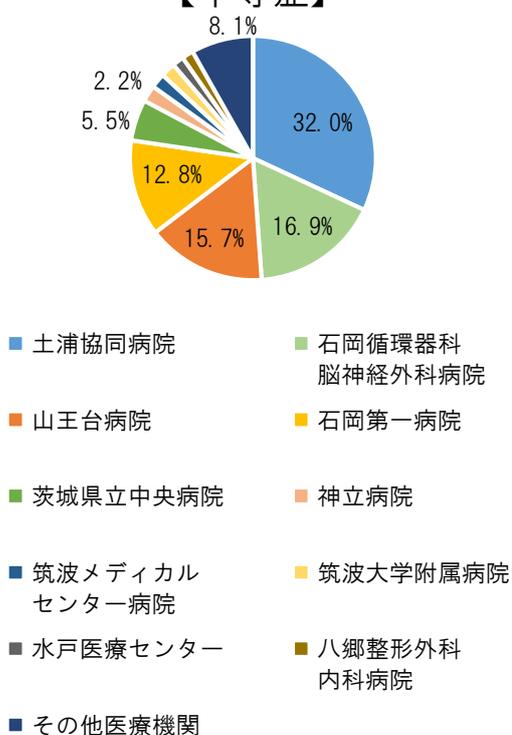
医療機関別搬送割合
【軽症】



医療機関名	市町村名	搬送人員	割合
土浦協同病院	土浦市	471	34.7%
山王台病院	石岡市	316	23.3%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	192	14.2%
石岡第一病院	石岡市	158	11.7%
茨城県立中央病院	笠間市	53	3.9%
八郷整形外科内科病院	石岡市	42	3.1%
神立病院	土浦市	24	1.8%
筑波大学附属病院	つくば市	21	1.5%
その他医療機関		79	5.8%
総計		1,356	100.0%

イ 中等症

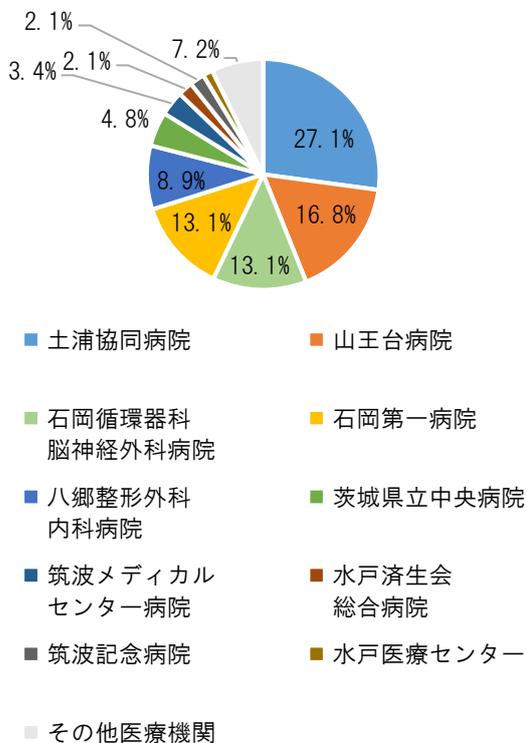
医療機関別搬送割合
【中等症】



医療機関名	市町村名	搬送人員	割合
土浦協同病院	土浦市	381	32.0%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	201	16.9%
山王台病院	石岡市	187	15.7%
石岡第一病院	石岡市	152	12.8%
茨城県立中央病院	笠間市	65	5.5%
神立病院	土浦市	26	2.2%
筑波メディカルセンター病院	つくば市	23	1.9%
筑波大学附属病院	つくば市	23	1.9%
水戸医療センター	東茨城郡茨城町	18	1.5%
八郷整形外科内科病院	石岡市	18	1.5%
その他医療機関		97	8.1%
総計		1,191	100.0%

ウ 重症

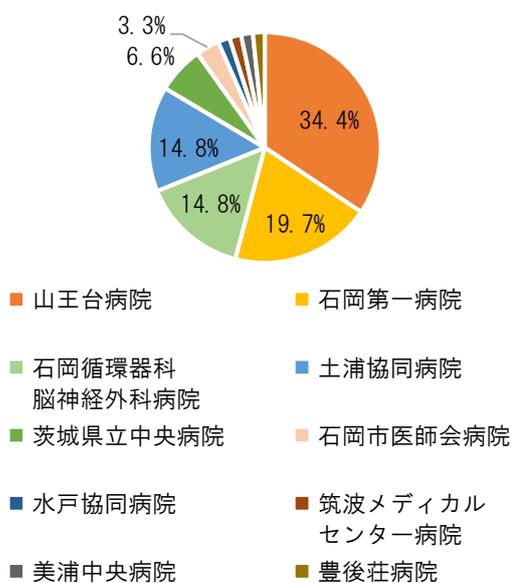
医療機関別搬送割合
【重症】



医療機関名	市町村名	搬送人員	割合
土浦協同病院	土浦市	79	27.1%
山王台病院	石岡市	49	16.8%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	38	13.1%
石岡第一病院	石岡市	38	13.1%
八郷整形外科内科病院	石岡市	26	8.9%
茨城県立中央病院	笠間市	14	4.8%
筑波メディカルセンター病院	つくば市	10	3.4%
水戸済生会総合病院	水戸市	6	2.1%
筑波記念病院	つくば市	6	2.1%
水戸医療センター	東茨城郡茨城町	4	1.4%
その他医療機関		21	7.2%
総計		291	100.0%

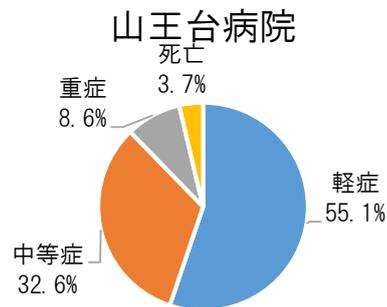
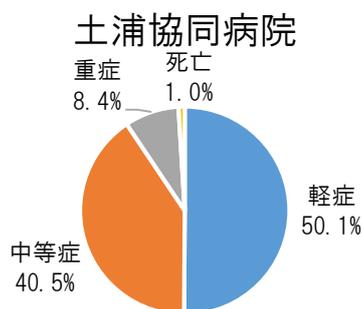
エ 死亡

医療機関別搬送割合
【死亡】



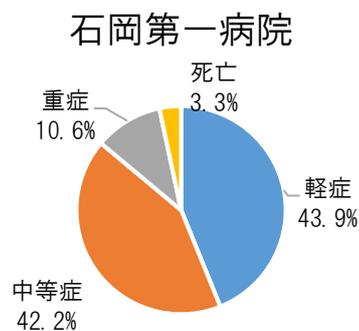
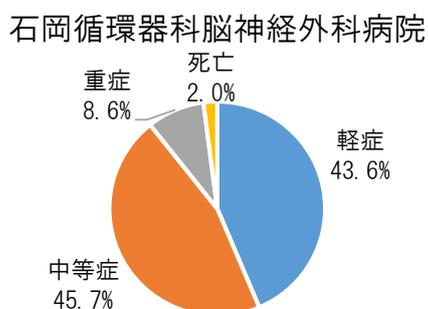
医療機関名	市町村名	搬送人員	割合
山王台病院	石岡市	21	34.4%
石岡第一病院	石岡市	12	19.7%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	9	14.8%
土浦協同病院	土浦市	9	14.8%
茨城県立中央病院	笠間市	4	6.6%
石岡市医師会病院	石岡市	2	3.3%
水戸協同病院	水戸市	1	1.6%
筑波メディカルセンター病院	つくば市	1	1.6%
美浦中央病院	稲敷郡美浦村	1	1.6%
豊後荘病院	石岡市	1	1.6%
総計		61	100.0%

(6) 搬送者数上位医療機関の傷病程度別割合 (参考)



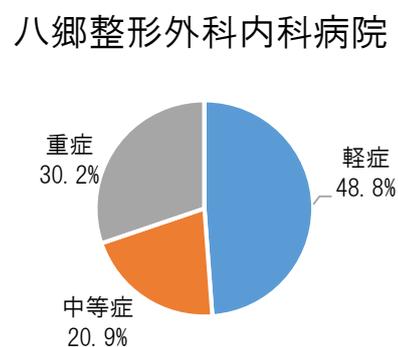
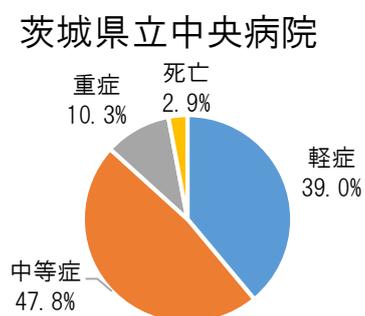
	軽症	中等症	重症	死亡	総計
土浦協同病院	471	381	79	9	940
割合	50.1%	40.5%	8.4%	1.0%	100.0%

	軽症	中等症	重症	死亡	総計
山王台病院	316	187	49	21	573
割合	55.1%	32.6%	8.6%	3.7%	100.0%



	軽症	中等症	重症	死亡	総計
石岡循環器科脳神経外科病院	192	201	38	9	440
割合	43.6%	45.7%	8.6%	2.0%	100.0%

	軽症	中等症	重症	死亡	総計
石岡第一病院	158	152	38	12	360
割合	43.9%	42.2%	10.6%	3.3%	100.0%



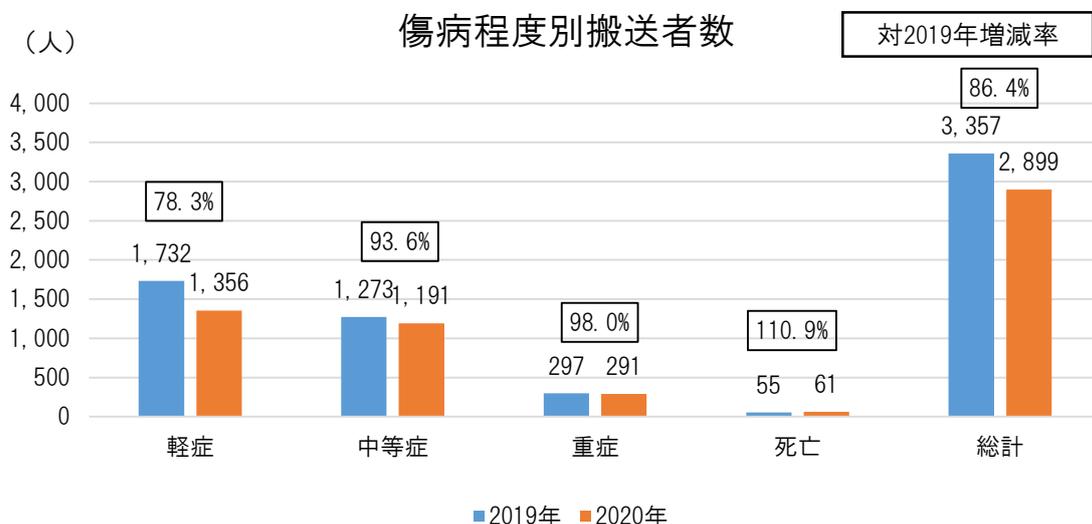
	軽症	中等症	重症	死亡	総計
茨城県立中央病院	53	65	14	4	136
割合	39.0%	47.8%	10.3%	2.9%	100.0%

	軽症	中等症	重症	死亡	総計
八郷整形外科内科病院	42	18	26	0	86
割合	48.8%	20.9%	30.2%	0.0%	100.0%

(7) 令和元（2019）年、令和2（2020）年の石岡市の救急搬送の比較

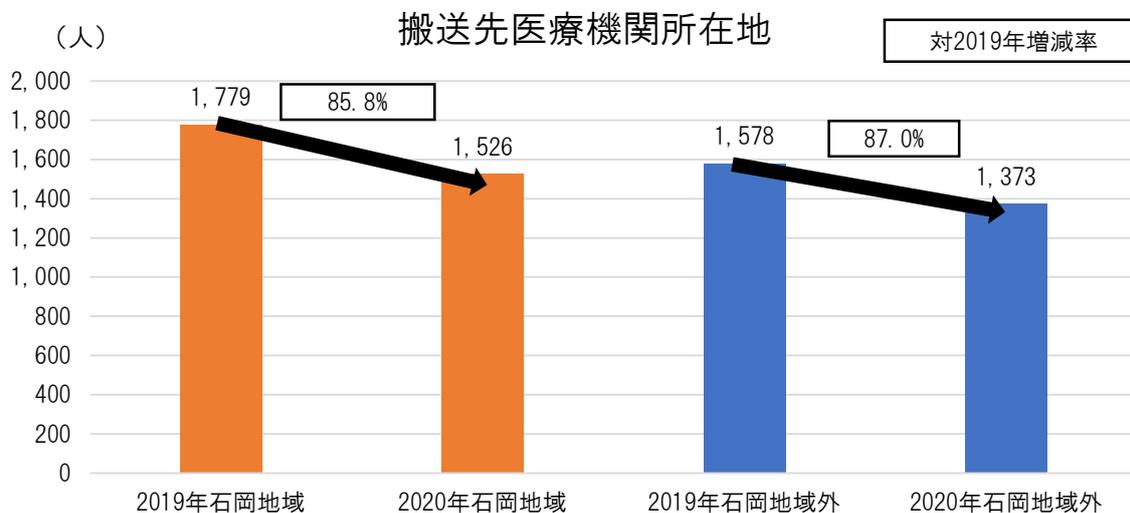
ア 傷病程度別搬送者数

令和元（2019）年と令和2（2020）年の傷病程度別搬送者数をみると、令和元（2019）年対比で86.4%に減少しており、中でも軽症が78.3%と最も減少しています。



イ 搬送先医療機関所在地

令和元（2019）年と令和2（2020）年の搬送先医療機関所在地をみると、石岡地域、石岡地域外ともに減少しており、令和2（2020）年は令和元（2019）年対比で85.8%となっています。



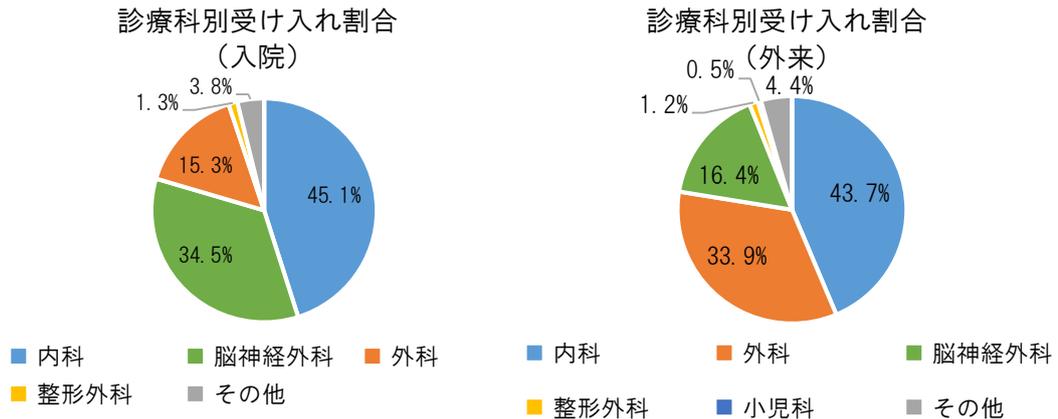
2 病院群輪番制の患者数の現状

3市において、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院、石岡第一病院が病院群輪番制を担っています。

本分析は令和2（2020）年の病院群輪番制データをもとに行いました。

（1）診療科別受け入れ割合

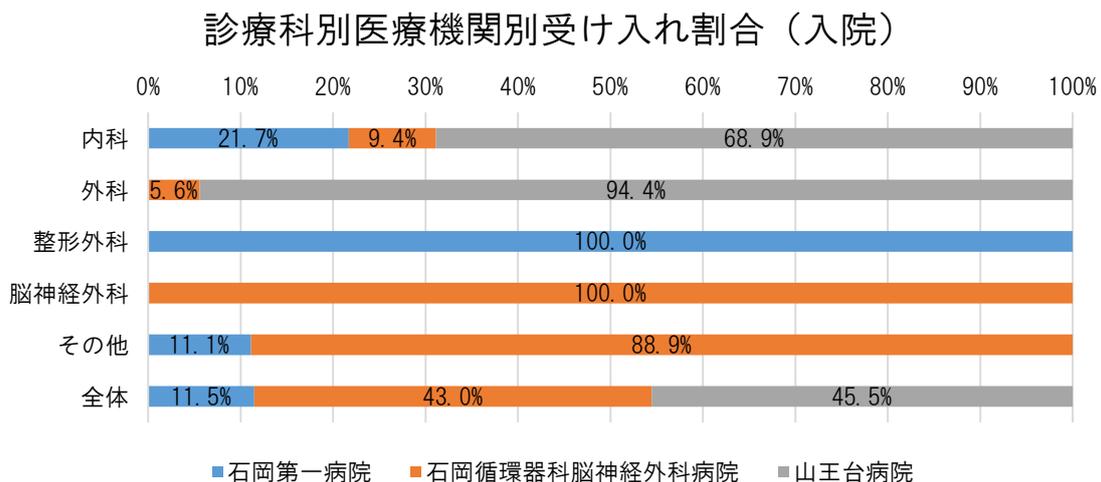
診療科別の受け入れ割合をみると、入院・外来ともに内科が40%以上を占めています。入院では次いで脳神経外科、外科の順に多く、外来では外科、脳神経外科の順に多くなっています。



（2）診療科別医療機関別受け入れ割合

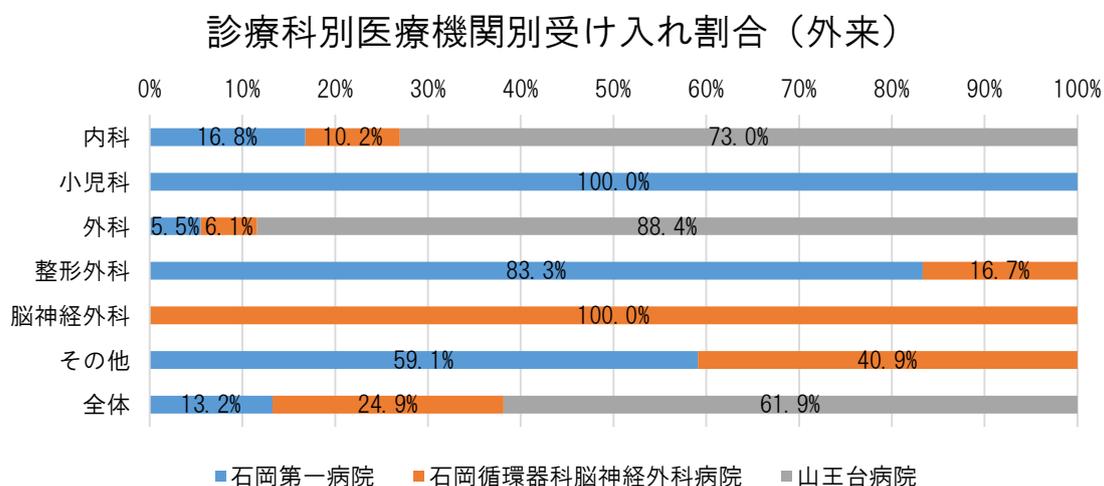
ア 入院

診療科別の入院先医療機関別の受け入れ割合をみると、整形外科においては石岡第一病院が、脳神経外科においては石岡循環器科脳神経外科病院が100%を受け入れています。また全体の受け入れ割合をみると、最も多いのは山王台病院の45.5%であり、次いで石岡循環器科脳神経外科病院が43.0%、石岡第一病院が11.5%となっています。



イ 外来

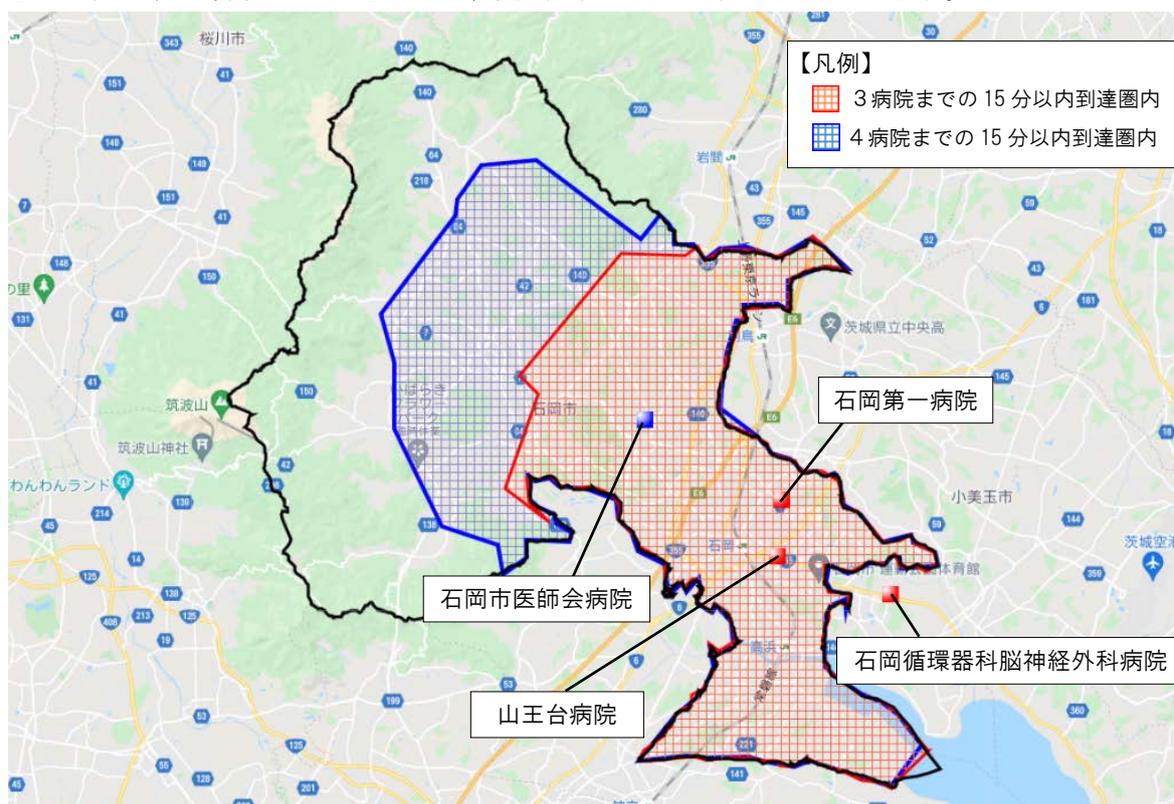
診療科別の外来受診先医療機関別の受け入れ割合をみると、脳神経外科においては石岡循環器科脳神経外科病院が100%を受け入れています。また全体の受け入れ割合をみると、最も多いのは山王台病院の61.9%であり、次いで石岡循環器科脳神経外科病院が24.9%、石岡第一病院が13.2%となっています。



(3) 病院群輪番制を担う病院への到達時間

現在、石岡地域で病院群輪番制を担っている石岡第一病院、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院及び令和3（2021）年3月をもって診療休止した石岡市医師会病院の所在地は下図のとおりです。

下図内の赤い枠で囲まれた範囲は、石岡第一病院、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院の3病院のいずれかまで自動車（時速40km）で、15分以内に到達できる範囲（石岡市内のみ）であり、青い枠で囲まれた範囲は石岡市医師会病院を含めた4病院のいずれかまで自動車（時速40km）で、15分以内に到達できる範囲（石岡市内のみ）を表しています。



15分以内到達圏内の人口割合

	15分以内到達圏内の人口	石岡市全域の人口	15分以内到達圏内の人口割合
3病院まで	58,318人	76,020人	76.7%
4病院まで	70,281人		92.5%

石岡市全域の人口のうち、病院群輪番制を担う3病院へ15分以内に到達できるエリアの人口の割合は76.7%であり、石岡市医師会病院を含む4病院でみた場合は92.5%です。このように石岡市医師会病院の診療休止に伴い、石岡市八郷地区（市西部）からの救急搬送に時間を要する状況となっています。

3 緊急診療の実績

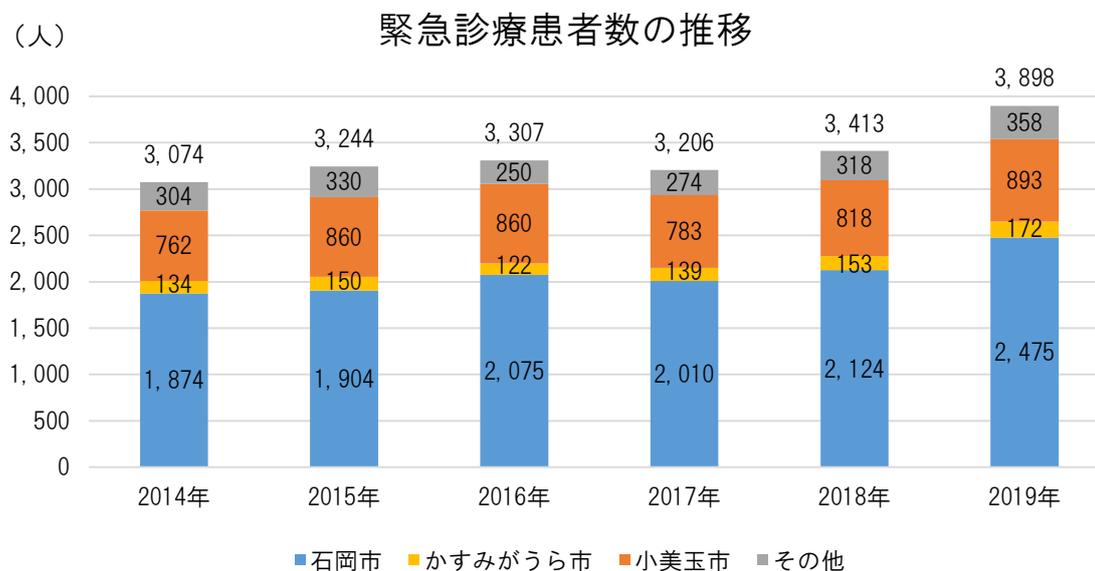
本分析は平成 26 (2014) 年から令和元 (2019) 年までの緊急診療データをもとに行いました。
なお、緊急診療患者数については、石岡市医師会病院に設けられていた緊急診療の受診者数のことを指します。

<緊急診療体制について>

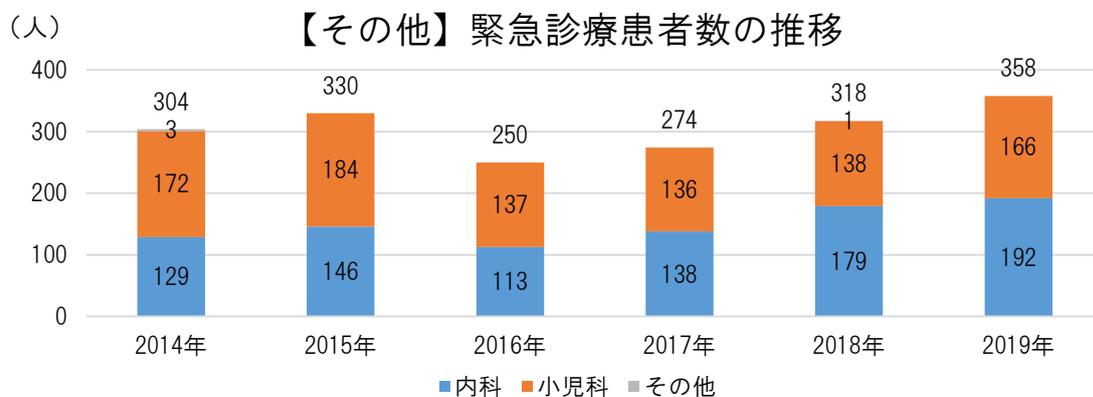
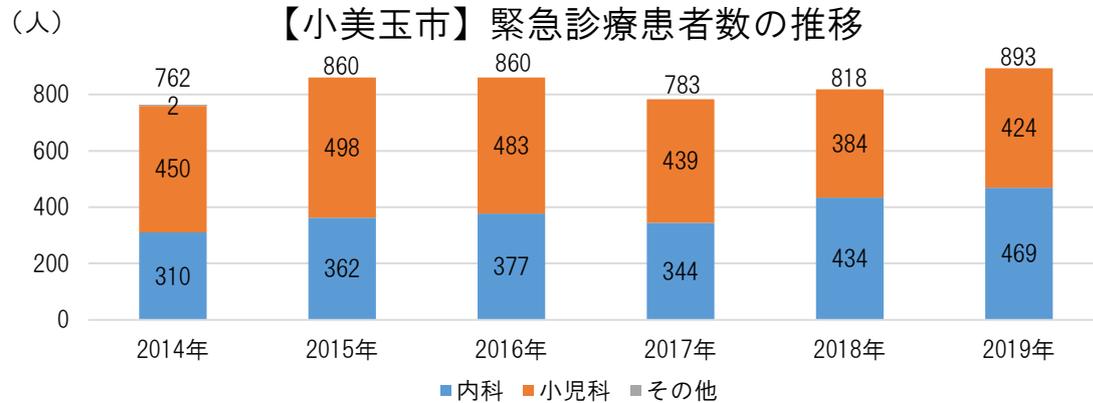
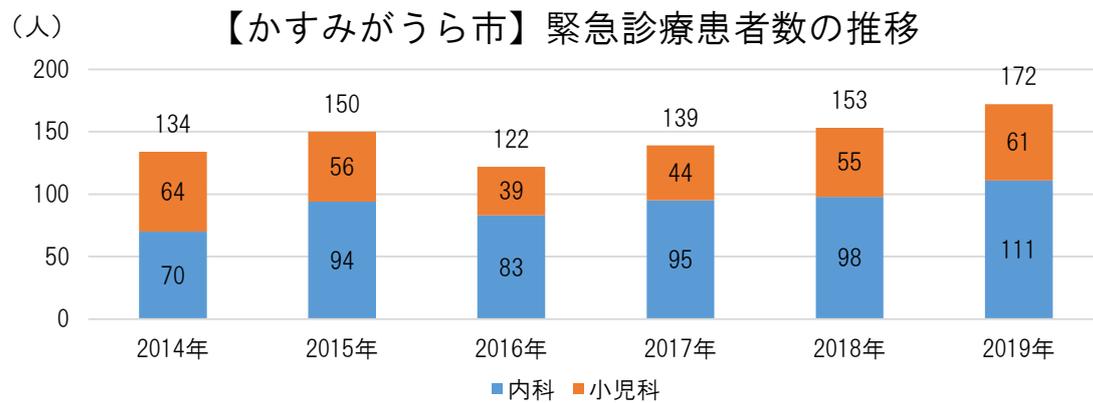
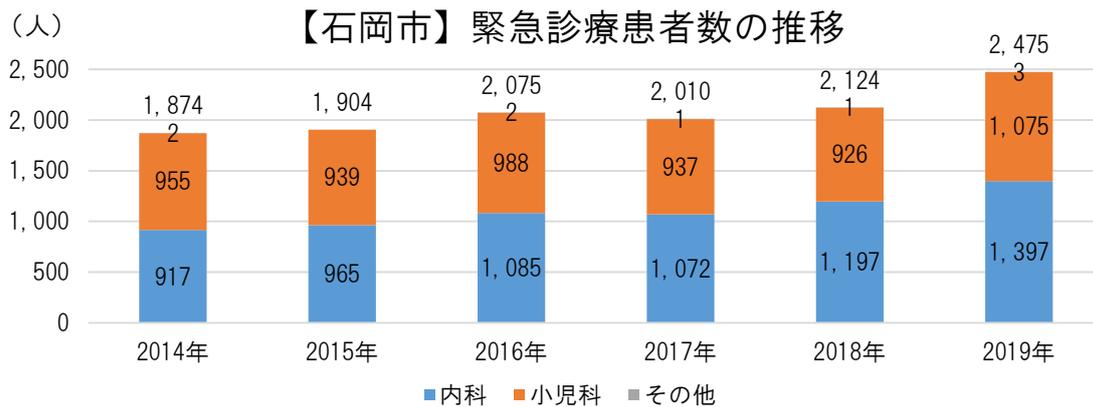
- ・内科の緊急診療については、石岡市医師会が業務委託を受け、石岡市医師会病院の中に緊急診療が設置され、地域の開業医が担っていたが、令和 2 (2020) 年 7 月以降休止している。
- ・小児科の緊急診療については、令和 3 (2021) 年 7 月より石岡第一病院にて診療が開始された。

(1) 緊急診療患者数の推移

緊急診療患者数について平成 26 (2014) 年から令和元 (2019) 年の推移をみると、年間 3,000 人以上の利用があり、増加傾向にありましたが、令和 2 (2020) 年 7 月に石岡市緊急診療が休止しました。



(2) 市別・診療科別緊急診療患者数の推移 (参考)

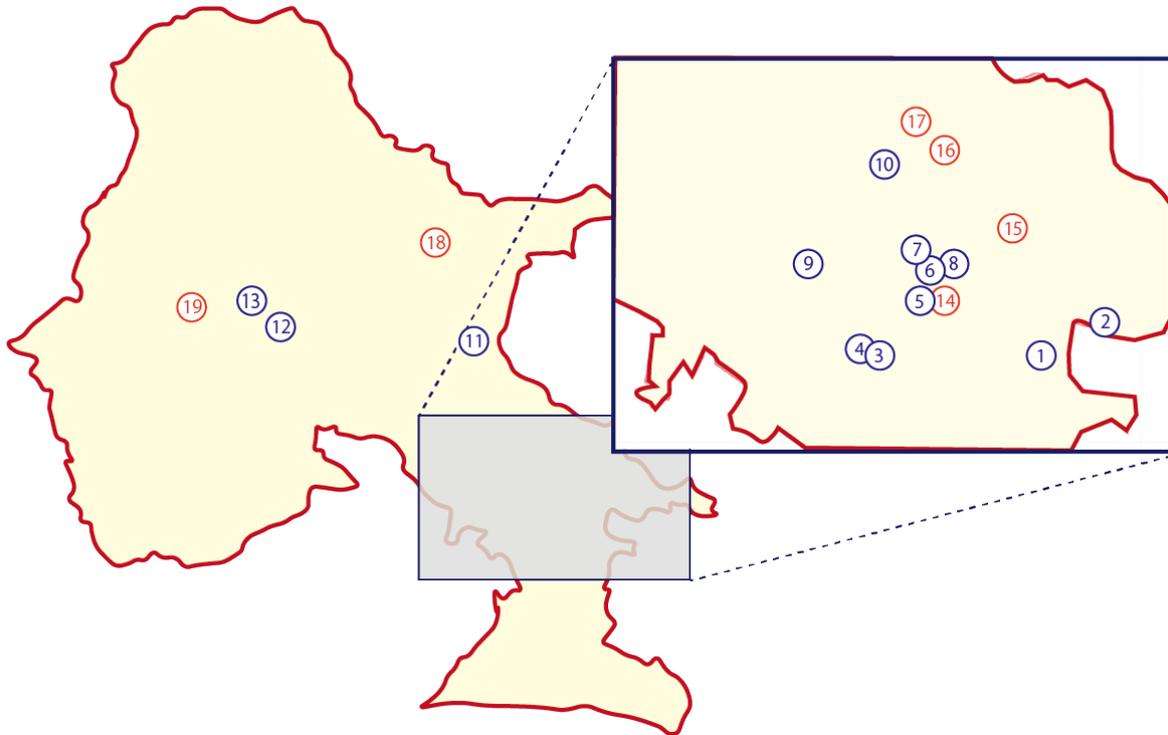


第5章 石岡市の介護需給環境

1 石岡市の介護提供体制

(1) 居宅サービス事業所

ア 訪問サービス



訪問介護

1	セントケア石岡
2	アメニティホームヘルプサービスステーション
3	介護ステーション かいじ
4	ダマリス メモリアル ケアサービス
5	訪問介護事業所 カーサ・フェリーチェ
6	ニチイケアセンター石岡
7	訪問介護ステーションドルフィン石岡
8	指定訪問介護サン・テレーズガーデン
9	石岡陽だまり館（夜間対応型）
10	ウエルシア介護サービス石岡
11	訪問介護事業所 「ハート24」石岡事業所
12	訪問介護いっしん石岡
13	社会福祉法人石岡市社会福祉協議会 指定訪問介護事業所

訪問看護・訪問リハビリテーション

14	医療法人幕内会 山王台病院 訪問看護事業所 さんのうだい
15	旭台病院 訪問看護ステーションあさひだい
16	訪問看護ステーションよつば
17	久保田病院指定訪問リハビリテーション事業所
18	訪問看護ステーションやさと
19	訪問リハビリテーションサングリーンやさと

イ 通所サービス



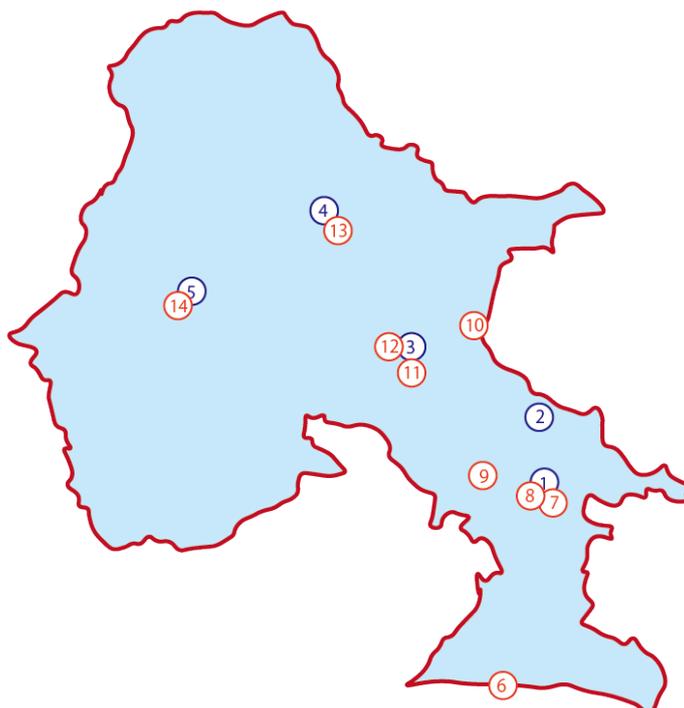
通所介護

1	デイサービス ローズ苑いしおか	15	デイサービスまごころの家 石岡総社
2	アメニティデイサービスセンター※休止中	16	デイサービス未来石岡
3	コープ菜の花 石岡旭台デイサービスセンター	17	デイサービスセンターなごやか石岡
4	リハスマイル石岡	18	いきいきファミリア石岡
5	デイサービスセンター なでしこ南台	19	デイサービス センチュリー石岡
6	ゆりの里デイサービスセンター	20	のぞみ デイサービスセンター
7	デイサービス ようよう	21	通所介護事業所 ハートピア
8	デイサービス ラ・フェリーチェ	22	石岡デイサービスセンター華翠会館
9	指定通所介護 サン・テレーズ ガーデン	23	デイサービスセンターやまざき
10	デイサービスセンタードルフィン石岡	24	デイサービスセンターれもん
11	デイサービスセンターかいじ	25	老人デイサービス事業談話館
12	デイサービスセンターいこいの郷 百百花	26	デイサービスここいち石岡
13	デイサービスセンター百百花	27	指定通所介護事業所 デイサービスやさと
14	通所介護事業所 石岡陽だまり館	28	デイサービスなごみの郷

通所リハビリテーション

29	医療法人幕内会 通所リハビリテーション あいあい
30	医療法人明風会 通所リハビリテーション 明風苑
31	医療法人美湖会 介護老人保健施設ウイケア
32	八郷病院通所リハビリセンター
33	介護老人保健施設ゆうゆう
34	医療法人新生会 介護老人保健施設八郷プロバンス
35	通所リハビリテーション サングリーンやさと

(2) 施設サービス事業所



介護老人保健施設

	定員
1 あいあい	100
2 ウイケア	100
3 ゆうゆう	100
4 八郷プロバンス	80
5 サングリーンやさと	80
合計	460

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	多床室・従来型個室	ユニット型個室
6 センチュリー石岡	114	0
7 ゆりの里	0	50
8 ようよう	0	50
9 石岡陽だまり館	0	50
10 明翠苑	50	20
11 のぞみ	50	0
12 れもん	0	50
13 談話館	0	50
14 やさと	50	0
合計	534	

2 石岡市の介護サービスの需要推計

(1) 推計の手法

下表の手順で、介護サービスの将来需要の推計を行いました。

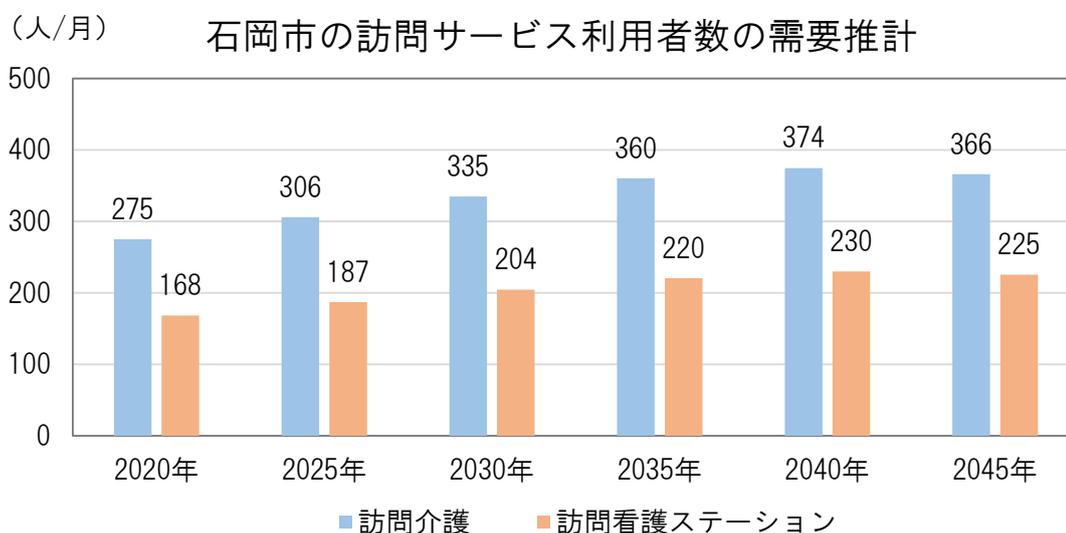
項目		推計方法
A	石岡市の年齢別・介護度別要介護認定率	石岡市の令和2(2020)年要介護認定者数(年齢別、介護度別)を石岡市の令和2(2020)年将来推計人口で除し、石岡市の年齢別・介護度別要介護認定率を算出する。
B	茨城県の介護サービス別利用者割合	茨城県の平成30(2018)年介護サービス別利用者数を、茨城県の平成30(2018)年要介護者認定者数で除し、要介護者に占める各サービスの利用者割合を算出する。
C	石岡市の将来推計要介護者数	石岡市の将来推計人口に石岡市の年齢別・介護度別要介護認定率【A】を乗じ、石岡市の将来推計要介護認定者数を算出する。
D	石岡市の将来推計介護サービス別利用者数の増減率	石岡市の将来推計要介護者数【C】に茨城県の介護サービス別利用者割合【B】を乗じ、石岡市の将来推計介護サービス別利用者数の増減率を算出する。
E	石岡市の将来推計介護サービス別利用者数	「石岡ふれあい長寿プラン」の令和2(2020)年実績見込みに、石岡市の将来推計介護サービス別利用者数の増減率【D】を乗じて、石岡市の将来推計介護サービス別利用者数を算出する。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」
 平成30年度介護保険事業状況報告（年報）茨城県の「要介護認定者数」
 平成30年度介護サービス施設・事業所調査 茨城県の「居宅サービスの種類別利用実人員数」
 石岡ふれあい長寿プラン 第8期「サービスの見込量」

(2) 居宅サービスの需要推計

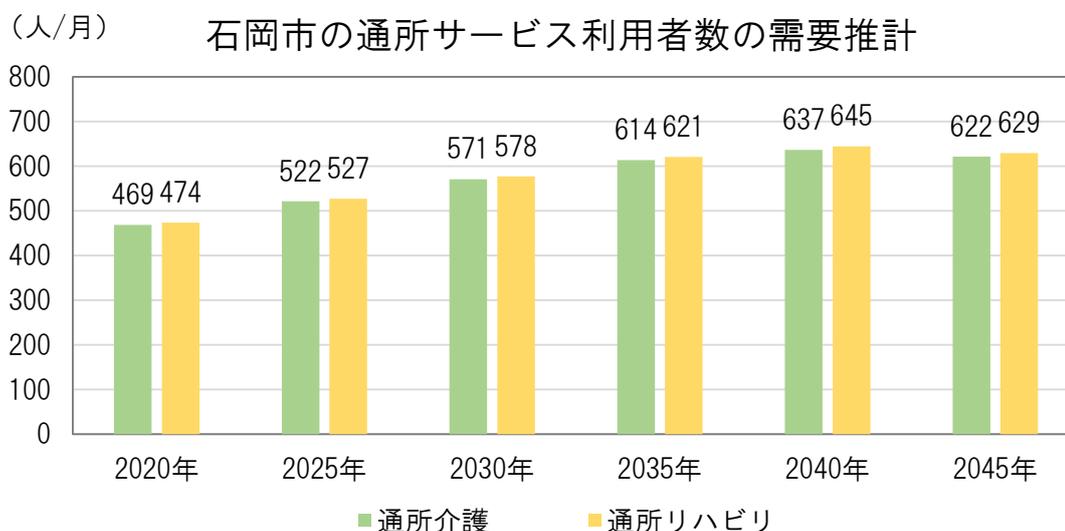
ア 訪問サービス

訪問介護、訪問看護ステーションの利用者数は令和22(2040)年まで増加を続け、令和27(2045)年には減少に転じると推計されます。



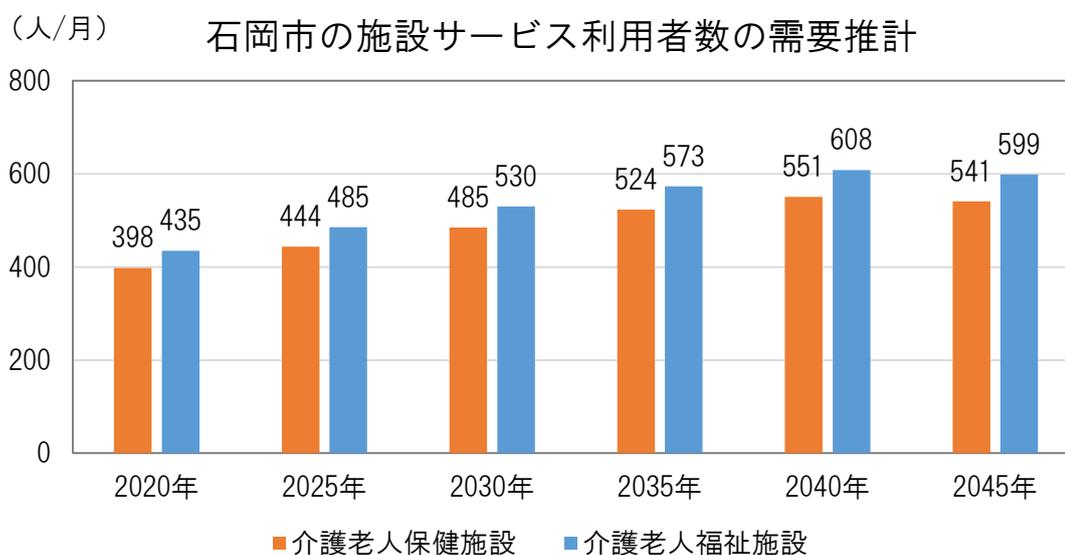
イ 通所サービス

通所介護、通所リハビリテーションの利用者数は令和 22（2040）年まで増加を続け、令和 27（2045）年には減少に転じると推計されます。



(3) 施設サービスの需要推計

介護老人保健施設、介護老人福祉施設の利用者数は令和 22（2040）年まで増加を続け、令和 27（2045）年には減少に転じると推計されます。



第6章 石岡地域及び石岡市における現状・課題

1 3市における現状

(1) 3市の医療提供体制

ア 医療提供体制の現状

- ・ 3市において一般病床及び療養病床を有する医療機関は石岡市に13医療機関、かすみがうら市に2医療機関、小美玉市に5医療機関が所在しています。
- ・ 医療機関別の新入院患者数は石岡第一病院が最も多く、次いで石岡循環器科脳神経外科病院、山王台病院が多くなっています。
- ・ 医療機能別の許可病床数をみると、高度急性期を担う医療機関がなく、回復期病床についても少なくなっています。
- ・ 病床利用率をみると、多くの医療機関で80%を超えています。
- ・ 5疾病5事業への対応状況をみると、がん、災害時医療、周産期医療、小児救急医療については、3市で担う医療機関がありません。
- ・ 3市に分娩機能を担う医療機関がないため、3市外の医療機関へ流出しています。
- ・ 3市の人口10万人当たりの病床数は、全国、茨城県と比べて一般病床は大幅に少なくなっているものの、療養病床は若干多く、精神病床は大幅に多くなっています。
- ・ 3市の人口10万人当たりの医師数は、全国、茨城県と比べて、大幅に少なくなっています。

(2) 3市及び石岡市における医療需要

ア 人口推計

- ・ 3市のいずれも人口の減少が推計されており、3市の高齢化率は全国、茨城県の高齢化率を上回ると推計されています。

イ 医療需要

- ・ 3市の1日当たりの入院患者数、外来患者数はともに減少すると推計されますが、入院においては循環器及び呼吸器疾患の需要の増加が見込まれます。
- ・ 5疾病及び周産期・小児医療における1日当たりの入院患者数は、がん、脳卒中、糖尿病については微増、精神疾患、周産期医療、小児医療については減少すると推計されます。外来患者数は、精神疾患、小児医療の減少が著しく、その他の疾病については微減または横ばいとなると推計されます。
- ・ 認知症の入院患者数・外来患者数はともに増加すると推計されます。
- ・ 石岡市の在宅医療を受ける患者数は令和22(2040)年まで増加を続け、令和27(2045)年には減少に転じると推計されます。

(3) 石岡市民の受療動向

ア 入院及び外来の受療動向

- ・ 入院は約60%が石岡地域外へ流出しているものの、外来は約70%を石岡地域で診ることができています。
- ・ 入院における傷病別割合をみると、精神、新生物、循環器の順に多く、全体の半分以上を占めており、このうち新生物は約80%が石岡地域外へ流出しています。また、分娩、周産期に関しては100%が、先天奇形に関しては約95%が石岡地域外に流出しています。

- ・ 外来における傷病別割合をみると、循環器、内分泌、筋骨格の順に多く、どの傷病においても石岡地域で70%以上を診ることができています。
また、新生物、分娩、先天奇形に関しては約80%が、周産期に関しては65.0%が石岡地域外に流出しています。
- ・ 入院先医療機関をみると、土浦協同病院が21.9%と最も多く、次いで豊後荘病院が6.5%、丸山荘病院が6.0%となっています。
- ・ 外来受診先医療機関をみると、土浦協同病院が6.5%と最も多く、次いで石岡第一病院が6.4%、山王台病院が5.0%となっています。
- ・ 年齢別の受療動向をみると、入院に関しては、年齢が高いほど石岡地域での入院が多い傾向があり、外来に関しては、20歳台、30歳台を除いて石岡地域での外来受診が60%以上となっています。
- ・ 医療機関所在地別の請求点数をみると、入院、外来ともに請求点数が高い区分では石岡地域外への流出が多くなっています。

イ 小児の受療動向

- ・ 入院は約90%が石岡地域外に流出しているものの、外来は約80%を石岡地域で診ることができています。
- ・ 年齢別の受療動向をみると、乳児（1歳未満）、幼児（1～5歳）のうち、石岡地域での入院患者数は3%以下となっています。一方、外来では乳児の約50%、幼児、少年（6歳以上）の約80%を石岡地域で診ることができています。
- ・ 入院先医療機関をみると、土浦協同病院が39.5%と最も多く、石岡地域では石岡第一病院が5.8%と最も多くなっています。
- ・ 外来受診先医療機関をみると、石岡第一病院が17.8%と最も多く、次いで金丸医院が9.8%、柏木医院が7.9%となっています。

ウ 妊産婦の受療動向

- ・ 入院は100%が、外来は約90%が石岡地域外へ流出しています。
- ・ 入院先医療機関をみると、根本産婦人科医院が30.2%と最も多く、次いで土浦協同病院が22.6%、霞ヶ浦医療センターが10.1%となっています。
- ・ 外来受診先医療機関をみると、根本産婦人科医院が35.4%と最も多く、石岡地域では松葉産婦人科が6.1%、富田産婦人科医院が4.6%を担っています。

（4）新型コロナウイルス感染拡大の影響分析

- ・ 令和元（2019）年と令和2（2020）年の全国及び石岡市の外来患者数の月別推移をみると、第一波（緊急事態宣言2020.4/16-5/14）から第二波にかけて減少しています。緊急事態宣言解除後に受診者数は回復するものの、第二波の流行期において再び受診控えの傾向がみられます。
- ・ 傷病別にみると、呼吸器疾患の外来患者数が最も減少しており、月別推移でも第一波以降の受診控えの傾向が顕著に表れています。

(5) 石岡市の救急医療、緊急診療の現状

ア 救急医療の現状

- ・ 石岡市からの救急搬送患者について、石岡地域外に 47.4%が流出しています。
- ・ 医療機関別搬送割合は、全体では土浦協同病院が 32.4%と最も多く、次いで山王台病院が 19.8%、石岡循環器科脳神経外科病院が 15.2%、石岡第一病院が 12.4%となっています。また軽症、中等症、重症のいずれの搬送についても土浦協同病院への搬送が最も多くなっています。
- ・ 傷病程度別の搬送先割合をみると、死亡搬送を除くすべての傷病程度において、約半数が石岡地域外の医療機関に搬送されています。
- ・ 石岡市医師会病院の診療休止に伴い、石岡市八郷地区（市西部）からの救急搬送に時間を要する状況となっています。

イ 緊急診療の現状

- ・ 石岡市の緊急診療患者数は、年間 3,000 人以上となっています。
- ・ 石岡市医師会病院に設置されていた緊急診療は、令和 2（2020）年 7 月以降の受け入れを休止しました。（小児科のみ、石岡第一病院が令和 3（2021）年 7 月より診療開始）

(6) 石岡市の介護需給環境

ア 介護提供体制の現状及び介護需要推計

- ・ 石岡市の介護提供体制をみると、訪問サービス事業所は 19 施設、通所サービス事業所は 35 施設、施設サービス事業所は 14 施設あります。
- ・ 石岡市では令和 22（2040）年まで介護サービスの利用者数が増加すると推計されます。
- ・ 石岡市では令和 17（2035）年には施設サービスの利用者数は介護老人保健施設で 524 人、介護老人福祉施設で 573 人になると推計され、現在の介護老人保健施設の定員数 460 人、介護老人福祉施設の定員数 534 人をそれぞれ上回ると見込まれます。

2 石岡地域及び石岡市における課題

(1) 医療提供体制における課題

- ・ 石岡市の入院患者の約 60%が石岡地域外に流出しているため、近隣他市との機能分化が進んでいる高度急性期医療以外の医療体制の拡充が必要です。
- ・ 石岡市における分娩、周産期、先天奇形の患者は、入院・外来ともに石岡地域外への流出が多く、これらの傷病に関して医療提供ができる医療機関が必要です。
- ・ 石岡地域外での分娩を行わざるを得ない状況であるため、石岡地域に分娩が可能な医療機関が必要です。
- ・ 石岡市における小児の入院は約 90%が石岡地域外に流出しており、また乳児（1歳未満）、幼児（1～5歳）では石岡地域での入院が3%以下となっていることから、小児医療の拡充が必要です。
- ・ 3市の人口 10万人当たりの医師数は全国、茨城県の平均を大きく下回っており、石岡地域における医師確保が必要です。
- ・ 3市では急性期を担う医療機関からの受け皿となる回復期の病床数が不足していることから、回復期病床を増やす必要があります。
- ・ 5疾病5事業に関しては、土浦市をはじめとした他市医療機関との連携を強化・継続する必要があります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症及び今後の新興感染症の拡大の際には、国や県の方針に基づき対応する必要があります。

(2) 医療需要における課題

- ・ 3市では高齢化率が高いことから、今後も高齢者に対する医療の提供体制を維持する必要があります。
- ・ 3市では入院患者数、外来患者数はともに減少することが推計されるものの、入院に関しては循環器及び呼吸器疾患の需要増加が見込まれるため、需要に対応できる医療提供体制を構築する必要があります。
- ・ 5疾病においてはがん、脳卒中、糖尿病に関する入院の需要が増加すると推計されるため、他市医療機関との連携を強化・継続する必要があります。
- ・ 認知症に関する入院患者数・外来患者数はともに増加すると推計されることから、医療提供体制を維持する必要があります。
- ・ 石岡市の在宅医療の需要は増加していくと推計されることから、在宅医療提供体制を充実させる必要があります。

(3) 石岡市の救急医療、緊急診療における課題

- ・ 重症だけでなく、中等症、軽症についても土浦協同病院への搬送が多くなっていることから、救急搬送が三次救急医療機関に集中しないよう、石岡地域での二次救急の受け入れ体制を充実させる必要があります。
- ・ 石岡市医師会病院の診療休止により、石岡市八郷地区（市西部）からの救急搬送に時間を要する状況となっているため、救急医療体制を充実させる必要があります。
- ・ 石岡市医師会病院に設置されていた緊急診療は、令和2（2020）年7月以降の受け入れを休止したため、緊急診療の提供体制を再構築する必要があります。

(4) 石岡市の介護需給環境における課題

- ・ 将来の介護サービス利用者数の増加に備え、在宅医療提供体制の整備等を行い、医療介護連携を強化していくことが求められます。

第7章 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制を構築するための 具体的対策

1 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制

第6章から考えられる石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制は以下のとおりです。

- ・ 分娩機能を持つ産科の開設
- ・ 小児入院機能を持つ小児科の開設
- ・ 石岡地域で完結できる二次救急体制の充実
- ・ 緊急診療体制の充実
- ・ 5疾病5事業における他市医療機関との連携強化
- ・ 高齢者の増加に伴い需要の増加が見込まれる循環器及び呼吸器疾患並びに認知症に関わる医療提供体制の継続
- ・ 急性期医療を終えた患者の受け皿の確保（回復期病床の充実、医療介護連携の強化）
- ・ 在宅医療の需要増加に対する医療提供体制の充実、在宅支援病院等との連携強化

2 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制構築に向けた具体的対策

石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制構築への課題に対する具体的な解決施策は以下のとおりです。

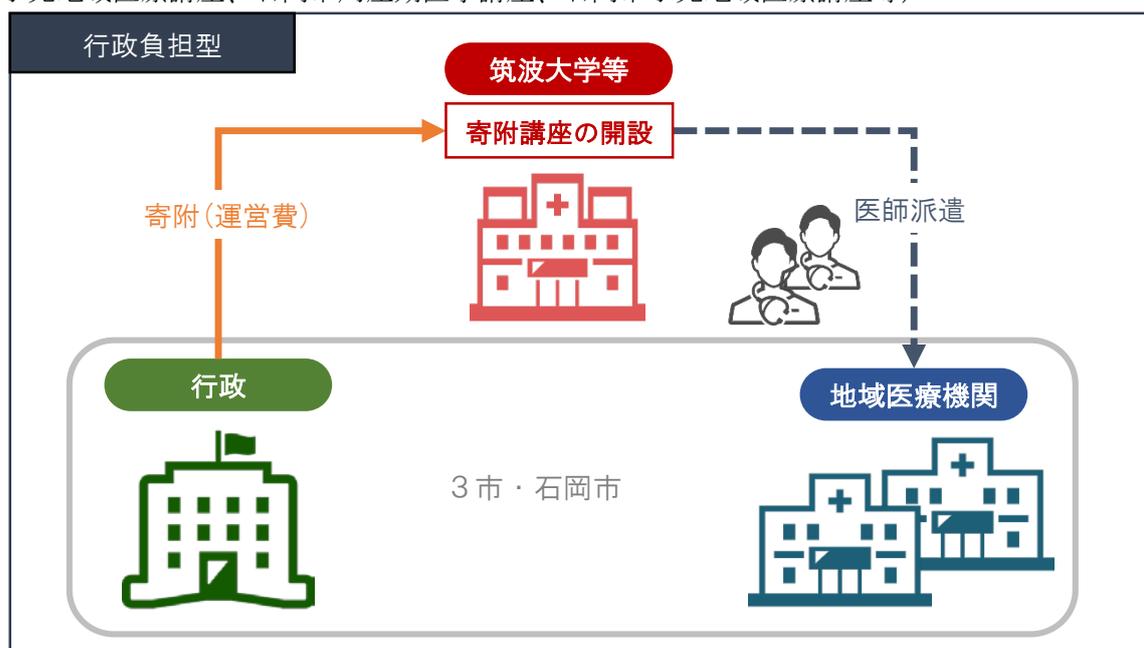
(1) 医師不足の解消に対する施策

ア 関連大学等向け寄附講座の開設

- ・ 行政、地域医療機関の出資による筑波大学等への産科、小児科の寄附講座開設

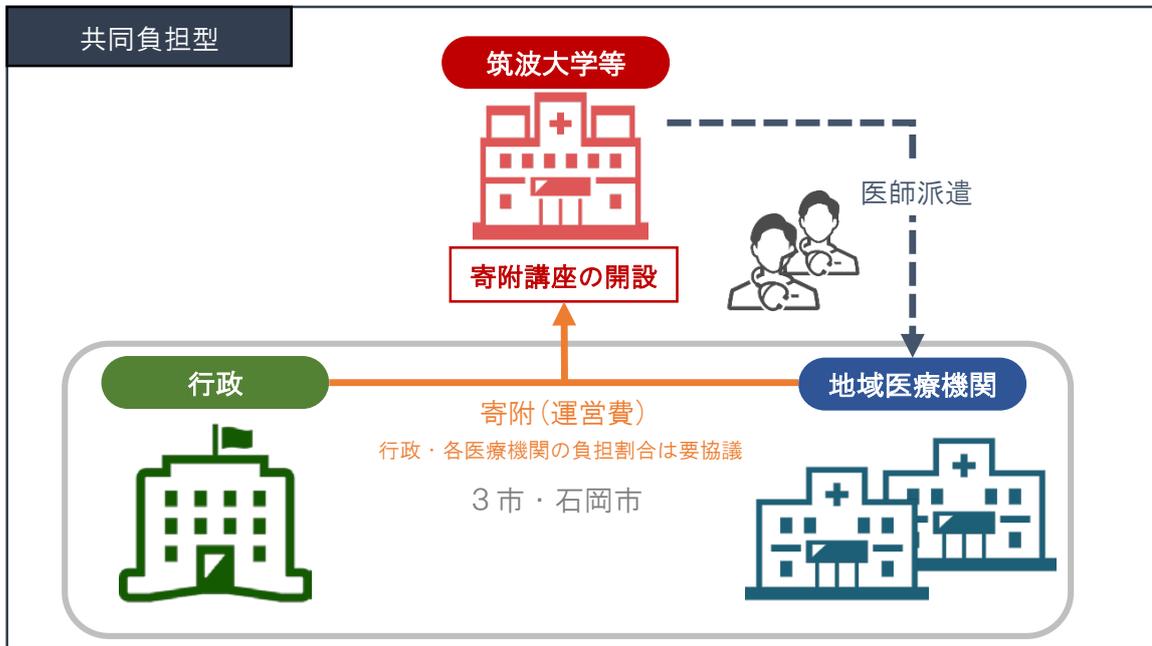
(ア) 行政負担型

- ・ 3市または石岡市が筑波大学等への出資のもと寄附講座を開設し、地域医療機関への産科医、小児科医の派遣を依頼することで医師確保を行う。(例えば、3市総合周産期医学講座、3市小児地域医療講座、石岡市周産期医学講座、石岡市小児地域医療講座等)



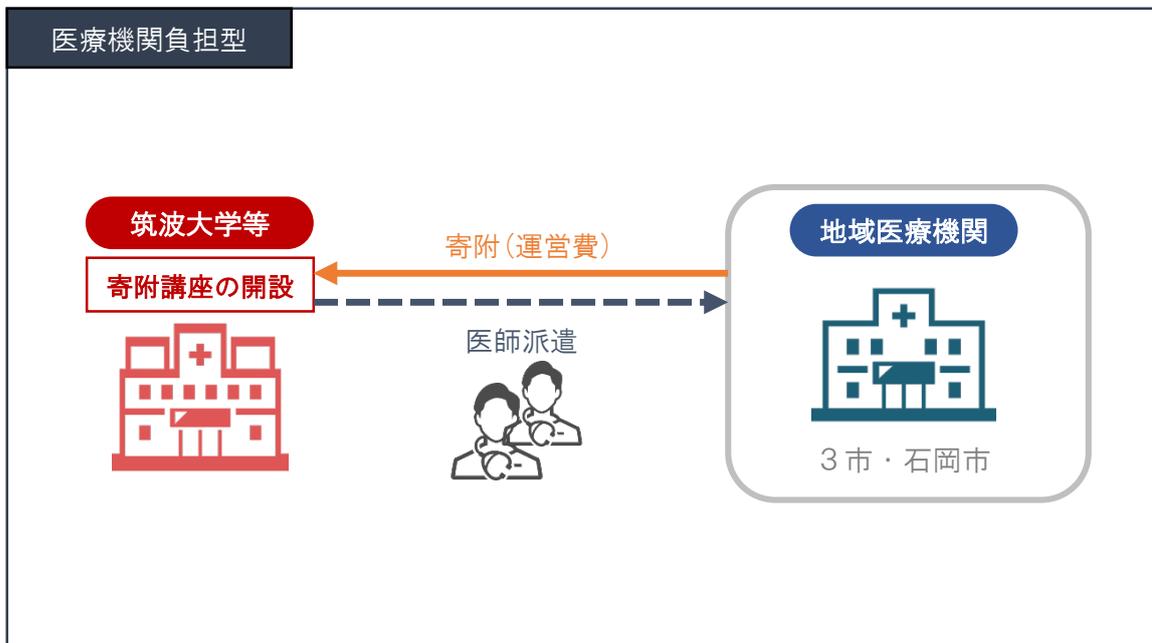
(イ) 行政と医療機関の共同負担型

- 3市または石岡市が窓口となり筑波大学等に寄附講座を開設し、地域医療機関への産科医、小児科医の派遣を依頼することで医師確保を行う。出資については派遣先となる地域医療機関にも負担を求める。(負担割合については3市または石岡市と派遣先医療機関との協議の上、決定)



(ウ) 医療機関負担型

- 産科医、小児科医の派遣を希望する医療機関が単独で寄附講座の設置または既存寄附講座への組み入れを申し出て、医師確保を行う。



イ 地域医療支援センターの活用

- ・ 3市または石岡市が、県の医師派遣窓口である地域医療支援センターへ申し入れを行い、専門医取得後の医師の派遣を要請することで、医師確保に繋げる。

ウ 大学病院のサテライト化

- ・ 3市または石岡市の既存の医療機関内に筑波大学等のサテライトエリアを設置し、医師確保に繋げる。

【参考事例：筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センター】

<概要>

- ・ 平成24（2012）年4月に日立製作所日立総合病院に筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センターが開設され、令和3（2021）年4月時点で筑波大学教員である4名の医師が在籍している。当センターでは日立製作所日立総合病院の医師と一丸となって地域医療に取り組むとともに、大学教員として県北医療の課題、高齢化する住民健康の向上、日立製作所の医療事業への協力などの研究を行っている。また、筑波大学の医療・教育資源を日立製作所日立総合病院並びに地域の医療スタッフに提供してのキャリア形成支援活動、学生や研修医の教育活動を通じて次世代に継続する地域医療資質向上を図っている。

<主な活動内容>

- ・ 研修医の指導：脳神経外科学会研修プログラムに基づいて指導医のもとで執刀できる知識と技術を持ち、次世代を担う医師を育成している。
- ・ 医療スタッフキャリア支援：病院及び地域医療スタッフの知識向上とキャリア支援を筑波大学附属病院と連携して行っている。
- ・ 市民啓発活動：健康で活動的な高齢社会を支える市民の啓発活動を行っている。
- ・ 茨城県北部の医療圏やこれからの高齢社会における医療資源の有効活用と、医療のあり方、課題についての研究活動を行っている。

エ 開設する診療所への指定管理者制度の導入

- ・ 3市または石岡市の費用負担により産科、小児科診療所を開設し、民間病院または大学等を指定管理者として選定する。

【公立診療所の指定管理を民間病院に委託した参考事例①：藤崎診療所】

<概要>

- ・ 青森県に所在する藤崎町国民健康保険藤崎病院は、医師不足等の影響により多額の不良債務が発生するなど病院経営が極めて厳しい状況に陥っていた。財政の健全化を維持しつつ、地域医療を確保する方策が求められていたため、公立病院を公立診療所に転換のうえ、平成20（2008）年4月から指定管理者制度を導入した。

【公立診療所の指定管理を民間病院に委託した参考事例②：相模原市立診療所】

<概要>

- ・ 神奈川県相模原市緑区に所在する3つの相模原市立診療所（青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所）は、平成18（2006）年から神奈川県の指定管理者制度により、相模原赤十字病院が管理運営を開始した。平成22（2010）年から3診療所が相模原市に移管され、相模原市の指定管理者制度により、継続して相模原赤十字病院が管理運営を行っている。

（2） 分娩機能を持つ産科、小児入院機能を持つ小児科の開設に対する施策

ア 産科、小児科開設の補助金の導入

- ・ 3市または石岡市にて産科、小児科を開設するための補助金（一般財源より）を導入し、産科、小児科の医療提供体制の充実を図る。

【参考事例：日光市地域医療整備事業費補助金】

<概要>

- ・ 市内において医師、医療機関が新たに産科、小児科を開設する際に必要な経費、または既存の医療提供施設に新たに産科、小児科を開設するために必要な経費に対して補助金を交付する。

<補助金額の算定基準>

区分	対象経費	補助基準	限度額
施設整備費	建設費、取得費、改修費	対象経費の合計額の1/2	100,000,000円
医療設備購入費	医療機器設備	対象経費の合計額の1/2	30,000,000円
入院設備加算費	寝具、床頭台等の購入費並びに吸引等装置設置費	対象経費の合計額の1/2	1床当たり500,000円
人件費手当等	医師に支払う給料、賞与、その他の手当等	対象経費の合計額の1/2	年額8,000,000円

イ 産科医療機関への分娩手当補助金の導入

- ・ 3市または石岡市の産科医療機関を対象に産科医師等分娩手当補助金を導入し、産科の医療提供体制の充実を図る。

【参考事例：横浜市産科医師等分娩手当補助金】

<概要>

- ・ 病院、診療所または助産所に勤務する産科医、産婦人科医及び助産師に対し分娩取扱件数に応じて支給される手当に対して補助金を交付する。

<条件>

- ・ 就業規則等において分娩を取り扱う産科医等に対する分娩手当等の支給について明記している分娩施設であること。
- ・ 一分娩当たり、一般的に入院から退院までの分娩費用として徴収する額が55万円未満の分娩施設であること。なお、妊産婦が任意で選択できる付加サービス料等については含めない。

<補助金額の算定基準>

補助金の額は、以下のうち最も少ない額に3分の1を乗じて得た額とする。

- ・ 1万円に当該年度の補助対象となる年間分娩取扱件数を乗じて得た額
- ・ 分娩手当等の当該年度の実支出額
- ・ 当該補助事業に係る総事業費から寄附金、補助金等を控除した額

(3) 二次救急、緊急診療体制充実に対する施策

ア 救急医療体制整備補助金の導入

- ・ 3市または石岡市の救急告示医療機関を対象に救急医療体制整備補助金を導入し、新たに救急医療を担う医療機関の確保を図る。

【参考事例：高崎市救急患者受入体制整備補助金】

<概要>

- ・ 高崎市における救急医療体制の整備を目的として、救急告示医療機関に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。

<条件>

- ・ 救急搬送患者の対応をする医師を施設内に配置すること。
- ・ 医師以外の看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師その他の医療従事者を施設内に配置すること。

(下記のいずれかを満たすこと)

- ・ 救急搬送患者を年間500人以上受け入れ、かつ救急搬送患者の収容要請に対する回答のうち受入不可の割合が35%を超えないこと。
- ・ 救急搬送患者を年間200人以上受け入れ、かつ救急搬送患者の収容要請に対する回答のうち受入不可の割合が20%を超えないこと。

<補助金額の算定基準>

- ・ 体制整備した1医療機関当たり月額420,000円(上限年額500万円)
付記：医療提供体制推進事業費補助金等の国の補助制度との併用可

イ 休日夜間診療運営費補助金の導入

- ・ 3市または石岡市において休日夜間診療運営費補助金を導入し、新たに緊急診療を担う医療機関の確保を図る。

【参考事例：半田市休日夜間診療運営費補助金】

<概要>

- ・ 医療機関の休日及び夜間における診療体制の確保を図るため、半田市医師会が実施する緊急在宅輪番制（休日夜間診療）による診療業務に要する経費に対して補助金を交付する。

<補助金額の算定基準>

区分	対象診療科目	時間	基準額
休日	内科	午前9時～正午	11,710円×診療延べ日数
	外科	午前9時～正午	11,710円×診療延べ日数
	産科	午前9時～正午	11,710円×診療延べ日数
土曜日	内科	午後2時～午後4時	7,806円×診療延べ日数
平日夜間	内科	午後7時～午後9時	7,806円×診療延べ日数

参考資料

関連計画との比較、対応表

計画	第7次茨城県保健医療計画 平成30(2018)年3月	茨城県地域医療構想 平成28(2016)年12月	石岡地域医療計画 令和2(2020)年2月	本調査 令和3(2021)年10月	石岡地域医療計画と関連計画の整合性
対象地域	茨城県	土浦保健医療圏 (土浦市、石岡市、かすみがうら市)	石岡市、かすみがうら市、小美玉市	石岡市、かすみがうら市、小美玉市	
病床数の状況		・土浦保健医療圏では、令和7(2025)年の必要病床数に対し、回復期病床が不足している ・回復期リハビリテーションの提供体制は県平均を下回っており、急性期からの切れ目のない医療提供体制を確保する必要がある	・三次救急からの受け皿としての回復期病床が不足しているため、医療提供体制の整備が必要である	・3市では回復期の病床数が不足していることから、他市医療機関で急性期を担う医療機関からの受け皿となる病床の確保が必要である	地域医療構想では回復期リハビリテーションの医療提供体制の確保が求められており、石岡地域医療計画でも急性期からの受け皿となる回復期の整備の必要性が指摘されていることから、両者の方向性は一致しており、医療提供体制の整備が求められます。
周産期医療(分娩)	・地域において正常分娩を行うことのできる場所を確保する	・身近なところで出産できる体制の整備が重要である	・石岡地域において分娩ができる医療機関がないため、産科の新設が必要である	・石岡市の妊産婦マル福レセプトデータ分析の結果、妊産婦の入院は100%が3市外に流出している	関連計画では身近で正常分娩を行うことが出来る場所を確保することとされており、石岡地域医療計画でも3市内での産科の新設の必要性が指摘されていることから、両者の方向性は一致しており、分娩機能の構築が求められます。
小児医療	・地域において、初期救急医療を含めた一般的な小児医療を実施する体制の構築を目指す ・地域医療の充実を図るために必要な小児科医を確保する		・小児科を含む緊急診療の患者数が近年増加傾向にある ・小児救急を3市内で受けられる体制がないため、小児科医の確保、小児救急体制の強化が必要である	・3市の小児科の緊急診療は石岡第一病院のみで対応している ・石岡市の小児マル福レセプトデータ分析の結果、小児の入院は約90%が3市外に流出している	県保健医療計画では地域における小児の初期救急対応の体制構築と小児科医の確保を目指すこととしており、石岡地域医療計画でも3市内での小児救急体制強化を目標としていることから、対策の方向性は一致しており、対策の推進が求められます。
医師数	・医師の確保と定着の促進及び医師の地域偏在の解消を図る必要がある	・人口10万人当たりの土浦保健医療圏の医師数は県平均以上であるが、土浦市に集中している状況である	・人口10万人当たりの3市の医師数は全国、茨城県平均以下であることから、医師の確保が課題である	・人口10万人当たりの3市の医師数は全国、茨城県平均以下である	関連計画では医師の地域偏在の解消を図る必要があるとされており、土浦保健医療圏では土浦市に医師が集中していることが指摘されています。石岡地域医療計画でも3市内での医師確保が課題としており、医師偏在の解消が求められます。
在宅医療提供体制	・県政世論調査の結果から、多くの県民は自宅での介護や在宅医療を希望しているものの家族への負担や急変時対応への不安を抱えており、これらの課題に対する取り組みが求められる	・土浦保健医療圏では令和7(2025)年には現状の143.4%の在宅医療等の供給が必要となり、そのうち訪問診療については現状の144.5%の供給が必要となる	・在宅診療クリニックによる訪問診療や訪問看護の充実を目指す	・石岡市の在宅医療を受ける患者は令和22(2040)年まで増加を続け、令和27(2045)年には減少に転じると推計される	関連計画では在宅医療の需要増加とそれに対応するための課題が挙げられており、石岡地域医療計画でも在宅診療体制の充実を目指していることから、両者の方向性は一致しており、対策の推進が求められます。
救急医療体制		・救急搬送が第三次救急医療機関に集中しないように、症状に応じた受入の役割分担・連携が必要である	・全体の52.9%が石岡市医師会管内、47.1%が管外へ搬送されている ・管外では土浦協同病院への軽症患者の搬送が多く、石岡地域で受け入れ可能な二次救急患者の受入割合を増加させる必要がある	・3市内に所在する医療機関への搬送割合は52.6%と半数を占めている ・搬送割合は土浦協同病院が最も多く、軽症、中等症患者も多く搬送されている	地域医療構想では第三次救急医療機関への搬送の集中の解消を課題としており、石岡地域医療計画でも石岡地域での二次救急体制の強化が必要とされていることから、両者の方向性は一致しており、救急体制の強化が求められます。
初期救急(緊急診療)体制	・軽症者の救急の需要は見込まれるものの、夜間を含め恒常的に診察できる体制が十分に取れておらず、第二次救急医療以上の救急医療機関に負担がかかっている		・休日夜間の緊急診療(内科・小児科)の患者数は平成26(2014)年度の3,256名から平成30(2018)年度は3,517名となっており、増加傾向である ・初期救急体制強化のための補助等が必要である	・石岡市で受け入れた緊急診療患者数は年間3,000人以上である ・石岡市医師会病院において開設していた内科の緊急診療は、令和2(2020)年7月以降休止している	県保健医療計画では初期救急体制が不十分であることから第二次救急医療機関以上へ負担がかかっていると指摘しており、石岡地域医療計画でも初期救急体制の強化が目標とされていることから、両者の方向性は一致しており、対策の推進が求められます。